
平成30年度
町民意識調査
結果報告書

平成31年3月

粕屋町

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要.....	2
3. 調査結果の信頼性について	3
4. 報告書の見方.....	4
5. 「第5次粕屋町総合計画」施策体系	7
II 調査結果のまとめ	9
1. 暮らしの指標に関する傾向分析	10
2. 防災に関する傾向分析	11
3. 分野別（基本目標）からみた傾向分析	12
III 調査結果.....	15
1. 回答者の属性.....	16
2. 粕屋町での暮らしについて	25
3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち の取り組みについて	46
4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち の取り組みについて	64
5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち の取り組みについて	84
6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまち の取り組みについて	104
7. 防災について	113
8. 町政に対するご意見・ご要望（自由記述）	131
IV 指標一覧.....	135
V 調査票.....	139

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「第5次粕屋町総合計画基本計画」の指標の進捗を把握するとともに、町民の皆さまの暮らしの状況や意識、ニーズなどを把握し、今後のまちづくりに向けた参考資料とするために実施したものです。

2. 調査概要

- ・調査地域 : 粕屋町全域
- ・調査対象者 : 粕屋町在住の18歳以上の方3,000名を無作為抽出
- ・調査期間 : 平成31年1月下旬～2月中旬
- ・調査方法 : 郵送による配布・回収

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
3,000	1,167	1,167	38.9%

3. 調査結果の信頼性について

アンケートの回収票数と回答の精度（誤差）との関係は、票数が少ないと精度は低く（誤差は大きく）、票数が多いと精度は高く（誤差は小さく）なります。しかし、その関係は一定ではなく、下図のような関係にあります。回収票数が少ないときは、票数を少し増やすことにより、誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても、回答の精度（誤差）はほとんど変わらなくなります。

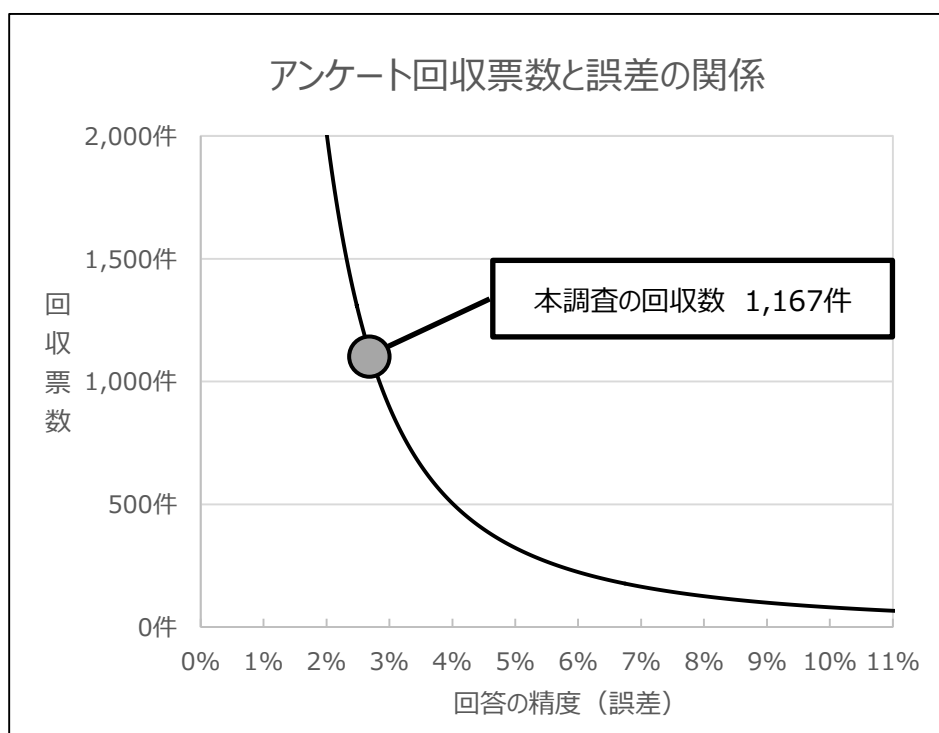
統計学的には、この一定の数の精度（誤差）は 3～5%以内であれば良いとされており、下記の計算式で逆算すると概ね 400～1000 票程度となります。したがって、有効回答票の回収数がこの程度あれば町民意向の把握として十分納得できる数字になると言えます。

今回の町民意識調査では1,167 票の有効回答票数がありましたので、精度（誤差）は 2.82%となりました。これは、例えば、違う町民の方々を対象にして同じ調査を 100 回行った場合でも、95 回（信頼度：95%）は、その結果の%の値が±2.82%以内でしか変わらないということです。

■アンケートの回収数に対する回答の精度（誤差率）の算定

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N : アンケート対象者数（粕屋町の18歳以上の人口 37,357 人と定義）※平成31年2月現在
n : 標本数（有効回答票数 1,167）
K : 信頼度係数（「正規分布表」における信頼度 95%とした定数 1.96 に設定）
P : 回答比率（最も誤差が生じる回答比率 0.5 に設定）



4. 報告書の見方

(1) 報告の基本構成

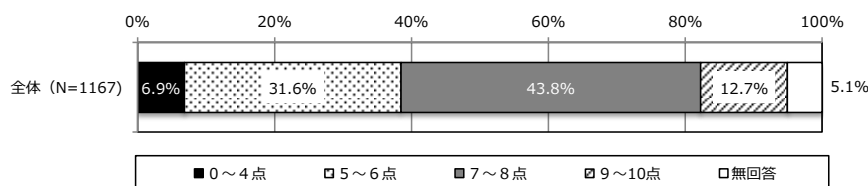
(属性を除く) 各設問に対する集計結果については、以下にあげる基本構成により報告しています。

① 全体集計

各設問の集計結果の全体集計結果をまとめています。

【表示例】

<単数回答>



② 回答結果 (分析)

回答結果に対する分析として以下の2項目より分析結果をまとめています。

- 1) 全体分析 : 回答に関する全体的な集計結果からみた傾向について、過去調査との比較を含めまとめています。
- 2) 傾向分析 : クロス分析結果から、特徴的な傾向について、「**ポジティブ評価** (町民の評価が高い点/これまでより良い評価)」と「**ネガティブ評価** (町民が課題とする点/これまでより悪い評価)」に分けてまとめています。

【表示例】

【回答結果】

<全体分析>

- 幸福度の全体集計では、「**7～8点**」の方が**43.8%**と最も高く、「**9～10点**」の回答とあわせると**56.5%**と半数以上が「**7～10点**」としています。
- 「**7～10点**」の方は平成28年度調査 (53.5%) と比較し**微増**となっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で「**9～10点**」の回答がと高くなっています。
- 住み良さ度別でみると、「**とても住みやすい**」で「**9～10点**」の回答が高くなっています。

□ ネガティブ評価

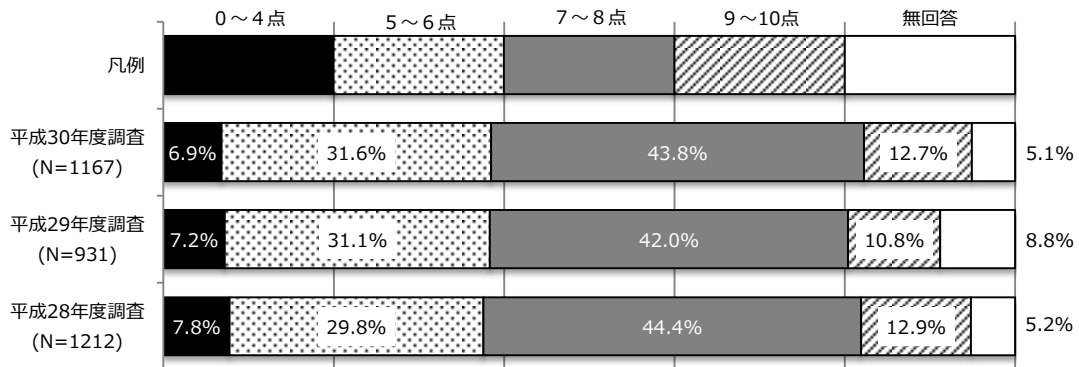
- 住み良さ度別でみると、「**住みにくい**」「**やや住みにくい**」で「**0～4点**」の回答が高くなっています。

※傾向分析で解説するクロス分析結果については、設問の特性に応じて、「年齢」「小学校区」「居住年数」「家族構成」「幸福度」「まちへの愛着度」「住みやすさ」等より特徴的な傾向があらわれている分析結果を抽出して記載しています。

③ 過去調査との比較

設問に関する平成29年度、平成28年度の調査結果との比較をグラフ及び加重平均値により比較しています。

【表示例】



〈平成29年度調査〉は「第5次粕屋町総合計画進行管理のための町民意識調査報告書（平成30年2月）」、〈平成28年度調査〉は「第5次粕屋町総合計画進行管理のための町民意識調査報告書（平成29年2月）」の調査結果を引用しています。

前年度との比較調査にあたり、一部段階評価の設問については、調査結果を加重平均値として算出し、数値指標による比較検証しています。数値化の基準としては以下の例の通りとなります。

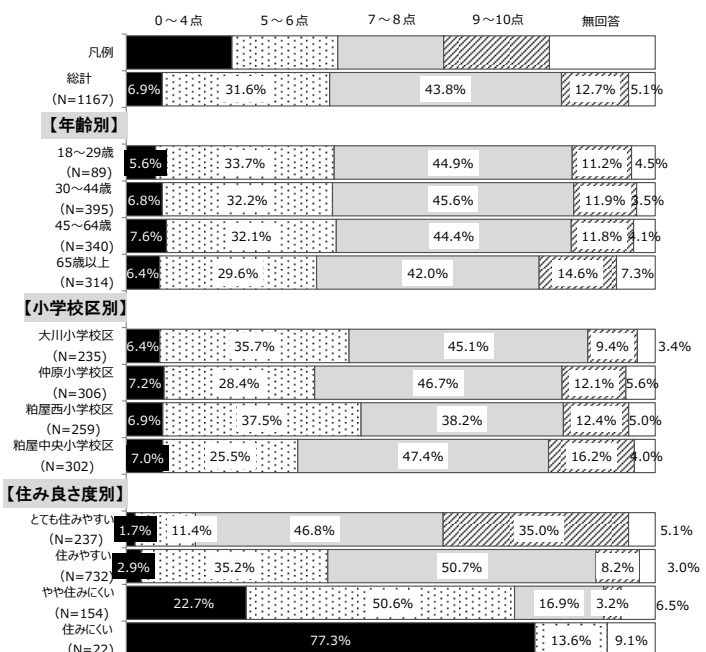
【段階評価の設問に関する加重平均値の数値化例】

例：問1-3 まちへの愛着度（粕屋町にどのくらい愛着を感じていますか）

数値化の算出方法は、「強く感じている」に2点、「感じている」に1点、「あまり感じていない」に-1点、「感じていない」に-2点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウェイト）を設定し、項目ごとの回答結果を（「強く感じている」の回答率×2点+「感じている」の回答率×1点+「あまり感じていない」の回答率×-1点+「感じていない」の回答率×-2点+「どちらともいえない」の回答率×0点）÷（100%-無回答の回答率）として数値化し指標としている。この指標によって、設問に対する評価の強弱を、より明確に分析することができる。

④ 関連する調査結果

回答結果の傾向分析等に類する調査結果に関するデータを表記しています。（右記は表示例）



【報告書の記載内容に関する注意事項】

- 調査結果は「第5次粕屋町総合計画」の施策体系に準じて掲載しているため、調査票番号が前後している場合があります。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、選択肢ごとの回答数の割合を小数点 以下第2位で四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0% を超える場合があります。
- 図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- 本文中の設問の選択肢について、文字数が多いものは簡略化している場合があります。

5. 「第5次粕屋町総合計画」施策体系

【基本目標1】つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち	
政策	基本施策
1 地域のつながりを大切にしまちづくり	(1) 誰もが参加・交流できる地域活動の支援
	(2) 人と地域が輝くまちづくり活動の推進
2 地域でともに助け合う安全なまちづくり	(1) 災害に強い地域社会の実現
	(2) 事故や犯罪が起こりにくい地域社会の実現
3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり	(1) 子どもたちの生きる力を育む教育の推進
	(2) 地域ぐるみで育む子どもたちの健全な育成
4 身近な学びと交流があるまちづくり	(1) ライフステージに応じた学びと交流の推進
	(2) 郷土を愛し、地域の歴史と文化を継承する社会の実現
【基本目標2】都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち	
政策	基本施策
1 自然と調和した便利で快適なまちづくり	(1) 自然と調和した都市空間の創造
	(2) 緑と水辺に囲まれた潤いある暮らしの創造
2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり	(1) 安全で快適な道路ネットワークの充実
	(2) 安全で快適な生活を支える交通環境の創造
	(3) 安全で安心な水源の確保と水環境の基盤強化
3 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり	(1) 次世代に継承する自然環境の保全
	(2) 環境負荷の少ない循環型社会の創造
4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり	(1) いのちを守り育む食と農の創造
	(2) 地域に活力をもたらす商工業の振興
【基本目標3】誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち	
政策	基本施策
1 誰もが健康で暮らせるまちづくり	(1) 健やかでいきいき暮らす健康づくりの推進
2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり	(1) 安心して子育てできる環境づくりの推進
	(2) 子どもの健やかな成長を支える支援の充実
3 高齢者が元気に暮らせるまちづくり	(1) 元気高齢者の活躍を促す環境づくりの推進
	(2) 住み慣れた地域での生活を支える支援の充実
4 障がい者がともに暮らせるまちづくり	(1) 生きがいを感じ社会参加を促す環境づくりの推進
	(2) 地域で安心して暮らせる環境づくりの推進
5 誰もが心豊かに暮らせるまちづくり	(1) 人権と平和を尊重し合う地域社会の確立
	(2) ともに支え合う地域福祉の推進と社会保障制度の運営
【基本目標4】健全で持続可能な行政経営をめざすまち	
政策	基本施策
1 町民のための行政経営のまちづくり	(1) まちの魅力を高める情報発信の推進
	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化
2 健全な財政運営のまちづくり	(1) 持続可能な財政基盤の強化
3 広域的な視点に立ったまちづくり	(1) 連携して取り組む広域行政の推進

Ⅱ 調査結果のまとめ

1. 暮らしの指標に関する傾向分析

■ 町民の感じるまちで暮らす「幸福度」とは

今回の調査では、暮らしの**幸福度指標**【問1-1】では、「**7～10点**」の方は**56.5%**と半数以上が高い評価をしています。

幸福度指標【問1-1】を年齢別クロスでみると、「**9～10点**」の方は、「**65歳以上**」で**14.6%**と他の年代と比べ高い割合となっています。

幸せであるために重要なこと【問1-2】については、「**家計(所得・消費)の状況**」「**自分や家族の健康状況**」が全体集計で上位となっていました。幸福度別クロスでみると、「**9～10点**」の方は、他の回答属性と比較して「**家族関係**」「**友人・交流関係**」の回答率が高くなっており、人とのつながり、絆が幸せに大事な点であるとする志向がみられます。このことは、つながり指標の**地域での人と人とのつながり**【問3-1】でも幸福度が高いほどつながりがあると感じる方が多くなっている点や、**まちづくりへの参加意向**【問7】で、幸福度が高いほど、まちづくりへの参加意向が高くなっている点からもその傾向が見受けられます。

■ まちの「住みやすさ」のポテンシャルは、利便性の高さと自然と都会のバランス

今回の調査では、**まちの定住意向**【問2-1】、**まちの住みやすさ**【問2-2】については、加重平均値での比較では過去調査で最も低い数値となっています。

特に、年齢別クロスでみると、「**18～29歳**」の方の傾向が大きく変化しており、**まちの定住意向**【問2-1】では「**住み続けたい**」方は**21.3%**（平成29年度調査：31.3%）、**まちの住みやすさ**【問2-2】では「**とても住みやすい**」方が**21.3%**（平成29年度調査：28.4%）と大きく変化しており、全体の評価に影響する結果となっています。

まちの住みやすさ【問2-2】を後問の住みやすい理由【問2-3(自由記述)】でみると、「**交通の便の良さ**」「**商業施設が近くて買い物が便利**」「**都会（博多）に近い**」等のテーマに関する回答が多くあがっています。また、「**都会と田舎のバランスの良さ**」「**自然の豊かさ**」に対する回答も多くみられます。

■ 暮らしの指標にからみえてくる小学校区の地域性の違い

まちの定住意向【問2-1】を小学校区別のクロス分析を比較すると、「**粕屋西小学校区**」の方で「**住み続けたい**」が**33.6%**となり、他小学校区と比較して低い傾向となっています。

「粕屋西小学校区」の特徴としては、**まちの住みやすさ**【問2-2】、**まちへの愛着度**【問1-3】のいずれの問いでも、他の地区と比べまちへの評価が低い結果となっています。

。

2. 防災に関する傾向分析

■ 自然災害が増加する中で、災害への不安を感じる町民は少なくない

災害の安全性【問37】については、43.3%の方が住んでいる地域は災害に対して『安全だと思う』と回答していますが、21.5%の方は『安全だと思わない』を回答しており、比較的災害には安全な粕屋町の中でも、多発する自然災害に対する危機意識が強くなっていることが想定されます。特に、『安全だと思わない』と回答した方にその理由を記述してもらったところ、直近の須恵川、多々良川での風水害による被害をあげる方が多く、この災害以降、十分な水防対策や避難所の改善がなされていないことに対する不安をあげる回答者も多くみられました。

■ 今後の災害への備えに対する町民意識は十分ではない。

災害時の初期行動として大事になる避難行動について、避難所・避難場所の認知度【問40】では、「避難場所も避難所も知っている」方は30.8%に留まり、「どちらも知らない」方が20.2%となり、ご自身の災害時の避難行動についてまだ把握できていない方が多いことがわかりました。

また、災害時の近所の高齢者・障がいのある方の誘導・支援【問41】では、「誘導・支援しながら避難することができる」方は8.2%だけで、33.6%の方が「自分の家族で精いっぱい」となっています。

避難行動要支援者名簿の認知度【問42】、自主防災組織の認知度【問43】については、いずれも90%前後の方がその内容を「知らない」としており、災害に対する不安を感じながらも、具体的な理解と行動までには至っていないことがわかります。

防災訓練の参加【問42】では、「参加したことがあり、今後も参加したい」方は11.1%でしたが、「参加したことがないが、今後参加したい」方は51.1%と高くなっており、今後の防災に対する情報発信・啓発を積極的に進めることで具体的な防災活動へとつなげることが可能な結果となっています。

■ 多様な情報手段による災害情報の発信が求められます。

災害関連情報の入手手段【問46】は、「テレビ」に次いで、「町の防災無線」、「町の広報車によるアナウンス」が高くなっています。自由記述では、緊急時の町内放送のアナウンスは聞き取りにくいという意見が多く寄せられており、こうした課題への改善を行い、緊急時の情報手段としての町民ニーズに十分発揮できる環境整備が求められます。

また、年齢別でみると「18～29歳」の方では「フェイスブック・ツイッター・ラインなどのSNS」を情報入手手段としてあげる傾向が高く、町の防災無線やアナウンスを補完する情報伝達手段としての活用が求められます。

3. 分野別（基本目標）からみた傾向分析

【基本目標 1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち】

本分野において、今回の調査結果が過去調査と加重平均により比較して評価が高くなっている（同等を含む）項目は【問 8 災害用備品の準備】、【問12 身近な生涯学習の機会】となっています。

上記の項目のいずれも、特に「**65歳以上**」で評価が高くなっている点が要因としてあげられます。

一方、評価が低く、課題となっている項目のうち、【問6地域活動への参加】【問 7 まちづくりへの参加】はいずれも過去調査で最も低い結果となっています。両設問ともに、年齢別で、「**18～29歳**」の方で「**参加したいと思わない**」傾向が高くなっており、若年層の参加促進が課題要因としてあげられます。

【基本目標 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち】

本分野において、今回の調査結果が過去調査と加重平均により比較して評価が高くなっている（同等を含む）項目は【問15 都市と自然と調和したまちづくり】、【問17 円滑に通行できる道路網の整備】、【問19 安心した水の利用】、【問21 リサイクルの実施】、【問22 地元で採れた食材の利用】、【問23 地域の商工業の活性化】となっています。

上記の項目のうち、【問15土地利用】は「**18～29歳**」で、【問19水道】【問21リサイクル】【問22農業】は「**65歳以上**」で、特に評価が高くなっている点が要因としてあげられます。

【問9道路】は加重平均値で過去調査を上回るものの、依然としてマイナス評価となっており、円滑な車で通行できる道路網が整備されていると『**そう思わない**』回答者が**53.5%**と過去調査と同じく高くなっています。本分野に関する重点課題の自由記述でも道路の狭さや交通渋滞などの懸念する意見も多く、町民の課題意識が高い項目であるといえます。

【基本目標 3 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち】

本分野において、今回の調査結果が過去調査と加重平均により比較して評価が高くなっている（同等を含む）項目は【問26-1 子育て環境】、【問27 高齢者が活躍する場】、【問28-1 障がい者の社会での暮らし】、【問28-2 障がい者に対する支援】、となっています。

上記の項目のうち、【問26-1 子育て環境】については、当事者にあたる「30～44歳」では『そう思わない』の回答が高いことから、実質的な評価は高いとはいえないと考えられます。

【問27-2 高齢者】の高齢者に対する支援についても、当事者にあたる「65歳以上」では充実していると『そう思わない』の回答が高いことから、実質的な評価は高いとはいえないと考えられます。

一方、評価が低く、課題となっている項目のうち、【問25 健康づくり】は過去調査で最も低い結果となっています。、年齢別で、「18～29歳」の方で「気をつけていない」傾向が高くなっており、若年層の参加促進が課題要因をしてあげられます。

【基本目標 4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち】

本分野において、今回の調査結果が過去調査と加重平均により比較して評価が高くなっている（同等を含む）項目は【問35 他自治体との連携・協力】となっています。

一方、昨年度調査に引き続きマイナス評価となった、【問33 行政運営】は、年齢別で見るといずれの年代も「どちらともいえない」が半数程度と高く、特に「18～29歳」の方では、62.9%が「どちらともいえない」としていることから、積極的な関心や課題意識をもたない回答者が多いことも課題要因のひとつとして考えられます。この傾向は【問34 財政】【問35 広域行政】にもあてはまります。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

1-1 性別

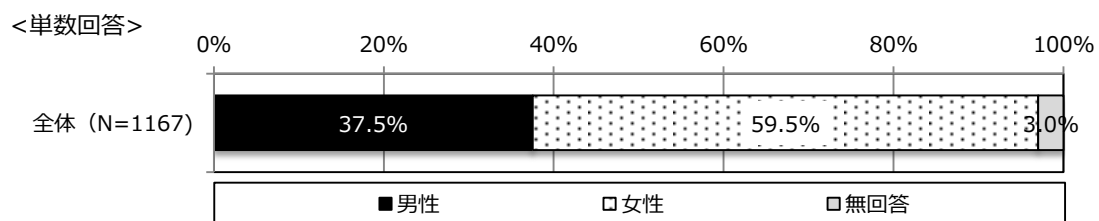
〔調査票／問48〕

あなたの性別をお答えください。(どちらかに○)

【回答結果】

- 性別についてみると、「男性」が37.5%、「女性」が59.5%となっています。

【問48：全体集計】



1-2 年齢

〔調査票/問49〕

あなたの年齢をお答えください。(1つだけに○)

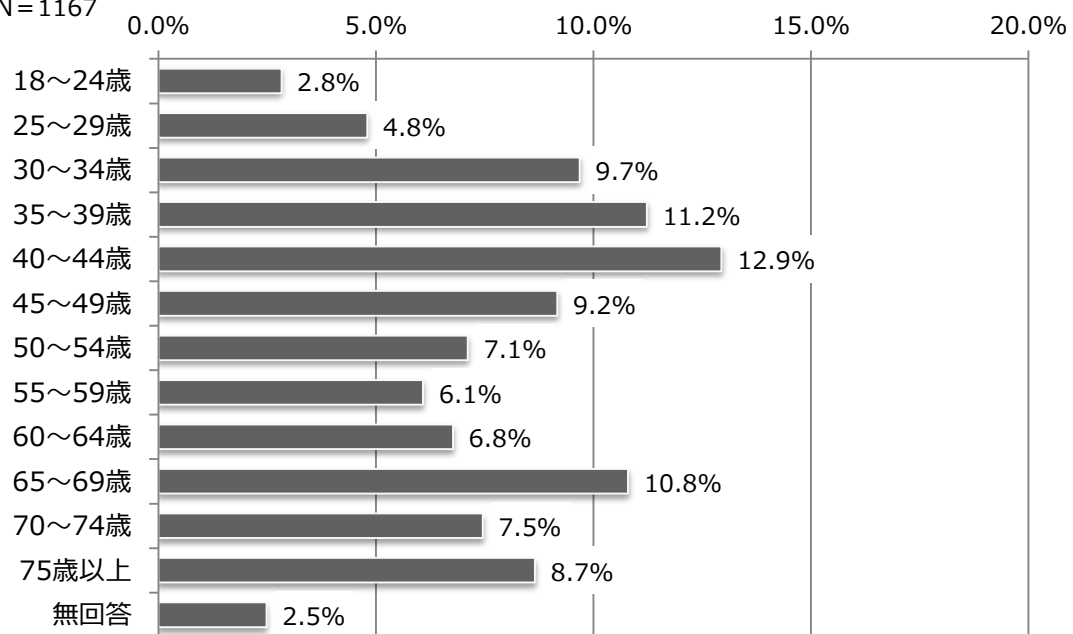
【回答結果】

- 年齢についてみると、「40～44歳」が12.9%、「35～39歳」が11.2%、「65～69歳」が10.8%となっています。

【問49：全体集計】

<単数回答>

N = 1167



1. 回答者の属性

1-3 お住まいの地区

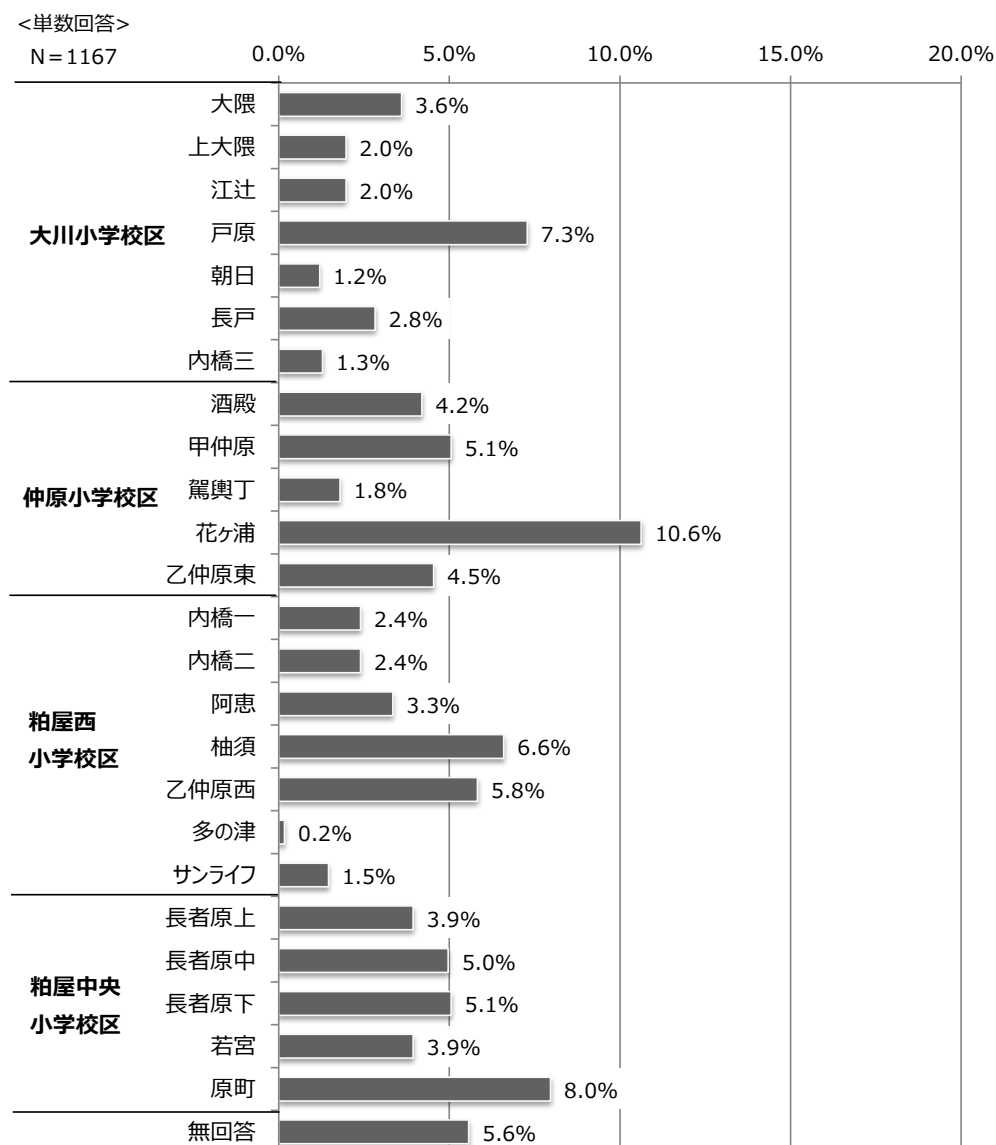
〔調査票／問50〕

あなたはどの地区にお住まいですか。(1つだけに○)

【回答結果】

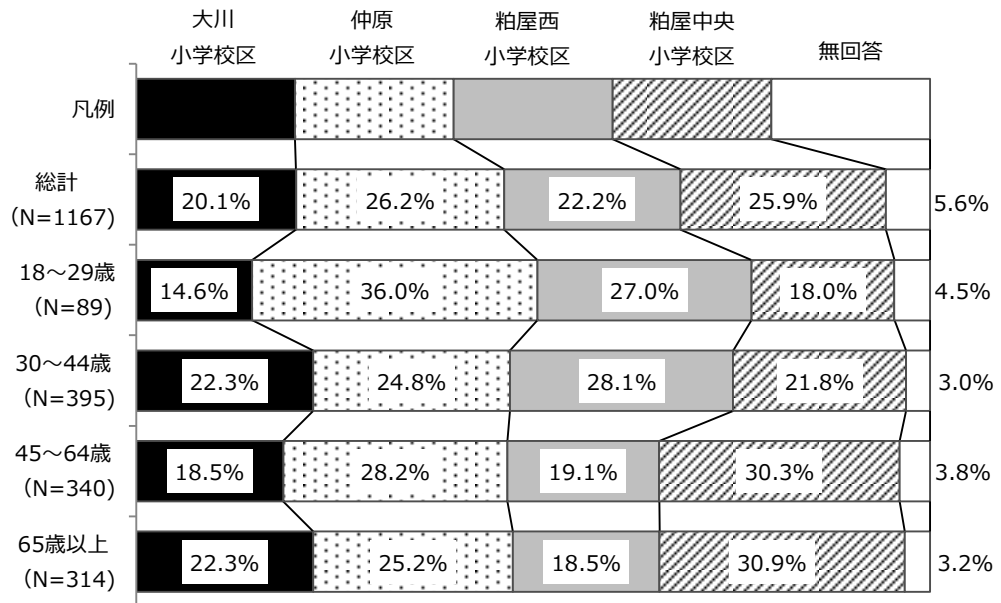
- 地区についてみると、『仲原小学校区』では「花ヶ浦」が10.6%、『粕屋中央小学校区』では「原町」が8.0%、『大川小学校区』では「戸原」が5.0%、『粕屋西小学校区』では「袖須」が6.6%と最も高くなっています。

【問50：全体集計】



【問50：年齢別クロス集計】

●年齢別で見ると、18～29歳は「仲原小学校区」の割合が高くなっています。40歳以上は、「粕屋中央小学校区」の割合が高い傾向となっています。



1. 回答者の属性

1-4 お住まいの種類

〔調査票／問51〕

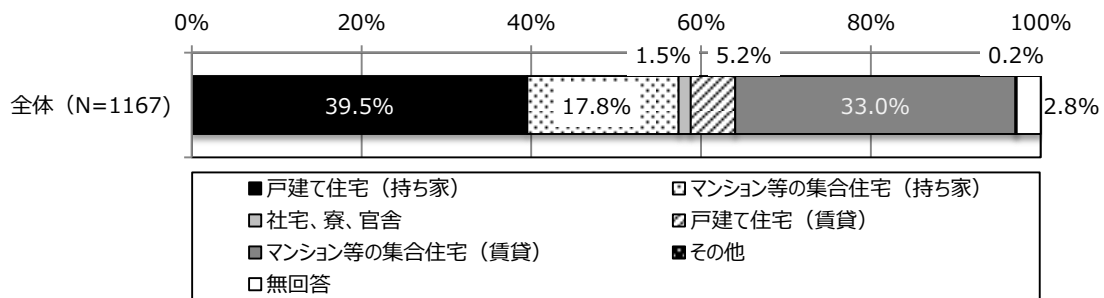
現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。(1つだけに○)

【回答結果】

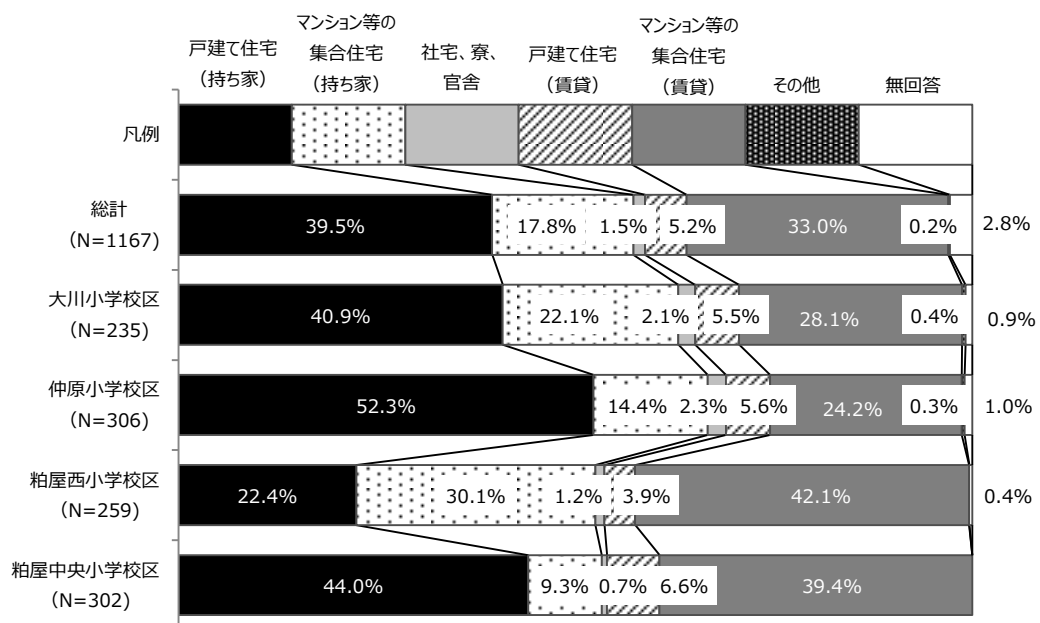
- 住居形態についてみると、「戸建て住宅（持ち家）」が39.5%と最も高く、次いで「マンション等の集合住宅（賃貸）」が33.0%となっています。
- 小学校区別でみると、仲原小学校区では「戸建て住宅（持ち家）」、粕屋西小学校区では「マンション等の集合住宅（持ち家）」、「マンション等の集合住宅（賃貸）」の割合が他の小学校区と比較して高くなっています。

【問51：全体集計】

<単数回答>



【問51：小学校別クロス集計】



1-5 居住年数

〔調査票/問52〕

あなたは、粕屋町に何年住んでいますか。(1つだけに○)

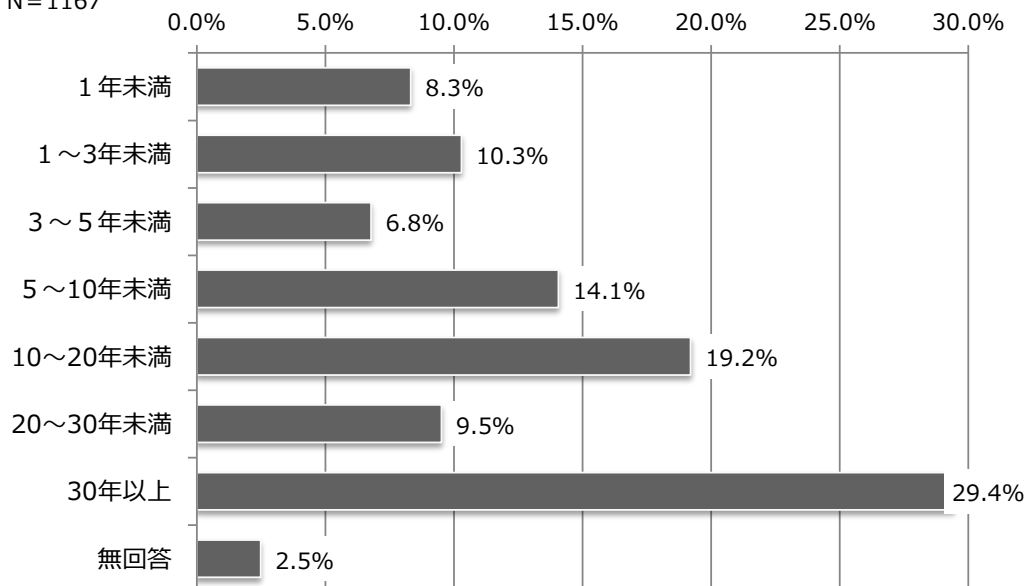
【回答結果】

- 住居年数についてみると、「30年以上」が29.4%と最も高く、次いで「10～20年未満」が19.2%、「5～10年未満」が14.1%となっています。

【問52：全体集計】

<単数回答>

N=1167



1. 回答者の属性

1-6 職業

〔調査票／問53-1〕

あなたの職業は、次のどれにあたりますか。(1つだけに○)

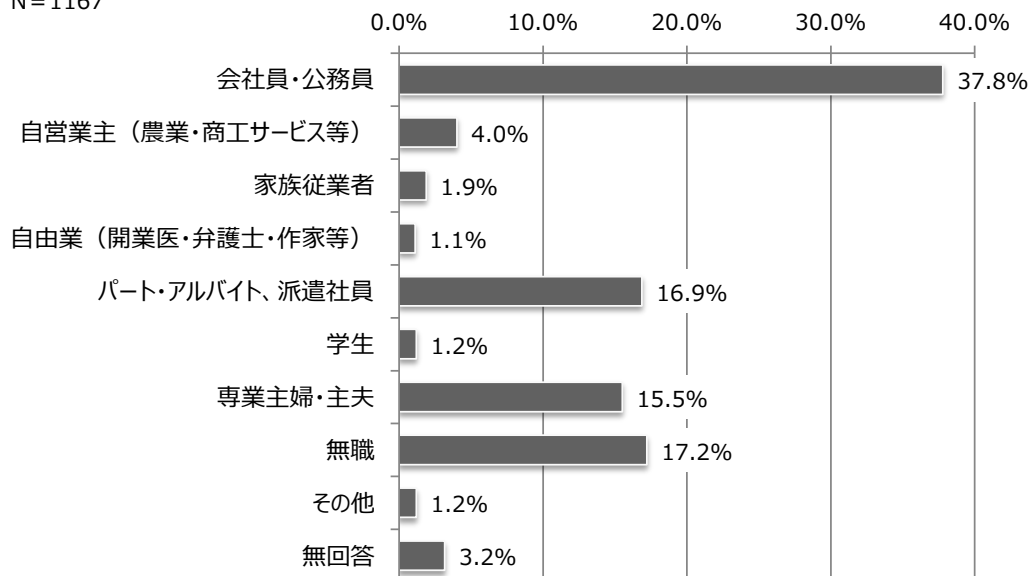
【回答結果】

- 職業についてみると、「会社員・公務員」が37.8%と最も高く、次いで「無職」が17.2%、「パート・アルバイト、派遣社員」が16.9%、「専業主婦・主夫」が15.5%となっています。
- 通勤・通学先についてみると、「福岡市内」が48.8%と最も高く、次いで「粕屋町内」が23.3%、「糟屋郡内（粕屋町以外）」が14.0%となっています。

【問53-1：全体集計】

<単数回答>

N = 1167



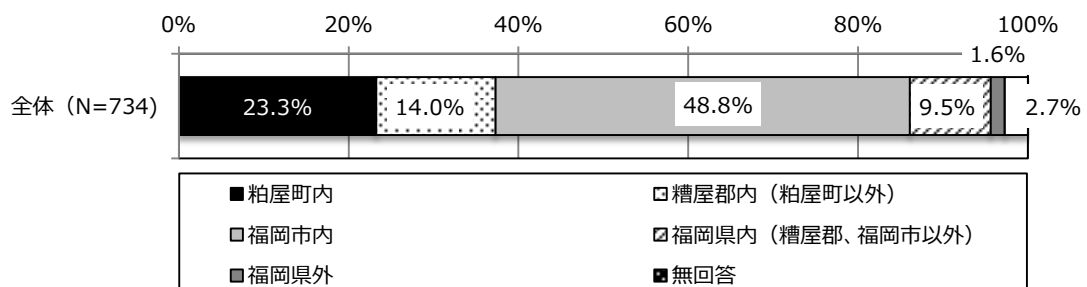
〔問53-2は、問53-1で「1～6」に○をつけた方におうかがいします。〕

〔調査票／問53-2〕

あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つだけに○)

【問53-2：全体集計】

<単数回答>



1-7 家族構成

〔調査票／問54〕

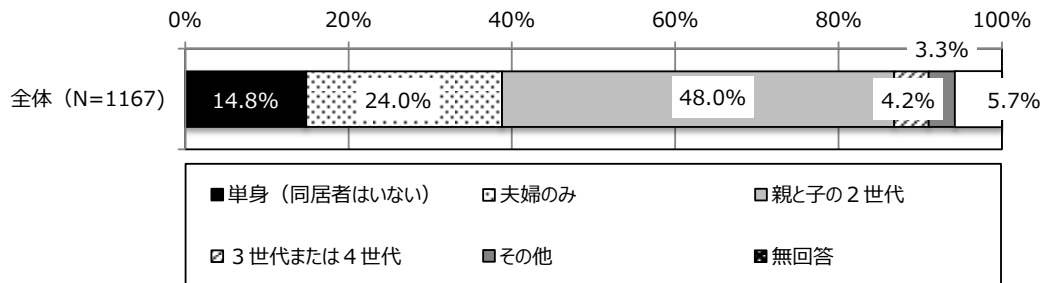
お住まいの家族構成は、次のうちどれにあたりますか。(1つだけに○)

【回答結果】

- 家族構成についてみると、「親と子の2世代」が48.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が24.0%、「単身（同居者はいない）」は14.8%となっています。

【問54：全体集計】

<単数回答>



〔調査票／問55〕

あなたのご家族について該当する方はいますか。(あてはまるすべてに○)

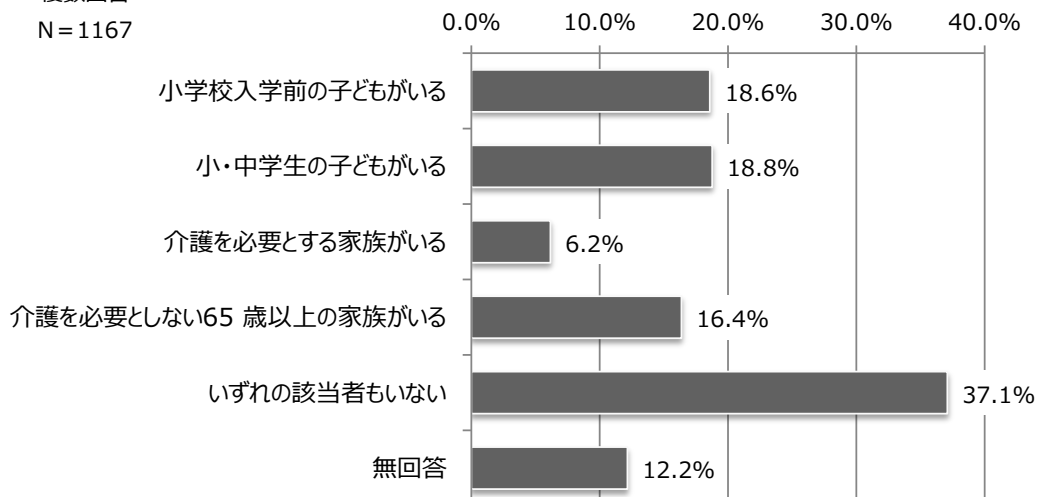
【回答結果】

- 家族について該当する方の有無についてみると、「いずれの該当者もない」が37.1%と最も高く、次いで「小・中学生の子どもがいる」「小学校入学前の子どもがいる」がそれぞれ18%台となっています。
- 年齢別でみると、18～29歳では「いずれの該当者もない」、30～44歳では「小学校入学前の子どもがいる」、65歳以上では「介護を必要としない65歳以上の家族がいる」が最も高くなっています。

【問55：全体集計】

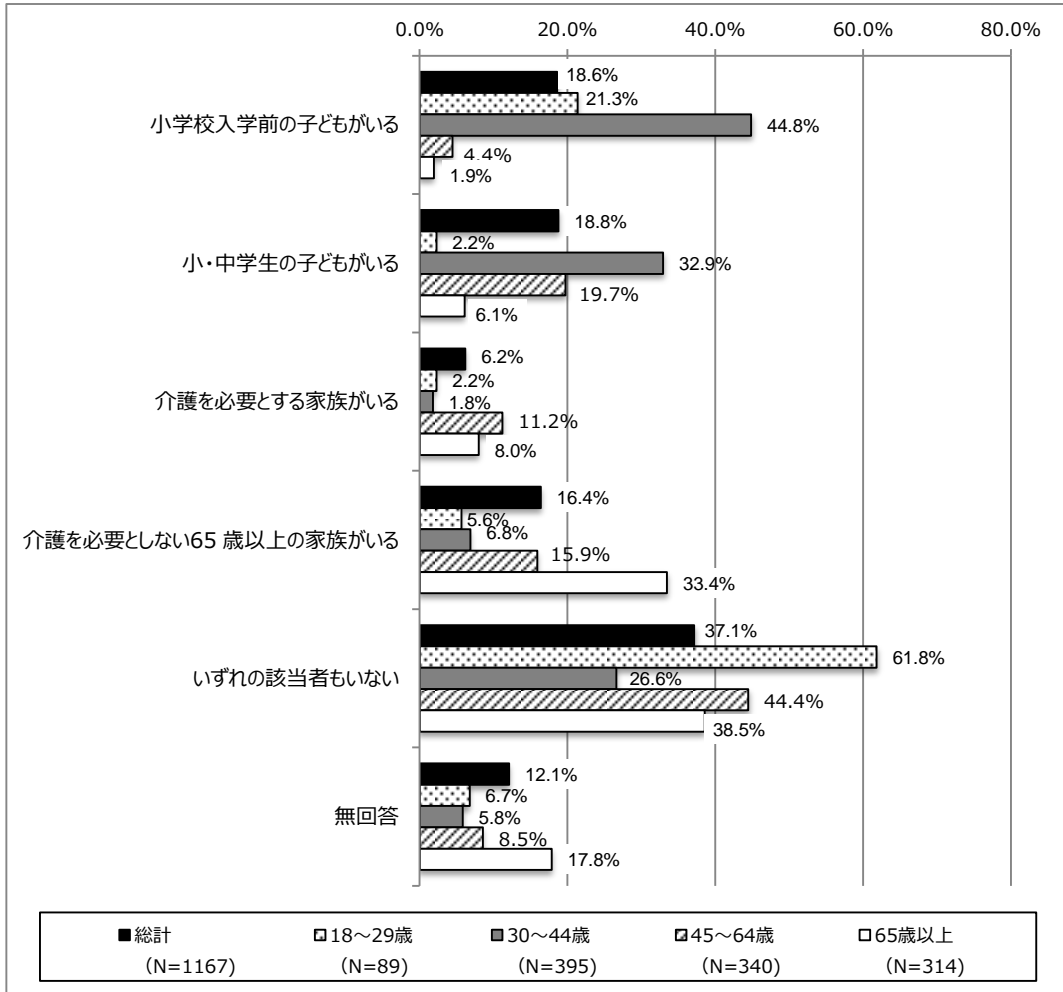
<複数回答>

N=1167



1. 回答者の属性

【問55：年齢別クロス集計】



2. 粕屋町での暮らしについて

< 幸せ指標 >

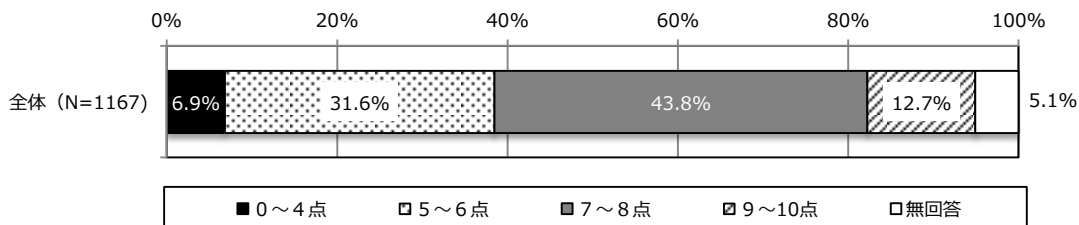
2-1 幸福度

〔調査票／問1-1〕

現在、あなたは粕屋町で暮らしてどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、何点くらいになると思いますか。(1つだけに○)

【問1-1：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 幸福度の全体集計では、「**7～8点**」の方が**43.8%**と最も高く、「**9～10点**」の回答とあわせると**56.5%**と半数以上が「7～10点」としています。
- 「**7～10点**」の方は平成29年度調査と比較し**微増**となっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

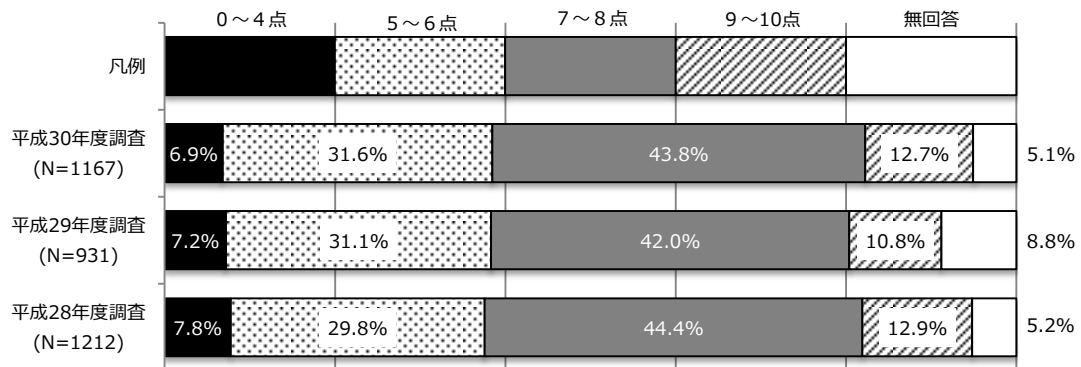
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で「**9～10点**」の回答がと高くなっています。
- 住み良さ度別でみると、「**とても住みやすい**」で「**9～10点**」の回答が高くなっています。

□ ネガティブ評価

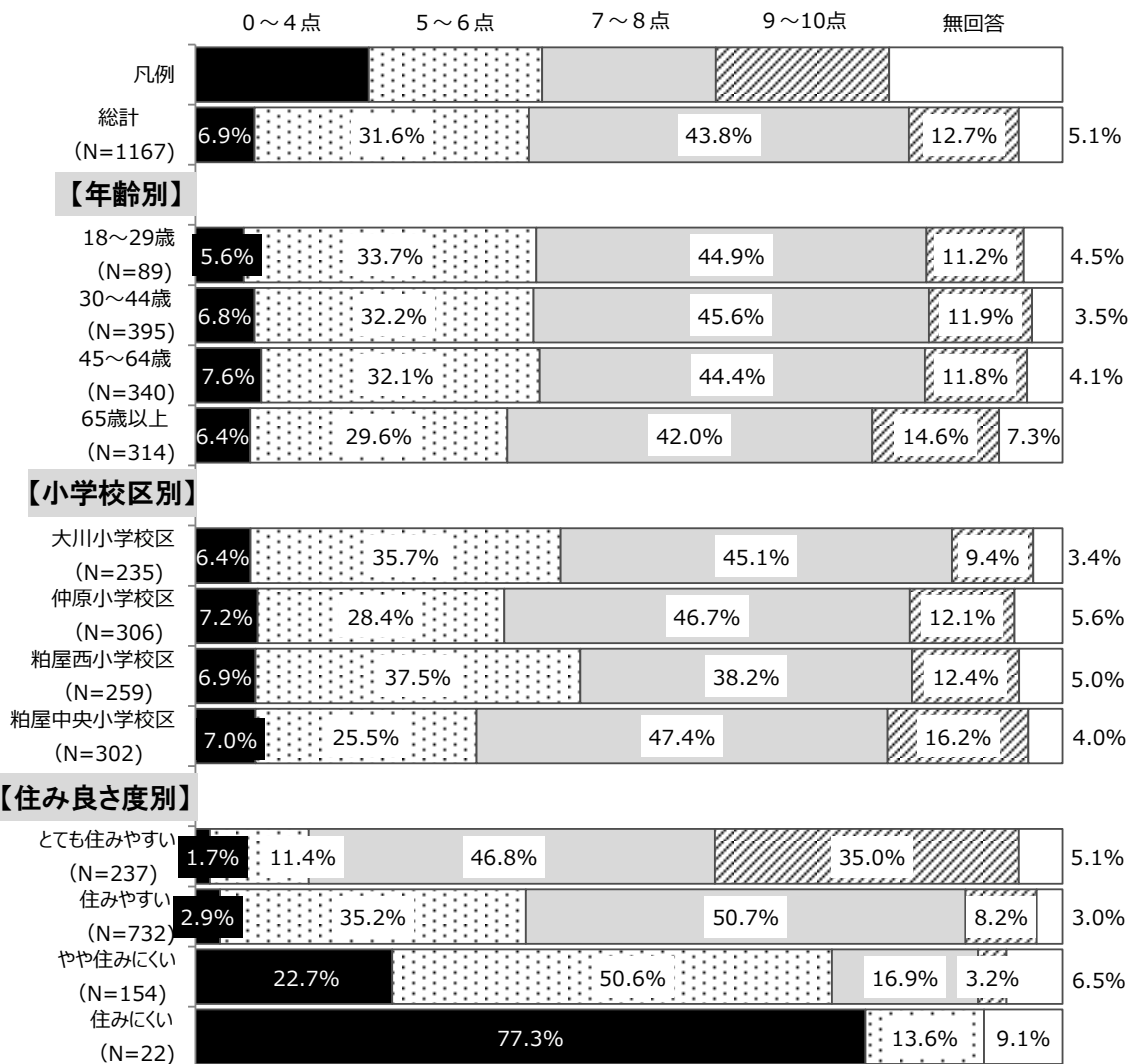
- 住み良さ度別でみると、「**住みにくい**」「**やや住みにくい**」で「**0～4点**」の回答が高くなっています。

2. 粕屋町での暮らしについて

【問1-1：過去調査との比較】



【問1-1：クロス集計（関連項目）】

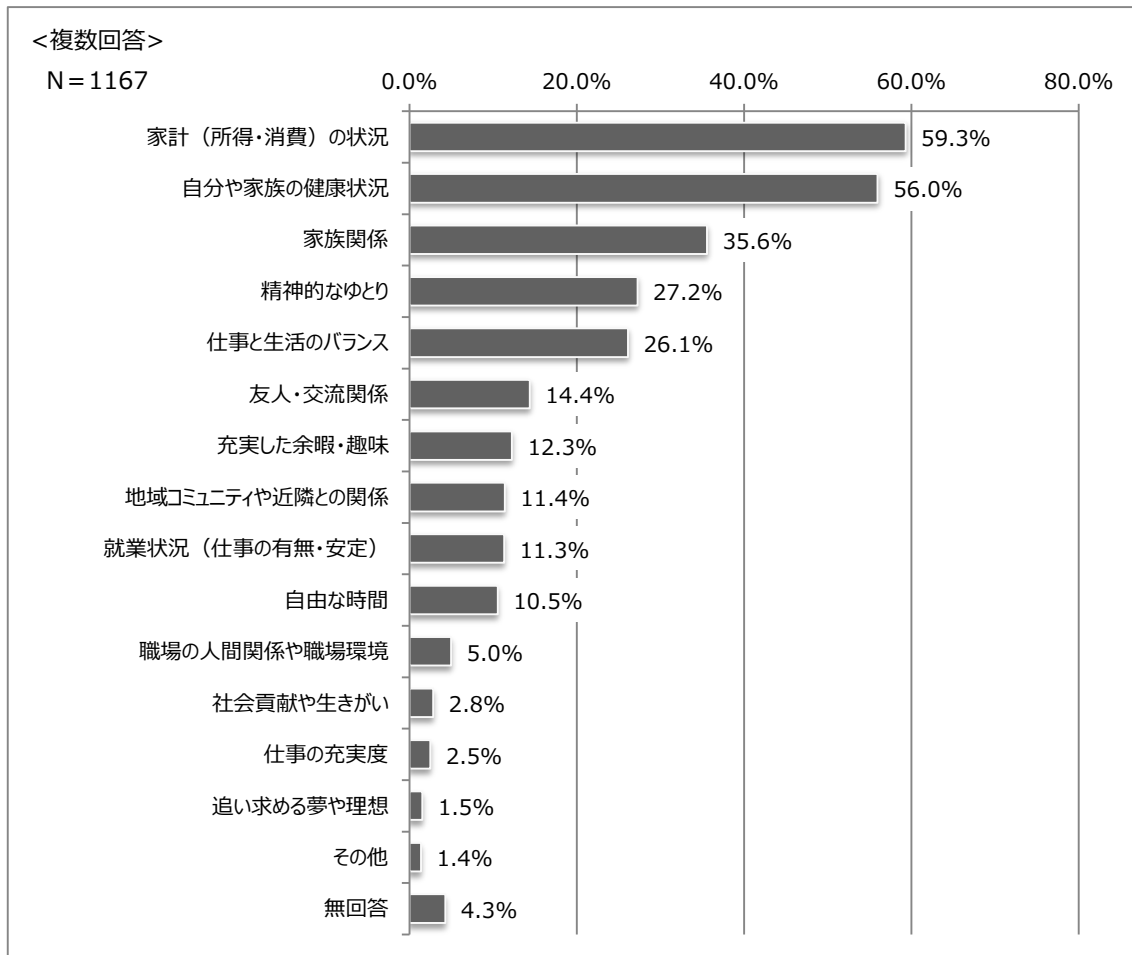


2-2 幸せであるために重要なこと

〔調査票／問1-2〕

あなたが幸せであるために重要だと思うことは何ですか。(あてはまる3つまでに○)

【問1-2：全体集計】



【回答結果】

<全体分析>

- 自身の幸せであるための重要事項についてみると、「**家計（所得・消費）の状況**」が59.3%と最も高く、次いで、「**自分や家族の健康状況**」が56.0%、「**家族関係**」が35.6%となっています。この上位項目は平成29年度調査と同順で回答率がいずれも微増しています。
- 年齢別でみると、「家計（所得・消費）の状況」は「**45～64歳**」で特に高く、「自分や家族の健康状況」は「**65歳以上**」で高い傾向となっています。

2. 粕屋町での暮らしについて

【回答結果】

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

○幸福度別でみると、「9～10点」の幸福度が高い方では、「**家族関係**」の回答が高く、「**家計（所得・消費）の状況**」の回答が低い傾向となっています。

□ ネガティブ評価

○幸福度別でみると、幸福度が低いほど「**家計（所得・消費）の状況**」の回答が高く、**経済面での不安**が幸福度を下げる要因となっていることがわかります。

【問1-2：過去調査との比較】 ※上位項目

平成30年度調査(N=1,167)		平成29年度調査(N=931)	
家計（所得・消費）の状況	59.3%	家計（所得・消費）の状況	58.5%
自分や家族の健康状況	56.0%	自分や家族の健康状況	51.5%
家族関係	35.6%	家族関係	34.0%
精神的なゆとり	27.2%	精神的なゆとり	23.5%
仕事と生活のバランス	26.1%	仕事と生活のバランス	23.2%
友人・交流関係	14.4%	友人・交流関係	15.6%
充実した余暇・趣味	12.3%	充実した余暇・趣味	12.4%
地域コミュニティや近隣との関係	11.4%	就業状況（仕事の有無・安定）	12.2%

【問1-2：年齢別クロス集計】 ※上位項目

18～29歳(N=89)		30～44歳(N=395)		45～64歳(N=340)		65歳以上(N=314)	
家計（所得・消費）の状況	44.9%	家計（所得・消費）の状況	59.7%	家計（所得・消費）の状況	65.6%	自分や家族の健康状況	64.6%
家族関係	41.6%	自分や家族の健康状況	52.4%	自分や家族の健康状況	57.9%	家計（所得・消費）の状況	57.6%
自分や家族の健康状況	37.1%	家族関係	41.5%	家族関係	35.0%	精神的なゆとり	34.1%
仕事と生活のバランス	34.8%	仕事と生活のバランス	33.9%	仕事と生活のバランス	29.7%	家族関係	28.7%
友人・交流関係	25.8%	精神的なゆとり	23.5%	精神的なゆとり	27.9%	地域コミュニティや近隣関係	21.3%
自由な時間	22.5%	友人・交流関係	14.9%	就業状況	15.0%	友人・交流関係	15.3%
精神的なゆとり	18.0%	就業状況（仕事の有無・安定）	13.7%	充実した余暇・趣味	10.3%	充実した余暇・趣味	14.6%
充実した余暇・趣味	15.7%	充実した余暇・趣味	11.4%	友人・交流関係	9.6%	自由な時間	12.1%

2. 粕屋町での暮らしについて

【問1-2：幸福度別クロス集計】 ※上位項目

0～4点(N=80)		5～6点 (N=369)		7～8点 (N=511)		9～10点(N=148)	
家計（所得・消費）の状況	66.3%	家計（所得・消費）の状況	64.0%	家計（所得・消費）の状況	61.6%	自分や家族の健康状況	55.4%
自分や家族の健康状況	55.0%	自分や家族の健康状況	55.8%	自分や家族の健康状況	57.9%	家族関係	43.2%
家族関係	32.5%	家族関係	30.4%	家族関係	39.1%	家計（所得・消費）の状況	43.2%
精神的なゆとり	30.0%	精神的なゆとり	29.5%	仕事と生活のバランス	28.6%	仕事と生活のバランス	29.7%
仕事と生活のバランス	25.0%	仕事と生活のバランス	24.1%	精神的なゆとり	27.2%	精神的なゆとり	20.3%
充実した余暇・趣味	15.0%	就業状況	15.7%	友人・交流関係	14.7%	友人・交流関係	15.5%
就業状況	12.5%	充実した余暇・趣味	11.7%	充実した余暇・趣味	13.5%	地域コミュニティや近隣関係	14.9%
自由な時間	10.0%	地域コミュニティや近隣関係	11.1%	地域コミュニティや近隣関係	11.1%	自由な時間	13.5%

2. 粕屋町での暮らしについて

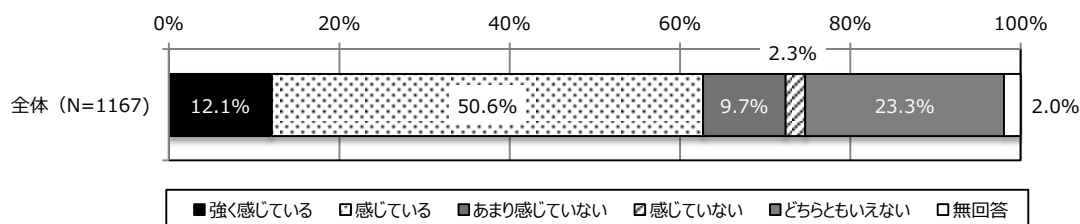
2-3 まちへの愛着度

〔調査票／問1-3〕

粕屋町にどのくらい愛着を感じますか。(1つだけに○)

【問1-3：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

○粕屋町への愛着を「**感じている**」方が**50.6%**とも最も多く、「**強く感じている**」方とあわせ**62.7%**が、『**愛着を感じている**』と回答しています。一方、『**愛着を感じていない**』（「感じていない」+「あまり感じていない」）方は**12.0%**となっています。

<傾向分析>

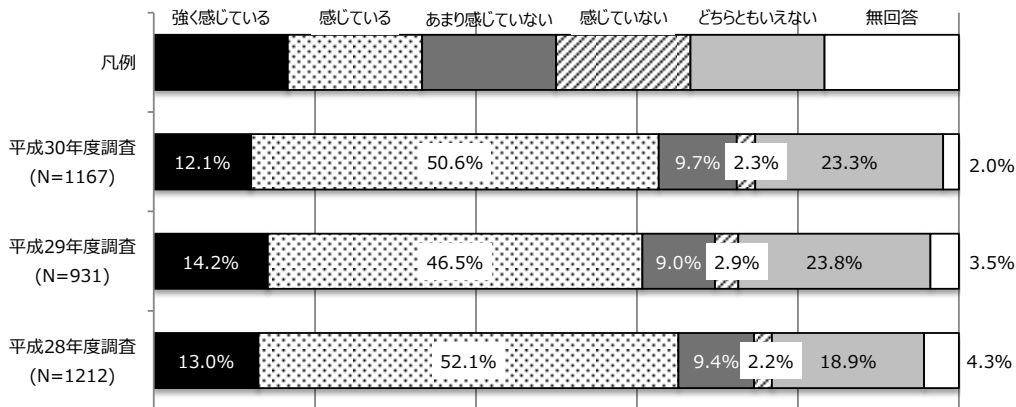
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で「愛着を強く感じている」方が高くなっています。
- 居住年数別でみると、「**30年以上**」の方で「愛着を強く感じている」方が高くなっています。
- 幸福度別でみると、「**9～10点**」の方は、90%以上が『愛着を感じている』と回答しており、まちへの愛着度も高いことがわかります。

□ ネガティブ評価

- 居住年数別でみると、「**5年未満**」の方は全体と比較して愛着度が低い傾向となっています。

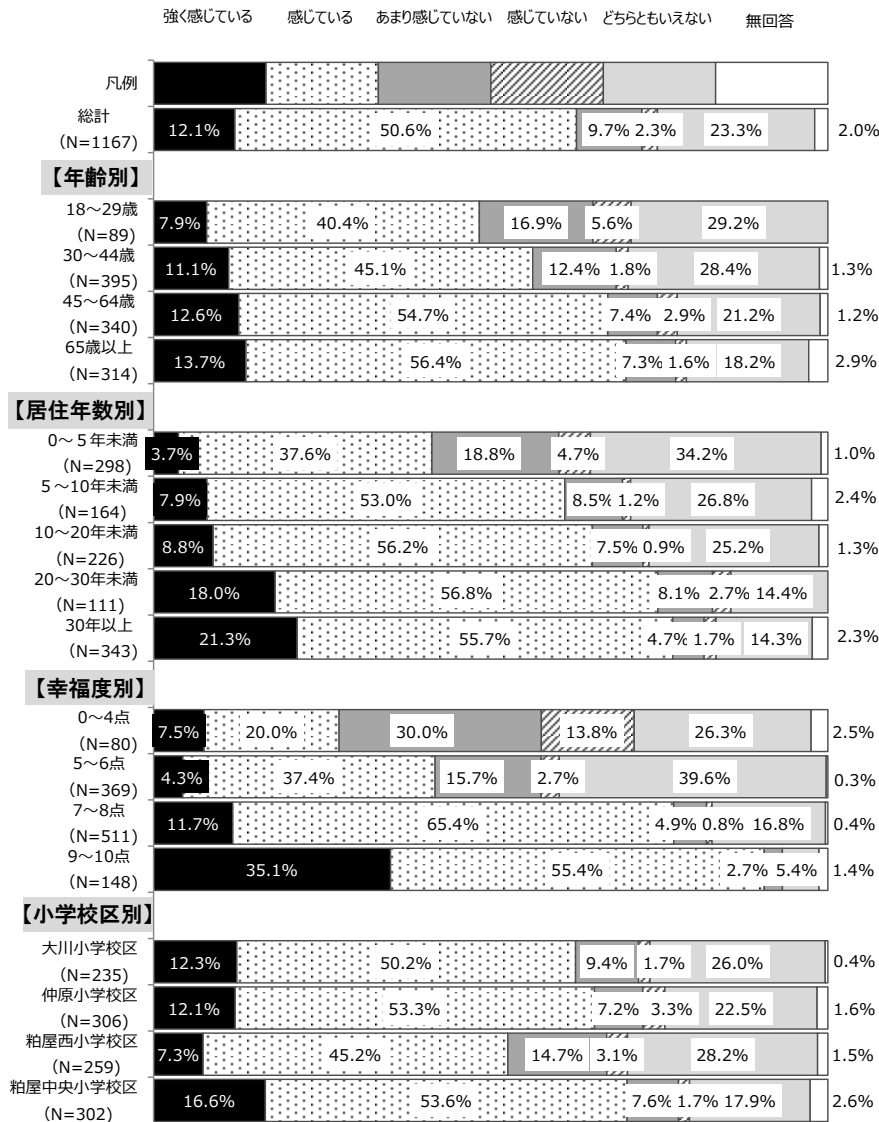
【問1-3：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.62	0.62	0.67

【問1-3：クロス集計（関連項目）】



2. 粕屋町での暮らしについて

< 住みよさ指標 >

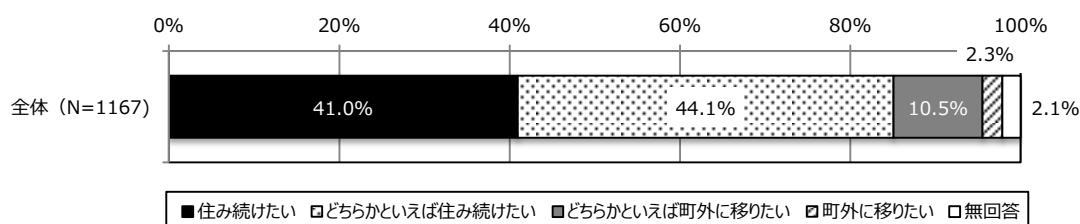
2-4 まちの定住意向

〔調査票/問2-1〕

今後も粕屋町に住みたいと思いますか。(1つだけに○)

【問2-1：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 今後も粕屋町に「住み続けたい」方は、**41.0%**と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」とあわせ、**85.1%**の方が『住み続けたい』と回答しています。一方、『移りたい』（「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」）方は**12.8%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、「住み続けたい」傾向は、過去調査と比べ**最も低く**なっています。

<傾向分析>

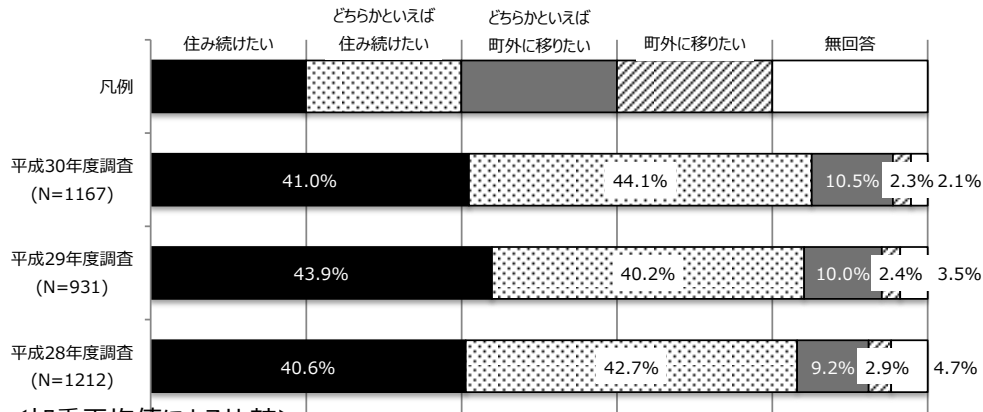
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の「住み続けたい」方が高くなっています。
- 居住年数別でみると、「**30年以上**」で「住み続けたい」方が高くなっています。
- 幸福度別でみると、**幸福度が高い**ほど「住み続けたい」方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で町外に「移りたい」が**29.2%**となり、平成29年度調査を上回り、移住意向が高まっています。

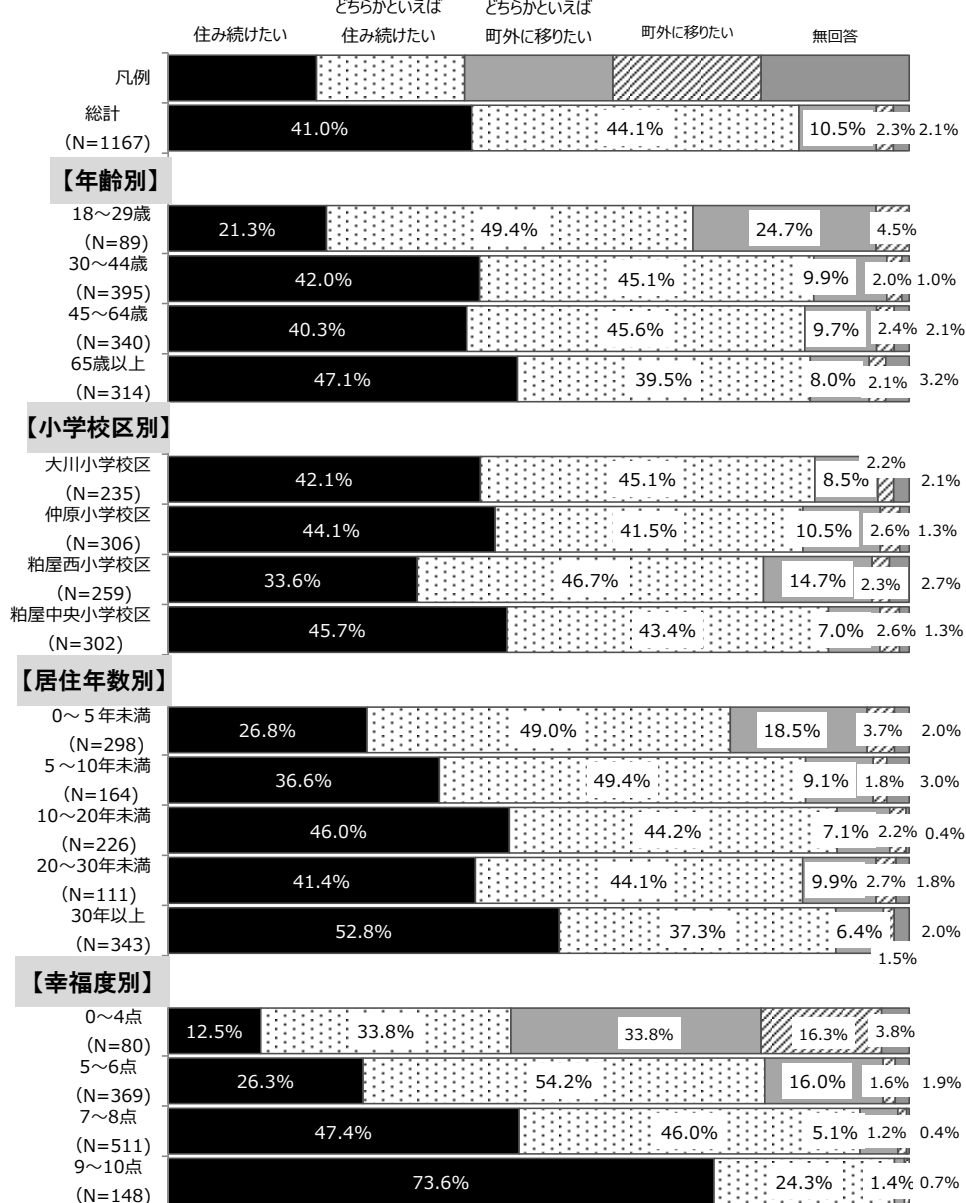
【問2-1：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
1.13	1.17	1.14

【問2-1：クロス集計（関連事項）】



2. 粕屋町での暮らしについて

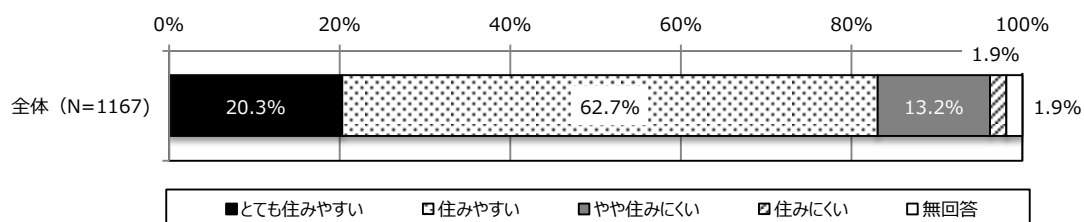
2-5 まちの住みやすさ

〔調査票／問2-2〕

粕屋町は、住みやすいと思いますか。(1つだけに○)

【問2-2：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町の住み良さについて、「**住みやすい**」方が**62.7%**と最も高く、「とても住みやすい」方とあわせ、**83.0%**の方が『**住みやすい**』と回答しています。一方、『**住みにくい**』（「住みにくい」+「やや住みにくい」）方は**15.1%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、まちの住みやすさは、過去調査と比べ**最も低く**なっています。

<傾向分析>

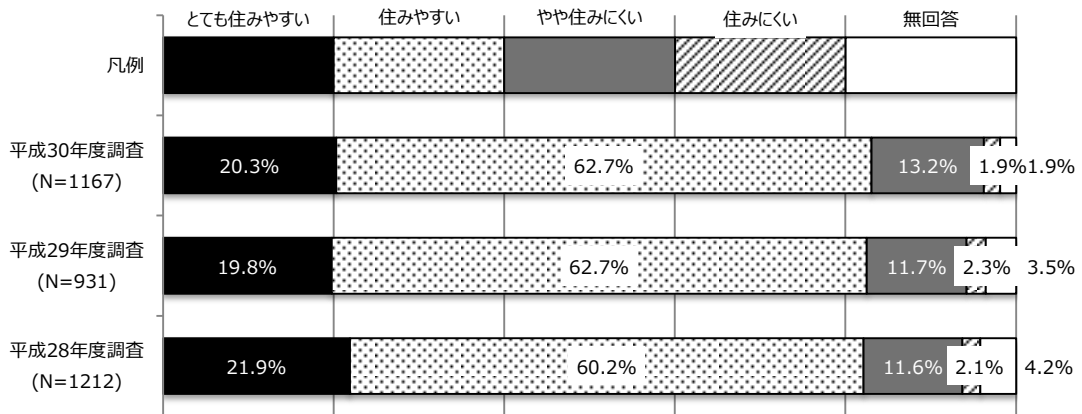
□ ポジティブ評価

- 幸福度別でみると、「**9～10点**」の方は、**73.6%**が「**とても住みやすい**」と回答しています。

□ ネガティブ評価

- 幸福度別でみると、「**0～4点**」の方は、**50.1%**が、『**住みにくい**』（「住みにくい」+「やや住みにくい」）と回答しています。

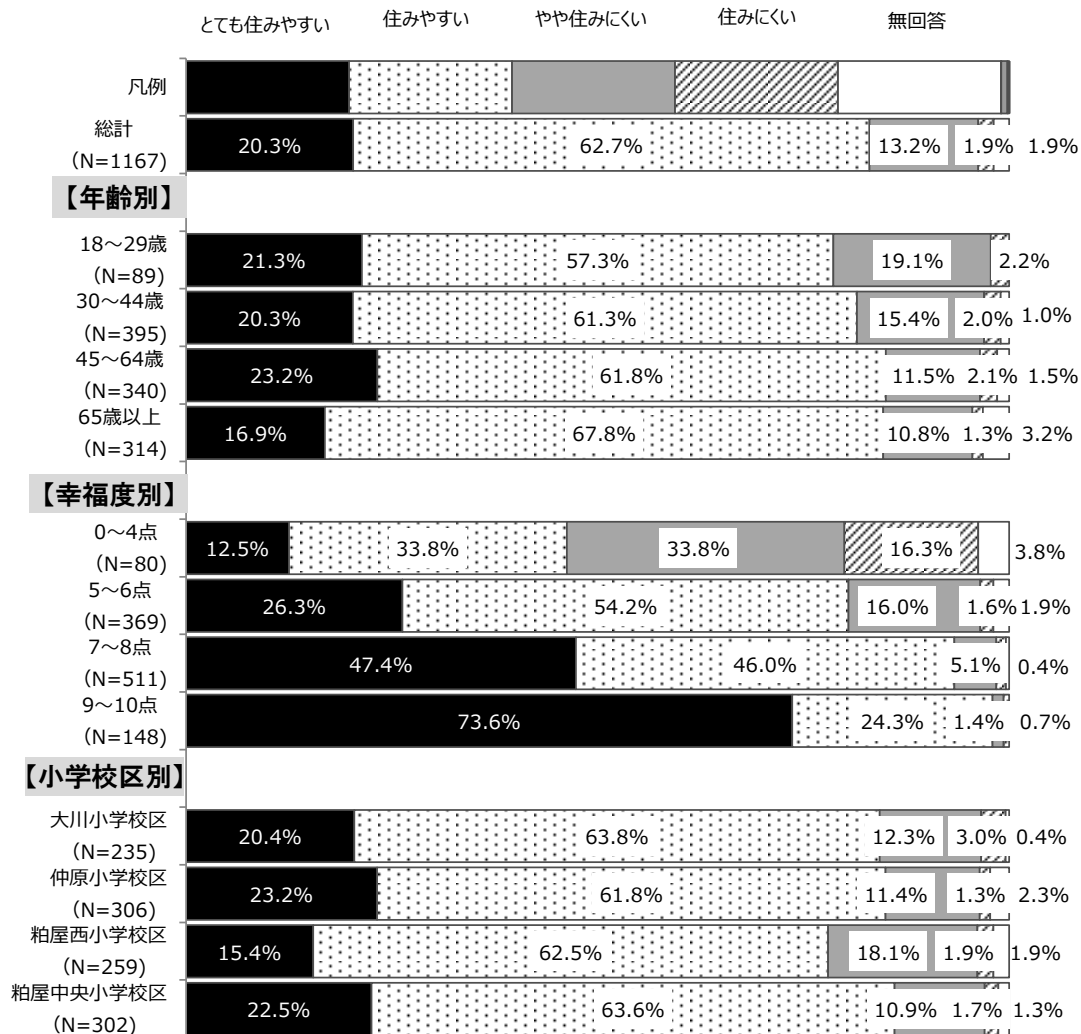
【問2-2：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.88	0.89	0.92

【問2-2：クロス集計（関連事項）】



2-6 住みやすい、住みにくい理由

〔調査票／問2-3〕

問2-2の回答について、どのような点から住みやすい(住みにくい)と思いますか。その理由をお書きください。
(自由記述)

<住みやすい理由 : 回答数 910件 ※キーワードにあわせ細分類>

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
交通の便が良い、公共交通機関が近い、多い(305件)	○地下鉄以外の交通網が整っている(電車、バス、インター、都市高)程よく田舎なのがいい。 ○公共の交通機関が多い。JR、バス。車の運転をしないので交通手段があっている。
商業施設が近い、買い物が便利(142件)	○商業施設や飲食店が充実している。 ○ルクルや外食チェーン店もほどほどにあり、ショッピングも楽しめる。 ○近隣に生活に必要なお店や病院がそろっている。
都会(福岡市・博多)に近い(103件)	○博多駅、天神エリアにも近く、程よく自然もある。 ○福岡市内にも近く、九州道、都市高入口に近くアクセスも良い。
自然が豊か、多い(51件)	○駕与丁公園の自然環境が良い。 ○自然豊かではあるが生活に便利な公共交通やスーパーが充実している。
病院が近くにある、多い(40件)	○近隣に生活に必要なお店や病院がそろっている。 ○病院も近くにあるので大変住みやすい。
程よい田舎(39件)	○程よく田舎であり買物に困らないくらい程よく都会。 ○適度に田舎で自然が残っている。
子育てしやすい、子育て環境が充実している(39件)	○子どもが多く、同じような子育てをしている人と出会いやすい。 ○子ども館や公民館での育児活動が行われていて育てやすい。
公共施設や生活環境が整っていて便利(26件)	○図書館や運動施設なども充実しており良い環境にある。 ○公共施設の充実、文化・スポーツ団体の充実
公園が近くにある(25件)	○駕与丁公園、若杉山、千石狭など自然環境も良く四季を楽しめる。 ○駕与丁公園があるのでとても良い。
町民のふれあい・コミュニティが良い(21件)	○小学生に対し朝の見守り等地域の方のコミュニティがしっかりしている。地域参加の運動会などたくさん参加させてもらった。 ○住人に良い人、温かい人がおり協力合っている点。
治安が良く安全である(18件)	○環境、治安の良さ。役場が近くて便利。 ○事件なども少なくて安心して住める所
家賃が安い(10件)	○家賃が福岡市より安い。
学校や図書館が近くにある(6件)	○子ども館や図書館が近くにある。
災害が少ない(6件)	○適度に田舎、適度に町。自然災害が少ない。
生まれ育ったまちだから愛着がある(5件)	○小さな頃から慣れ親しんだ所だから。
その他(52件)	○温泉が近くにあり三方山に囲まれて最高に癒されている。 ○公共の事が福岡市内より分かりやすい(高齢者にも優しい)

<住みにくい理由 : 回答数 155件 ※キーワードにあわせ細分類>

出現ワード／出現件数(上位順)	共起出現パターン／出現件数(上位順)
交通が不便 (58件)	○港、高速道路(IC)が近いのに公共交通が無く、車がないと買物、病院通いなど不便。 ○公共交通機関は充実しているようで本数の少なさ、隣町へ行くにも車でないといけない点は住みにくい。
道路が悪い (19件)	○柚須駅の歩道が狭い。駐輪場が増えたことはとても助かるが柚須に渡りにくいので困っている。 ○歩道が狭く、勾配がありベビーカーで移動しにくい
子育て環境が悪い (18件)	○学童保育所、保育園の不足。病児保育所など子育て支援をうたっている割には抜けている。 ○子どもと一緒に遊べる場所があまりない。きれいじゃない。
ガス、電気、ゴミ料金が 高い (13件)	○ごみ袋、水道代が高い。 ○水道代が高い。都市ガスのマンションが無い(プロパンガスが高すぎる)
商業施設が少ない (12件)	○買物に行くには車が必要。近くにはスーパーが少なく歩いてでは困難。 ○他の町と比べて飲食店が少なすぎる。
地域コミュニティが煩わしい (9件)	○地元の人たちの結束が強く他県から来た私には壁がとても高く、40年以上たつのにその壁が取れない。 ○町の行事や役員の負担、高齢化の為、他の組合に比べすぐに役員が回ってくる。
治安が悪い (5件)	○道路が狭くて外灯もない。踏切が多くすぐに渋滞が起こる。不審者情報が多すぎる。
犬のフン、ペットマナーが悪い (3件)	○自宅周辺に犬のフンが多い。もう少し清潔感のある町に引っ越すことを考えている。
その他 (18件)	○病院や高齢者の住居に不安を感じる。 ○燃えないゴミの捨てる場所がわかりにくいし遠い。

< つながり指標 >

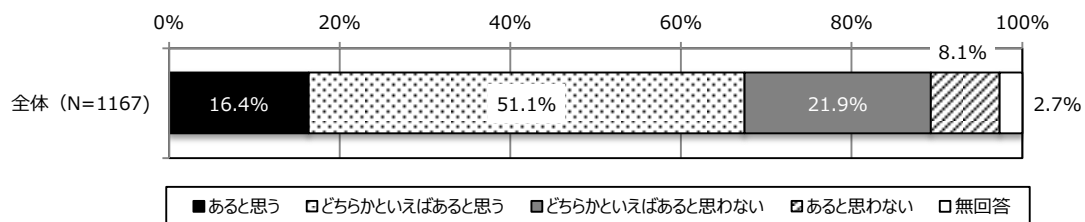
2-7 地域での人と人のつながり

〔調査票／問3-1〕

粕屋町では、地域で人と人のつながりがあると思いますか。(1つだけに○)

【問3-1：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、地域で人と人のつながりが「**どちらかといえばあると思う**」方が**51.1%**と最も高く、「あると思う」とあわせ、**67.5%**の方が『**あると思う**』と回答しています。一方、『**あると思わない**』（あると思わない+どちらかといえばあると思わない）方は**30.0%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、地域で人と人のつながりは、過去調査と比べ**最も低く**なっています。

<傾向分析>

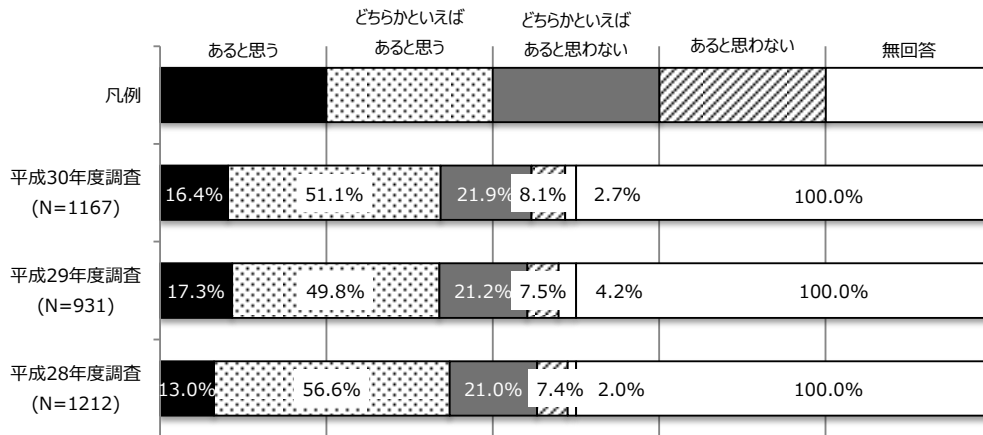
□ **ポジティブ評価**

- 幸福度別でみると、「**9～10点**」の方は、**33.8%**が地域で人と人のつながりが「**あると思う**」と回答しています。
- 愛着度別でみると、「**愛着を強く感じている**」方は、**45.4%**が地域で人と人のつながりが「**あると思う**」と回答しています。

□ **ネガティブ評価**

- 愛着度別でみると、「**愛着を感じていない**」（あまり感じていない+感じていない）方の半数以上は地域で人と人のつながりが「**あると思わない**」と回答しています。

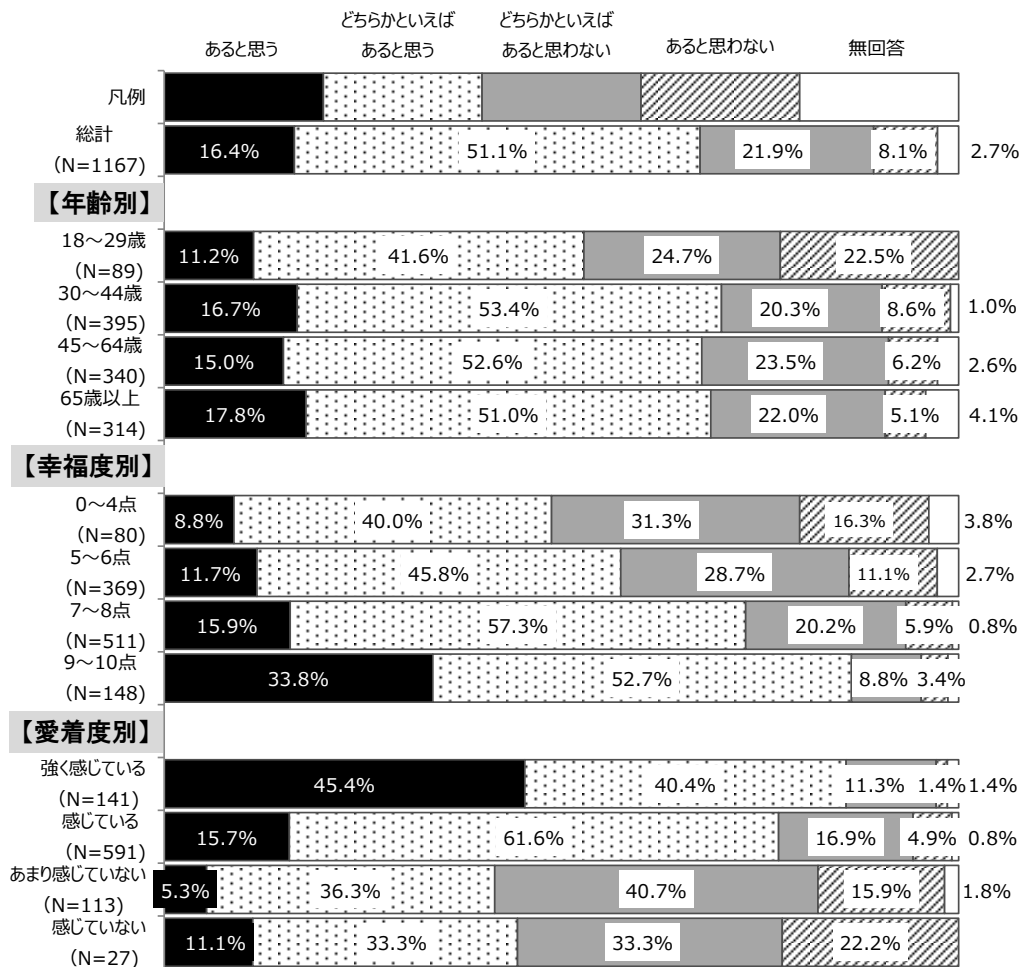
【問3-1：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.47	0.50	0.48

【問3-1：クロス集計（関連事項）】



2. 粕屋町での暮らしについて

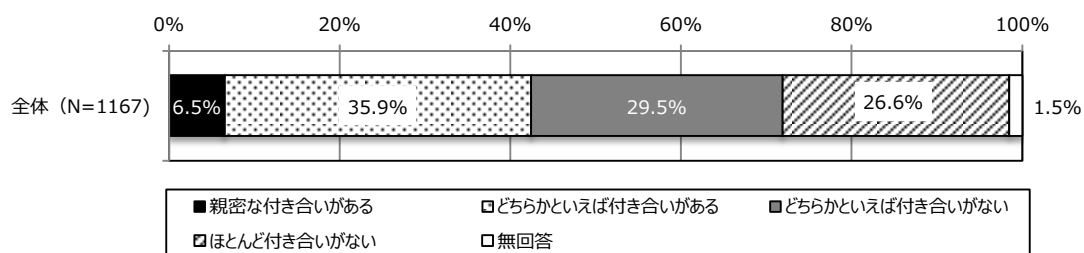
2-8 隣近所とのつきあい

〔調査票／問3-2〕

あなたは、隣近所とはどの程度のお付き合いをされていますか。(1つだけに○)

【問3-2：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 隣近所との付き合いについて、「どちらかといえば付き合いがある」方が**35.9%**と最も高く、「親密なつきあいがある」とあわせて**42.4%**が『付き合いがある』と回答しています。一方、『付き合いがない』（「ほとんど付き合いがない」+「どちらかといえば付き合いがない」）方も**56.1%**と半数以上となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、隣近所とのつきあいは、過去調査と比べ**最も低く**なっています。

<傾向分析>

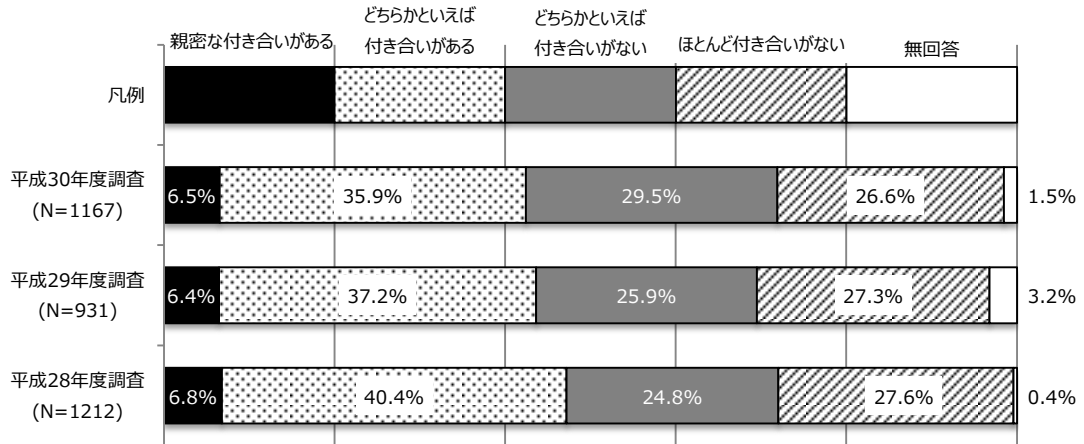
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で『付き合いがある』方が高くなっています。
- 居住年数別でみると、「**30年以上**」で、『付き合いがある』方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で、「ほとんど付き合いがない」方が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**粕屋西小学校区**」で、『付き合いがない』方が高く、他地区に比べ地域のつながりが少ない傾向がみられます。
- 居住年数別でみると、「**5年未満**」で、「ほとんど付き合いがない」方が高くなっています。

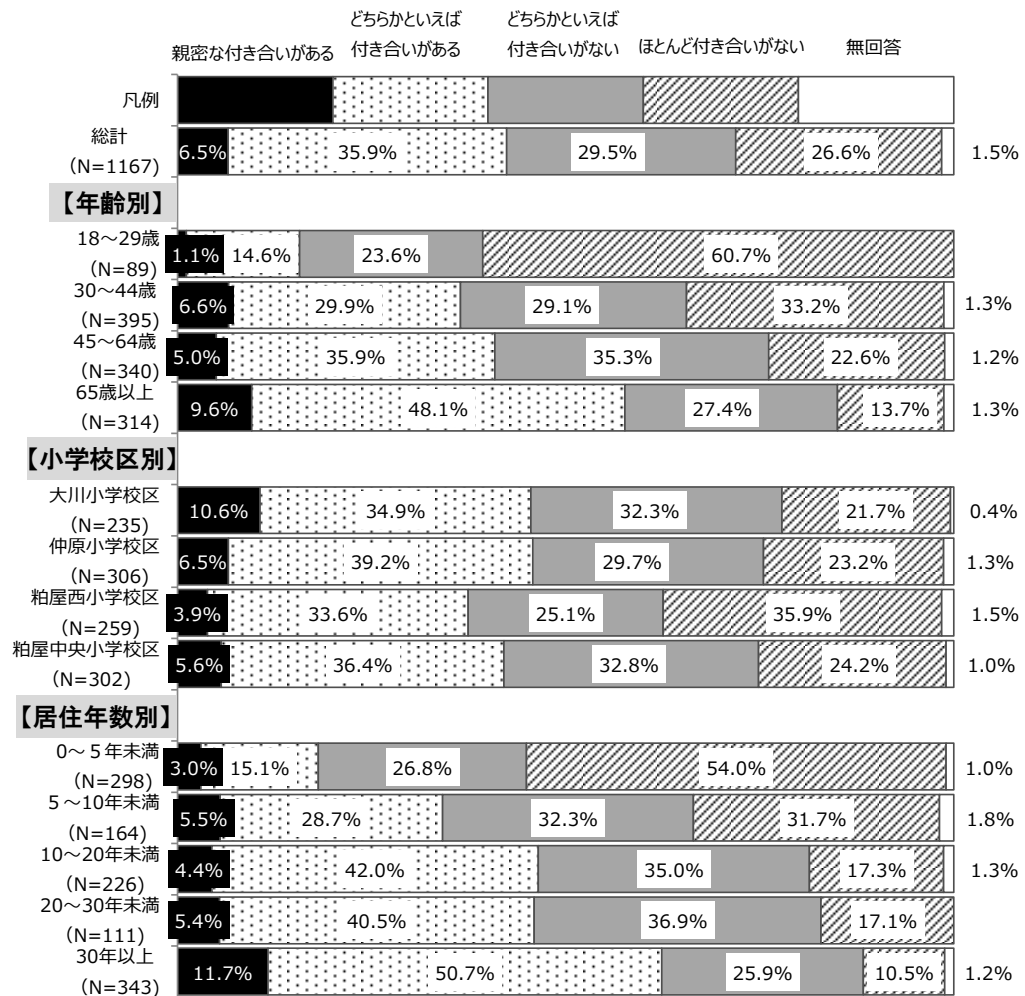
【問3-2：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.34	-0.31	-0.26

【問3-2：クロス集計（関連項目）】



< 活力指標 >

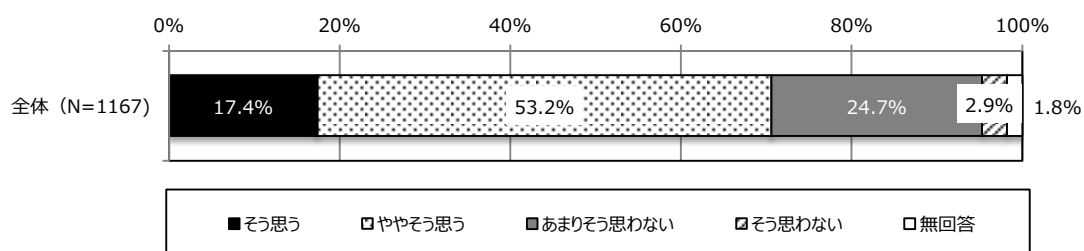
2-9 活力ある元気なまち

〔調査票/問4〕

粕屋町は、活力ある元気なまちだと思いますか。(1つだけに○)

【問4：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町は、活力ある元気なまちだと「ややそう思う」方が**53.2%**と最も多く、「そう思う」方とあわせ、**70.6%**の方が『**そう思う**』と回答しています。一方、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**27.6%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、活力ある元気なまちへの評価は過去調査と比べ**最も高くな**っています。

<傾向分析>

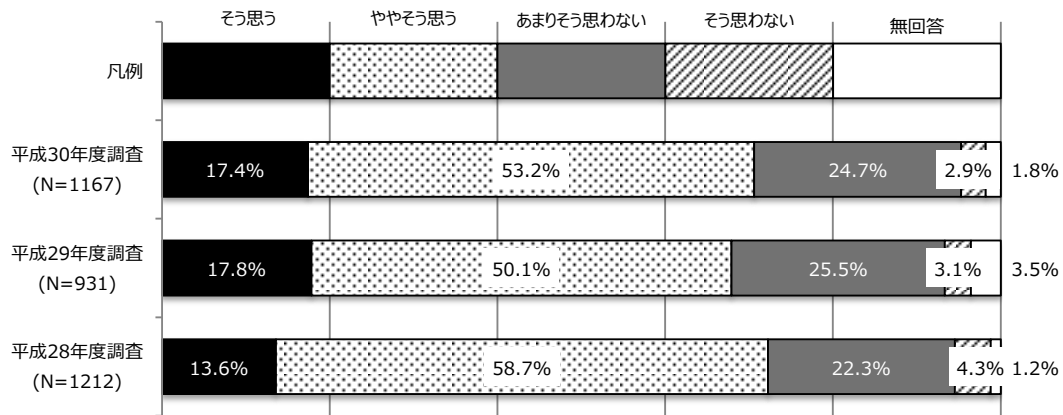
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**30～44歳**」では活力ある元気なまちだと「**そう思う**」方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」では活力ある元気なまちだと『**そう思わない**』方が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**粕屋中央小学校区**」では活力ある元気なまちだと『**そう思わない**』方が高くなっています。

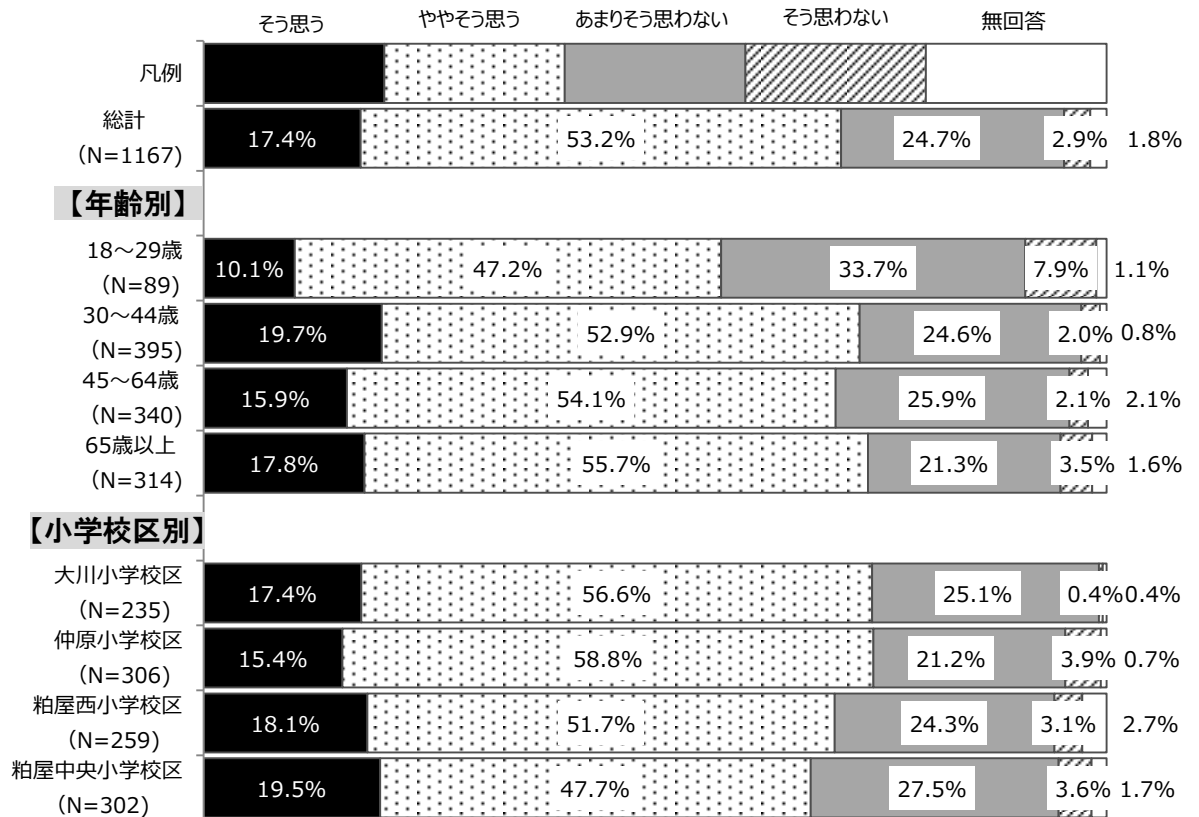
【問4：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.59	0.56	0.56

【問4：クロス集計（関連事項）】



2. 粕屋町での暮らしについて

< 健やか指標 >

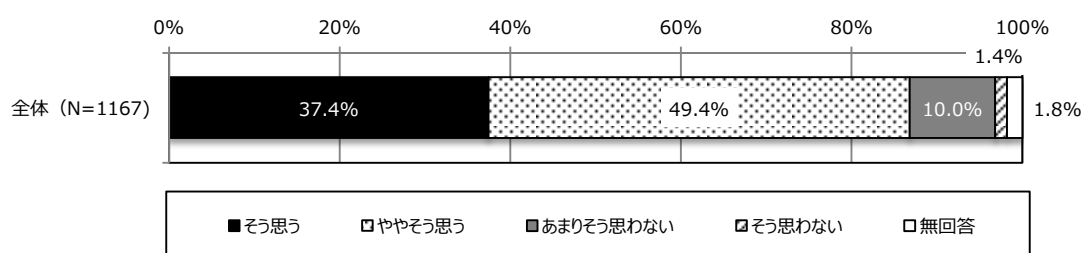
2-10 健康な暮らし

〔調査票/問5〕

あなたは、粕屋町で健康に暮らせていると思いますか。(1つだけに○)

【問5：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町で健康に暮らせていると「ややそう思う」方が**49.4%**と最も高く、「そう思う」とあわせ**86.8%**の方が『そう思う』と回答しています。一方、『そう思わない』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**11.4%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、健康な暮らしへの評価は過去調査と比較して**最も低**くなっています。

<傾向分析>

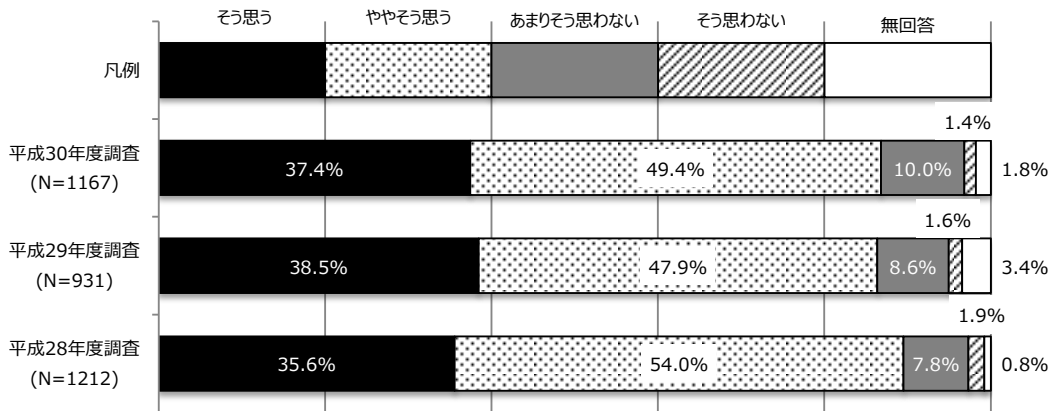
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で健康に暮らせていると「**そう思う**」方が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**仲原小学校区**」で健康に暮らせていると「**そう思う**」方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」「**45～64歳**」で健康に暮らせていると「**あまりそう思わない**」方が高くなっています。

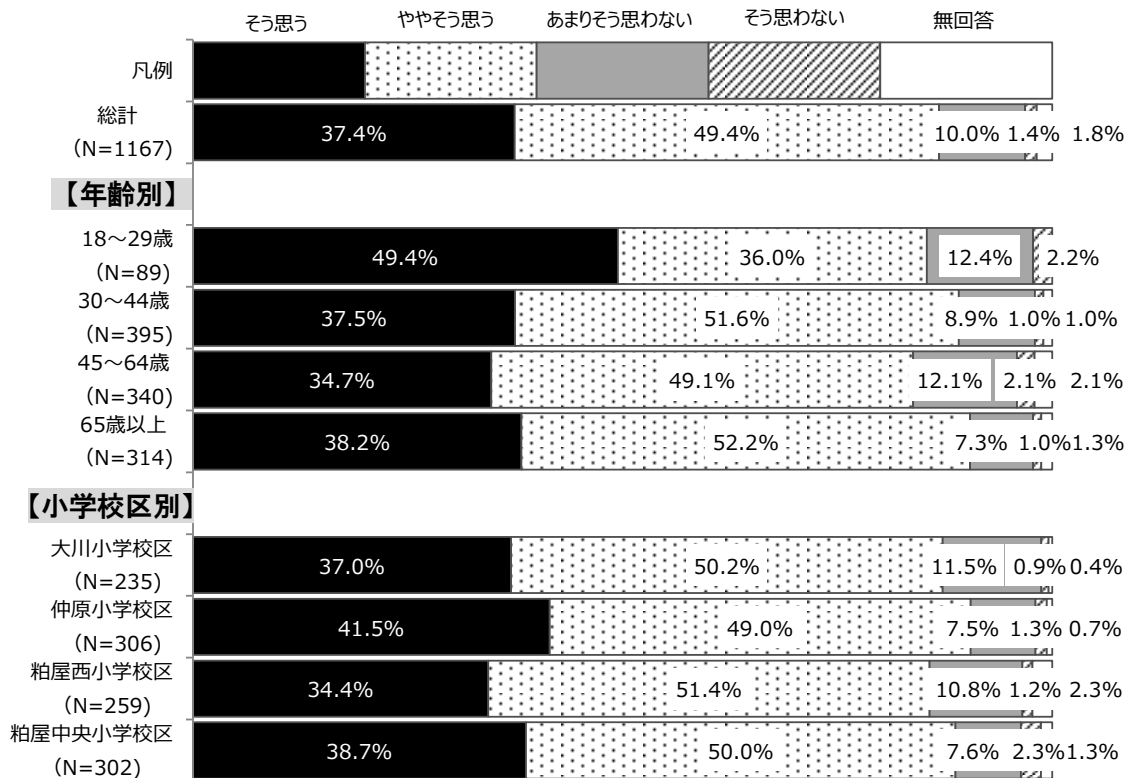
【問5：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

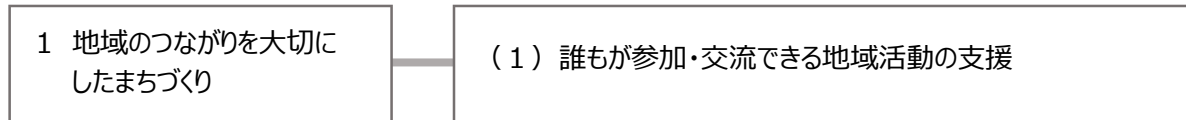
平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
1.14	1.17	1.15

【問5：クロス集計（関連事項）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策



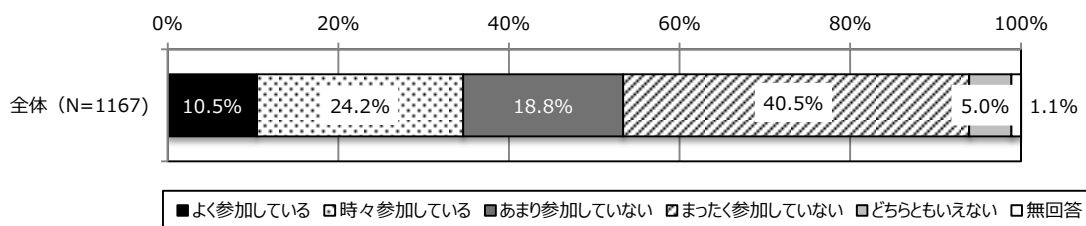
3-1 地域活動の参加状況

〔調査票／問6〕

【地域活動】あなたは、地域行事(夏祭りや餅つきなど)に日頃から参加していますか。(1つだけに○)

【問6：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 地域行事の参加状況についてみると、「まったく参加していない」方が**40.5%**と最も高く、「あまり参加していない」とあわせ**59.3%**の方が『参加していない』と回答しています。一方、『参加している』（よく参加している＋時々参加している）方は**34.7%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、地域行事の参加状況は、平成29年度調査と比べ**低**くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

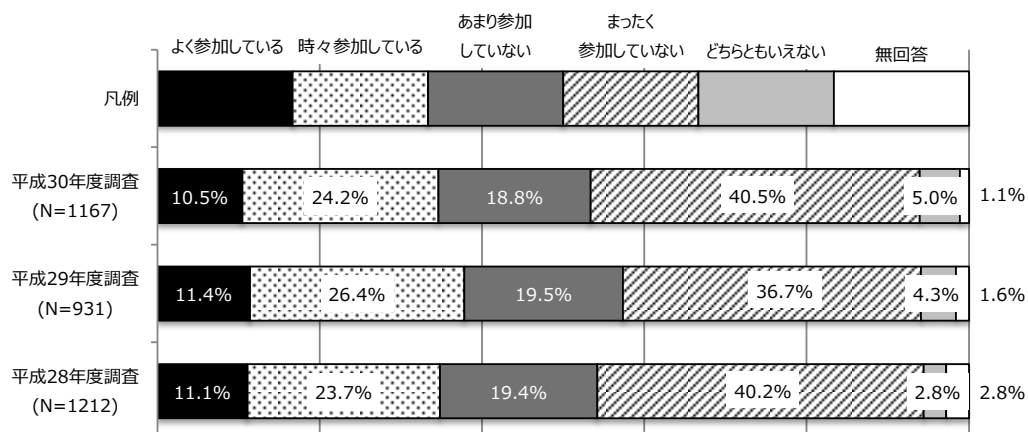
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」、居住年数別でみると、「**30年以上**」で「よく参加している」方が高くなっています。
- 愛着度別でみると、**愛着度が高い**ほど、地域行事へ『参加している』回答の割合が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」、居住年数別でみると、「**5年未満**」で「まったく参加していない」方が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

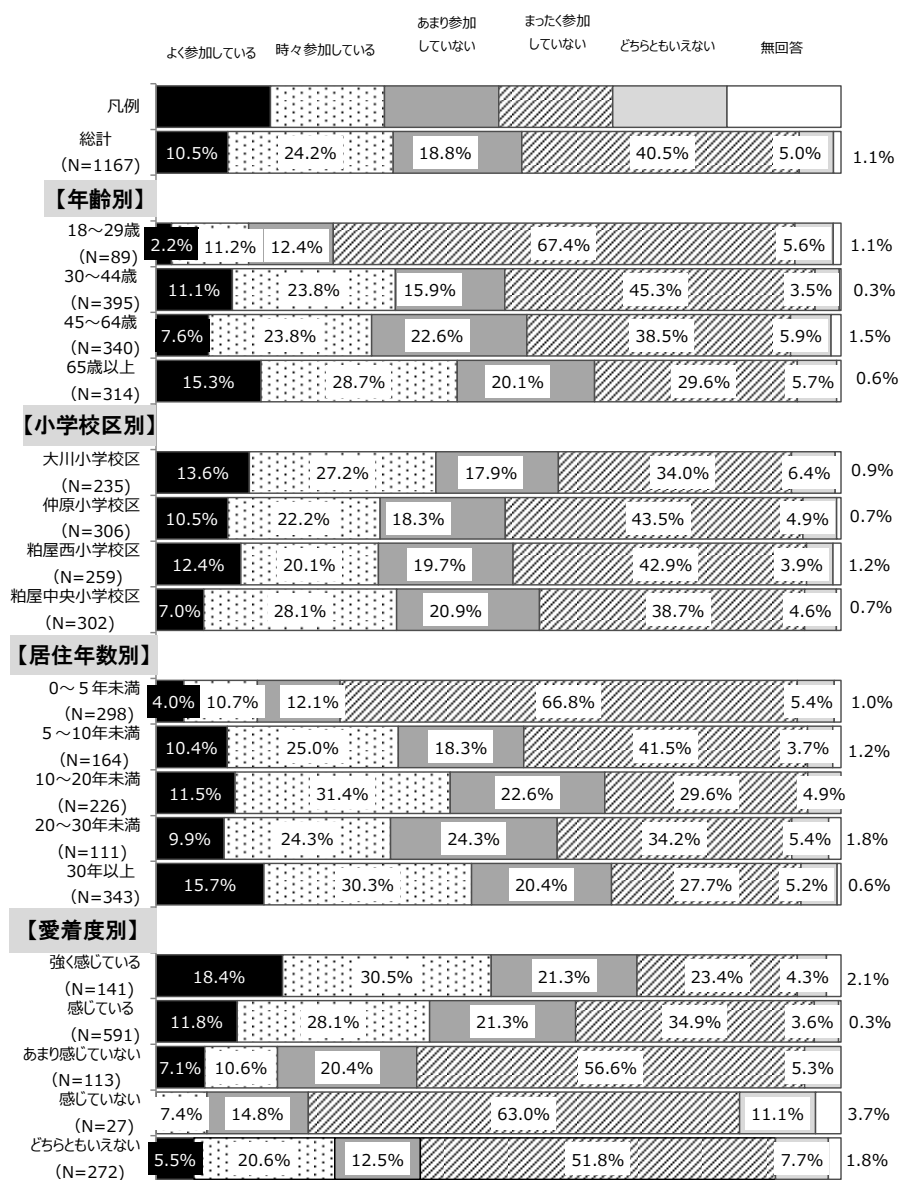
【問6：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.55	-0.45	-0.55

【問6：クロス集計（関連事項）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策

1 地域のつながりを大切に
したまちづくり

(2) 人と地域が輝くまちづくり活動の推進

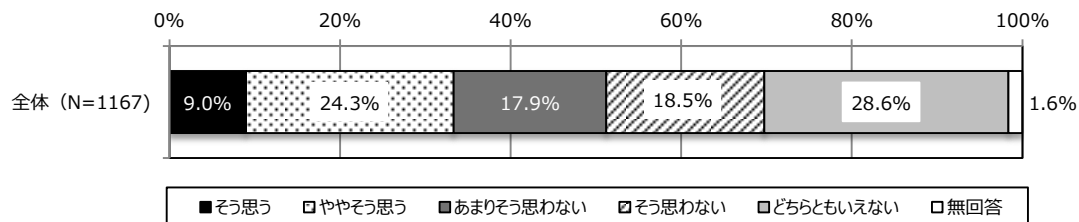
3-2 まちづくりへの参加意向

〔調査票／問7〕

【ボランティア】あなたは、ボランティアなどのまちづくりに参加したいと思いますか。(1つだけに○)

【問7：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- ボランティアなどのまちづくりへの参加意向について、「どちらともいえない」方は**28.6%**と最も高く、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた、**33.3%**の方が『**参加したいと思う**』と回答しています。一方、『**参加したいと思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**36.4%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、まちづくりへの参加意向は、過去調査と比べ**最も低く**なっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

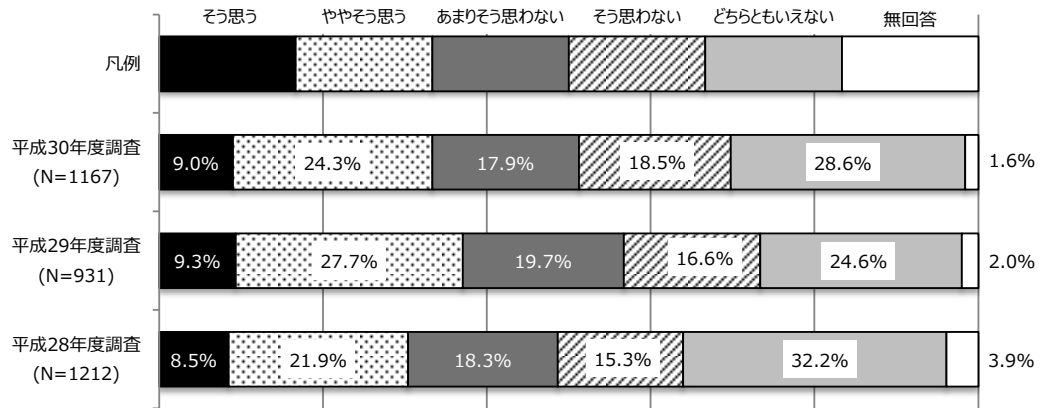
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で、ボランティアなどのまちづくりへ『**参加したいと思う**』方が**44.0%**と高くなっています。
- 幸福度別で見ると、**幸福度が高い**ほど、ボランティアなどのまちづくりへ『**参加したいと思う**』方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で、ボランティアなどのまちづくりへの参加に「**そう思わない**」方が**67.4%**と高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

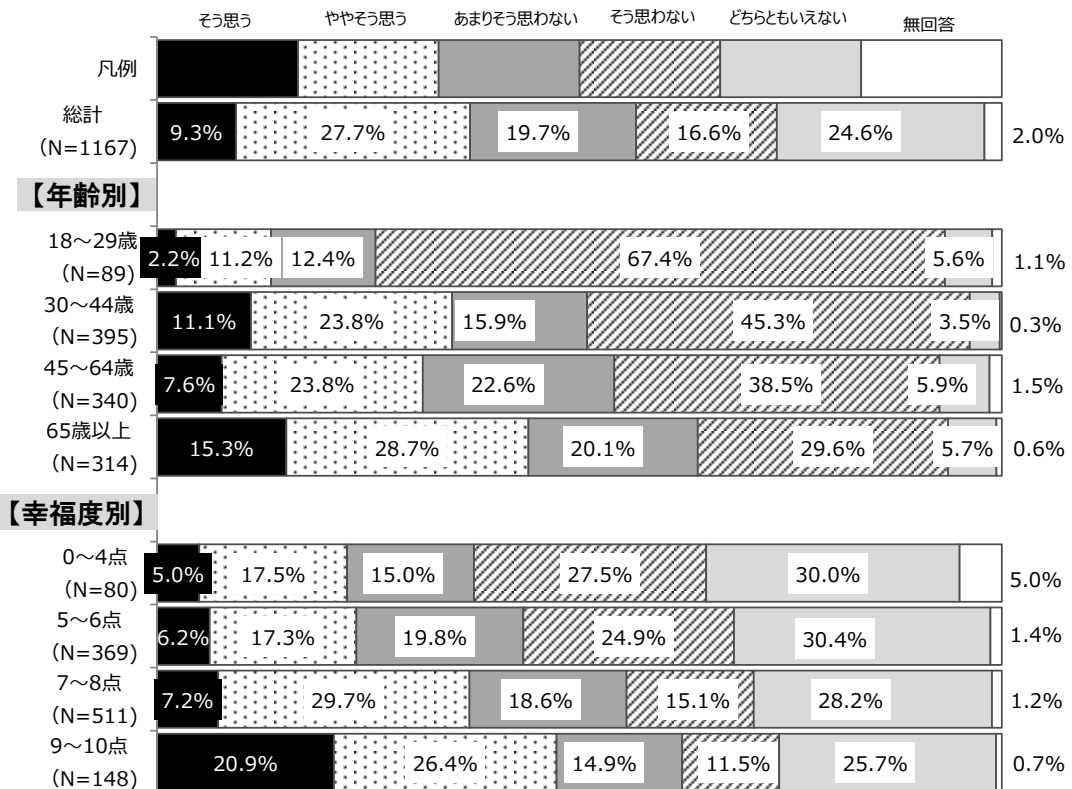
【問7：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.13	-0.07	-0.10

【問7：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 地域とともに助け合う安全
なまちづくり

(1) 災害に強い地域社会の実現

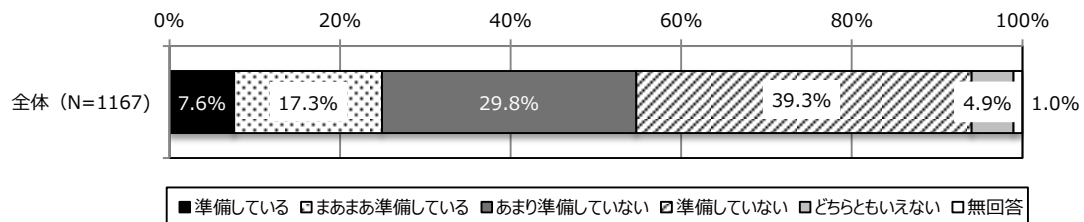
3-3 災害用備品の準備

〔調査票／問8〕

【防災】あなたは、日頃から災害用備品を準備していますか。(1つだけに○)

【問8：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 日頃から災害用備品を「準備していない」方が**39.3%**と最も多く、「あまり準備していない」とあわせ、**69.1%**の方が『準備していない』と回答しており、依然として防災の備えが進んでいないことがわかります。一方、『準備している』(準備している+まあまあ準備している)方は**24.9%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、災害用備品の準備は、平成29年度調査と同程度となっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

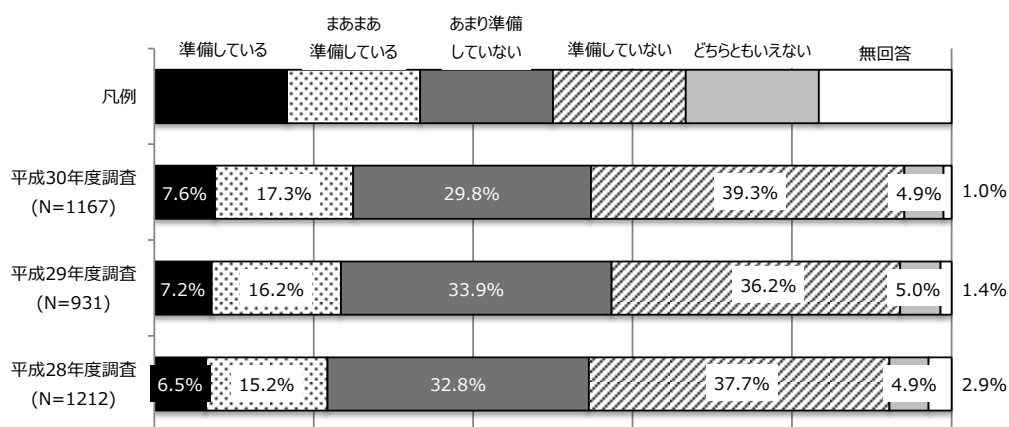
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で日頃から災害用備品を『準備している』方が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**粕屋中央小学校区**」で日頃から災害用備品を『準備している』方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で日頃から災害用備品を「準備していない」方が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

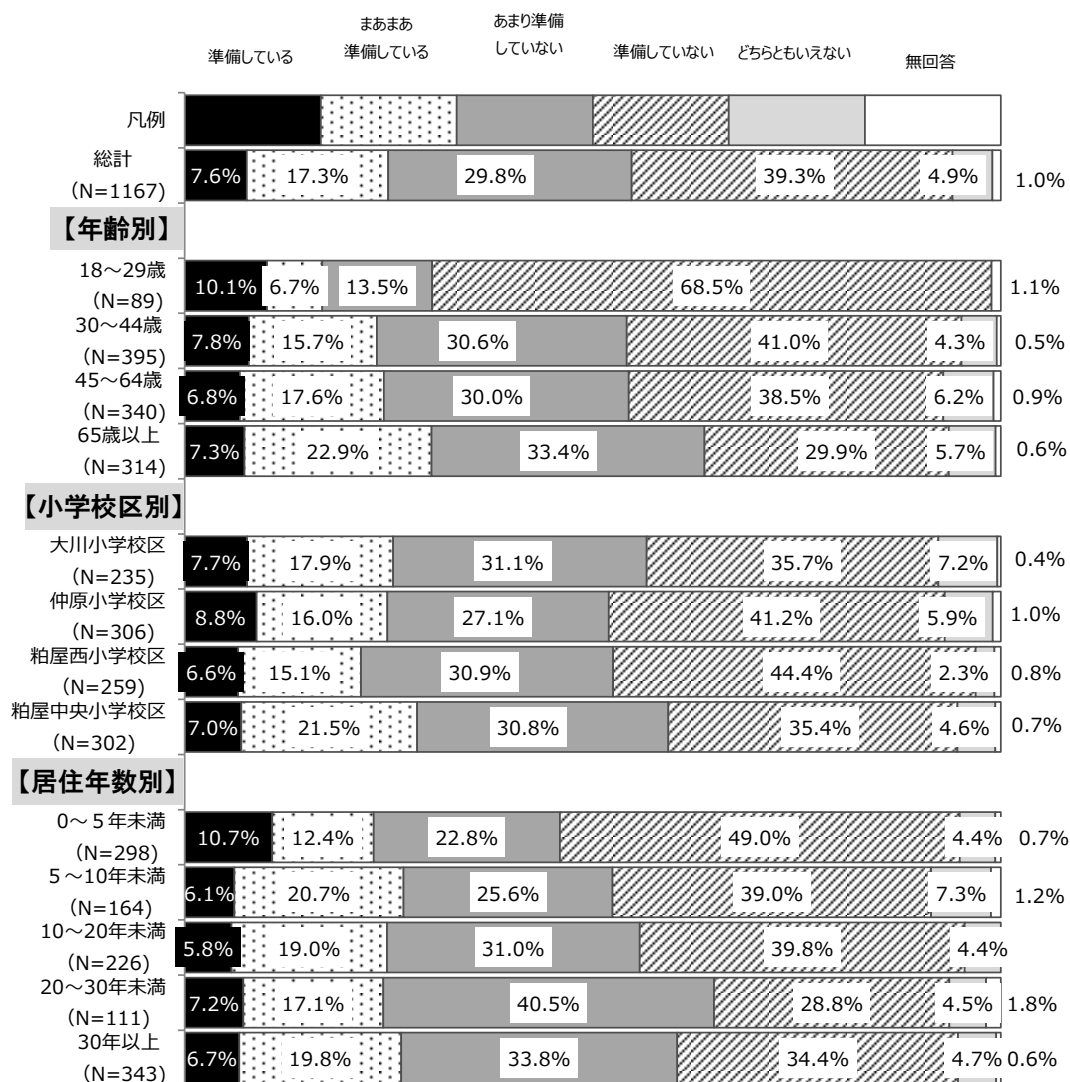
【問8：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.77	-0.77	-0.82

【問8：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 地域でともに助け合う安全
なまちづくり

(2) 事故や犯罪が起こりにくい地域社会の実現

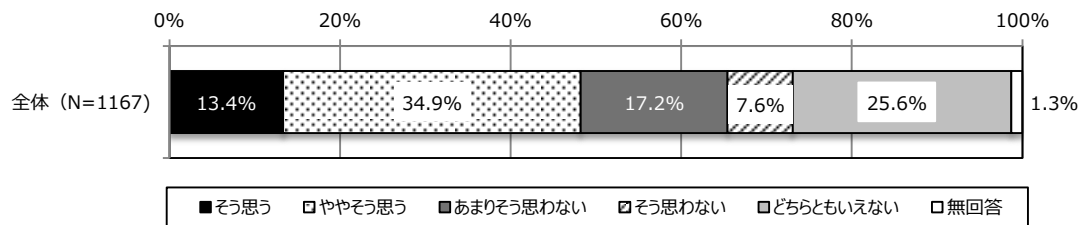
3-4 事故や犯罪が少なく安全な町だと思いますか

〔調査票／問9〕

【防犯】粕屋町は、事故や犯罪が少なく安全な町だと思いますか。(1つだけに○)

【問9：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町は、事故や犯罪が少なく安全な町だと「ややそう思う」方が**34.9%**と最も高く、「そう思う」とあわせ、**48.3%**の方が『そう思う』と回答しています。一方、『そう思わない』（そう思わない+あまりそう思わない）方は**24.8%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、事故や犯罪が少なく安全な町の評価は、平成29年度調査と比べ**高くなっています**。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

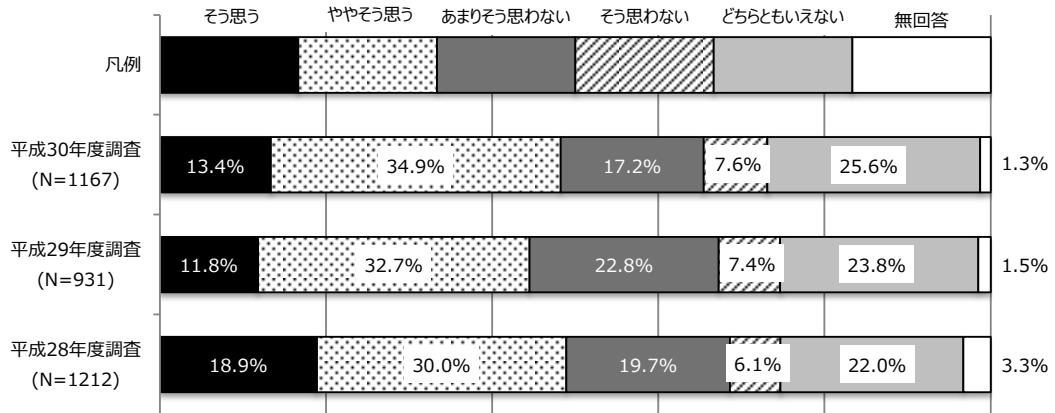
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で事故や犯罪が少なく安全な町だと『そう思う』方が高くなっています。
- 住み良さ別でみると、「**とても住みやすい**」方で事故や犯罪が少なく安全な町だと『そう思う』方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**30～44歳**」の方で事故や犯罪が少なく安全な町だと『そう思わない』方が高くなっています。
- 住み良さ別でみると、「**住みにくい**」方で事故や犯罪が少なく安全な町だと『そう思わない』方が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

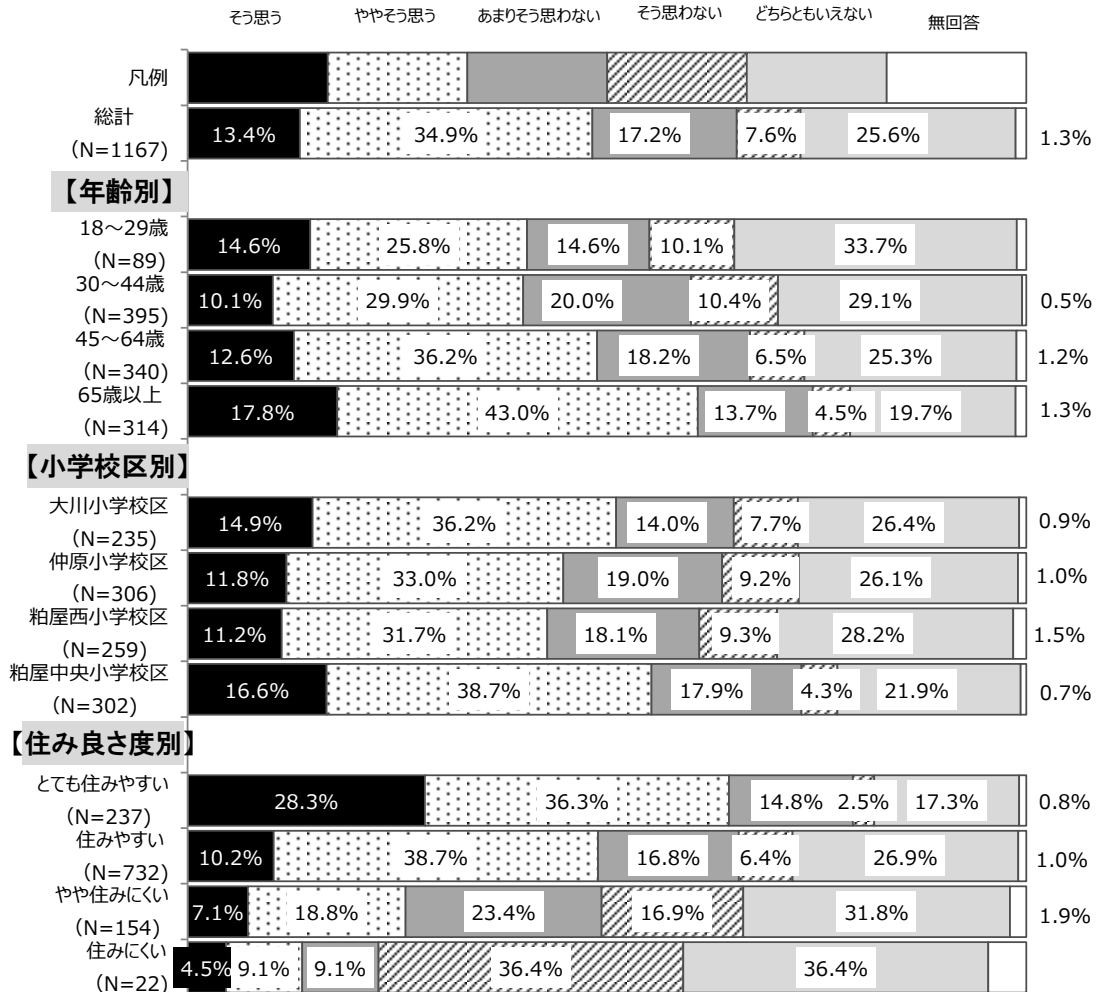
【問9：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.30	0.19	0.37

【問9：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策

3 未来を担う子どもたちを
育むまちづくり

(1) 子どもたちの生きる力を育む教育の推進

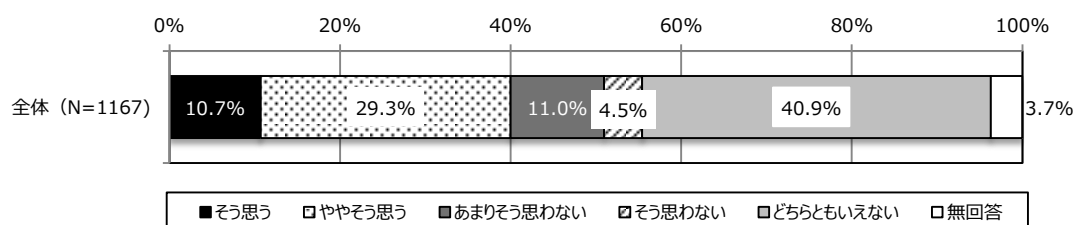
3-5 教育環境が整っていると思いますか

〔調査票／問10〕

【学校教育】粕屋町では、小中学校の教育環境が整っていると思いますか。(1つだけに○)

【問10：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 小中学校の教育環境が整っていると思うかについて、「どちらともいえない」方が40.9%と最も高くなっています。
- 教育環境が整っていると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**40.0%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**15.5%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、小中学校の教育環境への評価は、平成29年度調査と比べ**やや高**くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

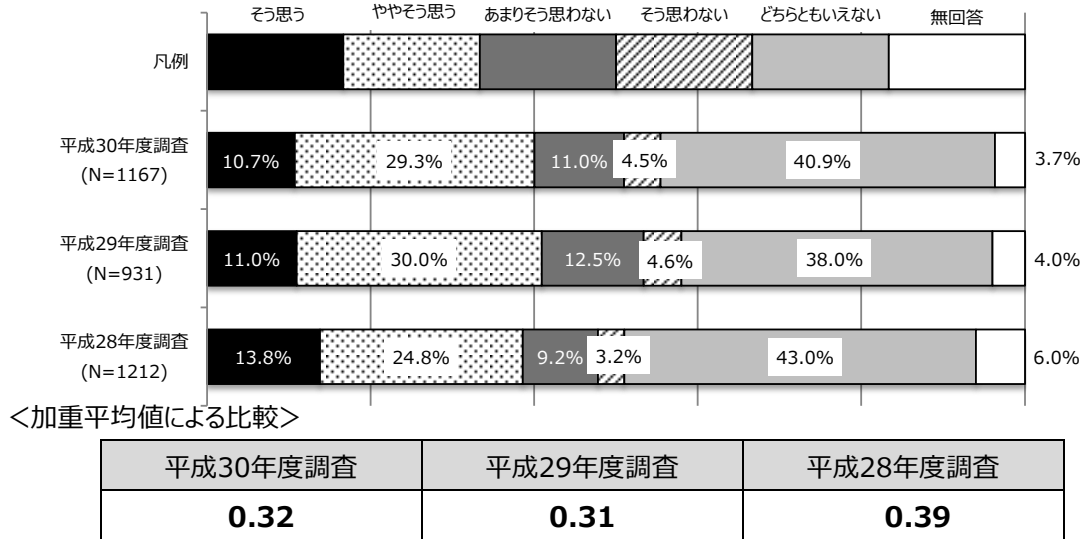
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で小中学校の教育環境が整っていると『**そう思う**』が高くなっています。
- 住み良さ別でみると、「**とても住みやすい**」方で小中学校の教育環境が整っていると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

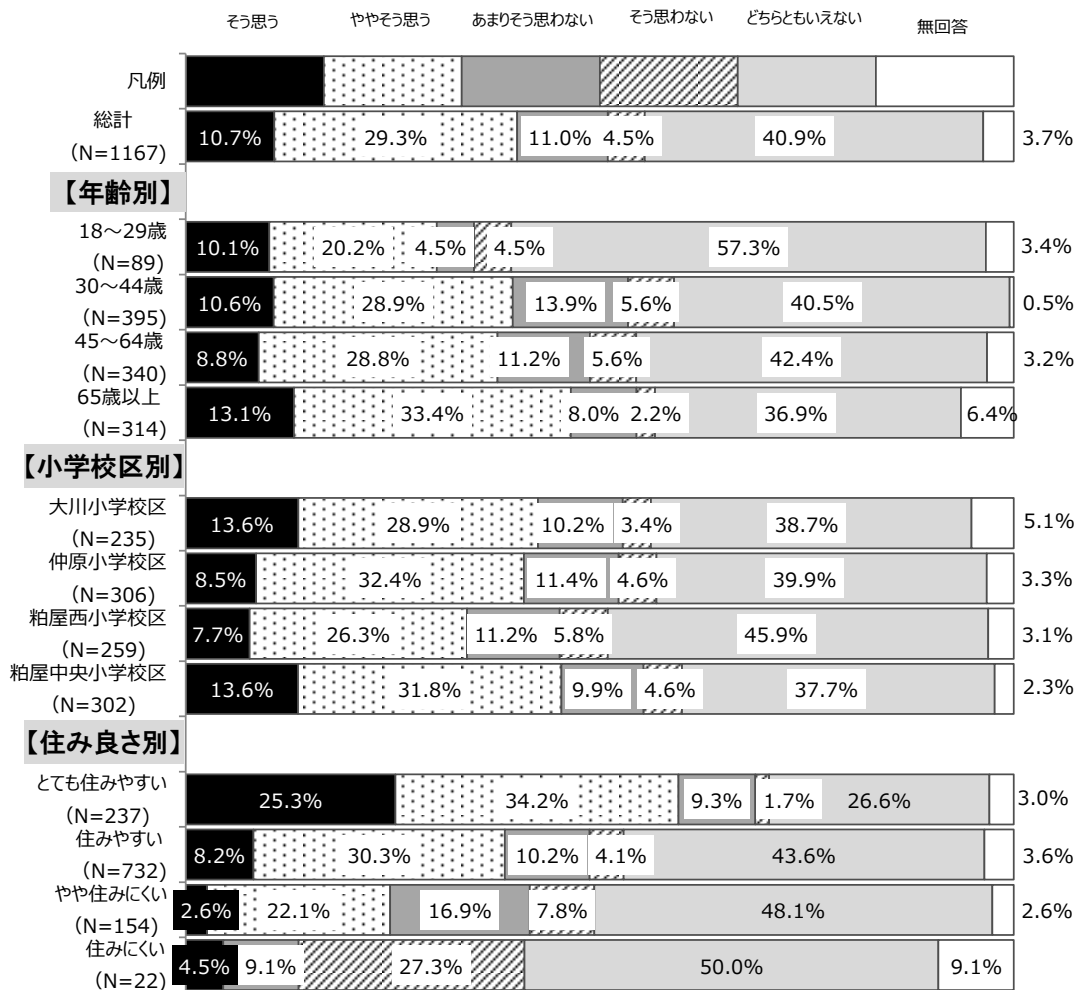
- 住み良さ別でみると、「**住みにくい**」方で小中学校の教育環境が整っていると『**そう思わない**』が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

【問10：過去調査との比較】



【問10：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策

3 未来を担う子どもたちを
育むまちづくり

(2) 地域ぐるみで育む子どもたちの健全な育成

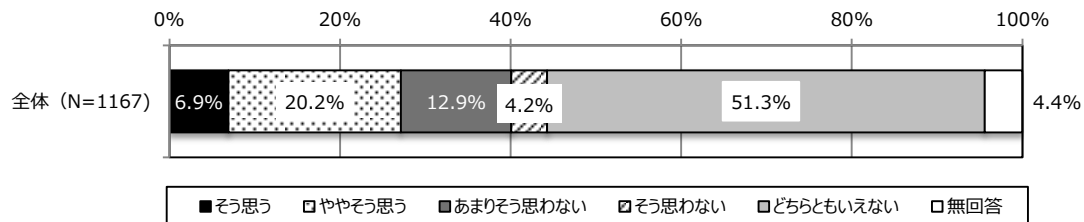
3-6 学校・家庭・地域の連携による青少年の育成

〔調査票／問11〕

【青少年の健全育成】粕屋町では、青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思いますか。
(1つだけに○)

【問11：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思うかについて、「**どちらともいえない**」方が51.3%と最も高くなっています。
- 青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方が**27.1%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**17.1%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、学校・家庭・地域の連携による青少年の育成への評価は、平成29年度調査と比べ**若干低**くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

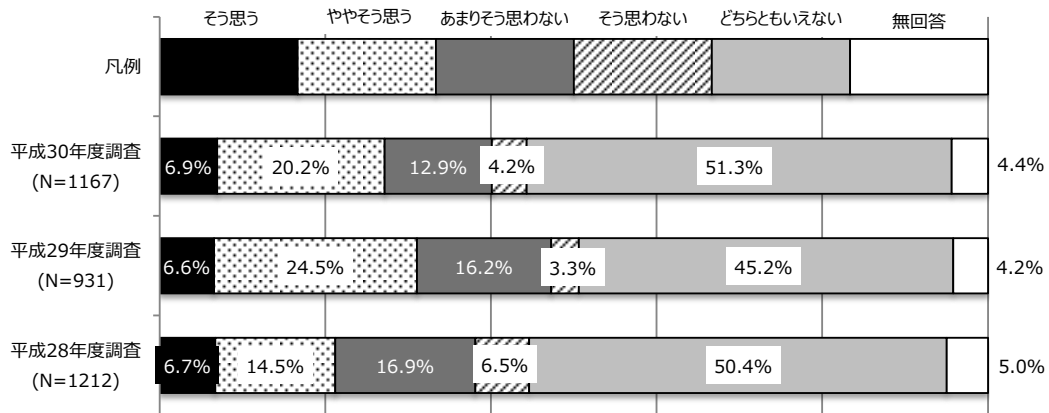
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で学校・家庭・地域の連携が十分だと『**そう思う**』が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**大川小学校区**」の方で学校・家庭・地域の連携が十分だと『**そう思う**』が高くなっています。
- 幸福度別でみると、「**9～10点**」の方で学校・家庭・地域の連携が十分だと『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 幸福度別でみると、「**0～4点**」の方で学校・家庭・地域の連携が十分だと『**そう思わない**』が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

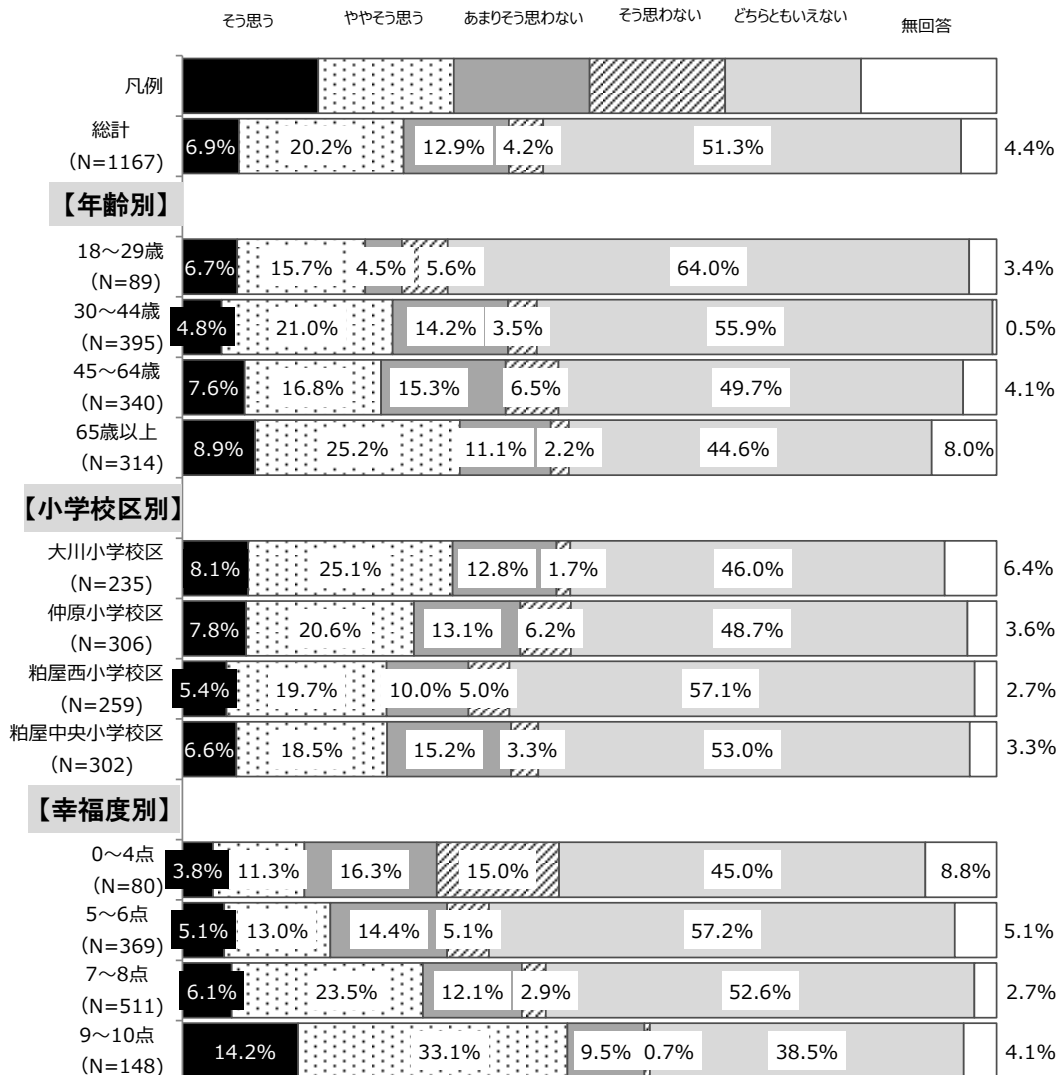
【問11：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.13	0.15	-0.02

【問11：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策



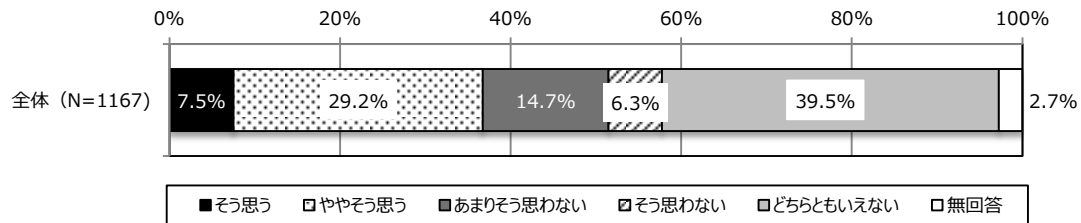
3-7 身近な生涯学習の機会

〔調査票／問12〕

【生涯学習】粕屋町では、生涯を通して身近に学びの機会があると思いますか。(1つだけに○)

【問12：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 生涯を通して身近に学びの機会があると思うかについて、「**どちらともいえない**」が**39.5%**と最も高くなっています。
- 生涯を通して身近に学びの機会があると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**36.7%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**21.0%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、身近な生涯学習の機会への評価は、過去調査と比べ**最も高くな**っています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

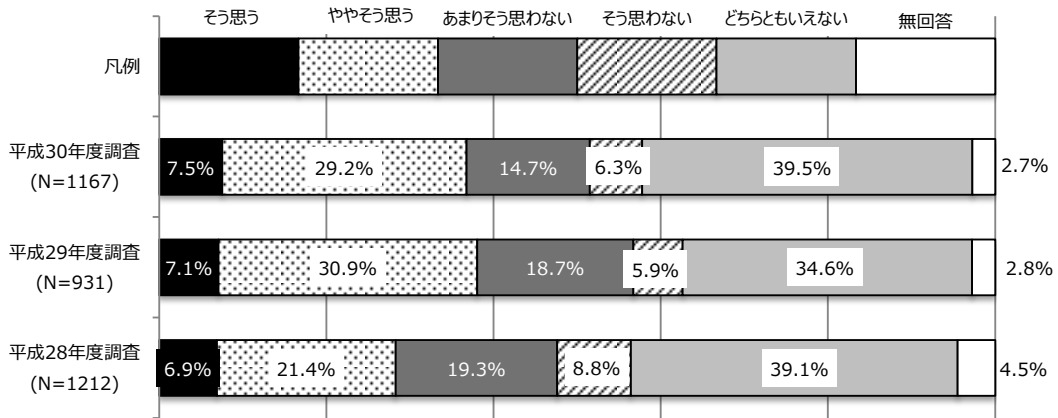
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で生涯を通して身近に学びの機会があると『**そう思う**』方が高くなっています。
- 住み良さ別でみると、「**とても住みやすい**」方で生涯を通して身近に学びの機会があると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 住み良さ別でみると、「**住みにくい**」方で生涯を通して身近に学びの機会があると『**そう思わない**』が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

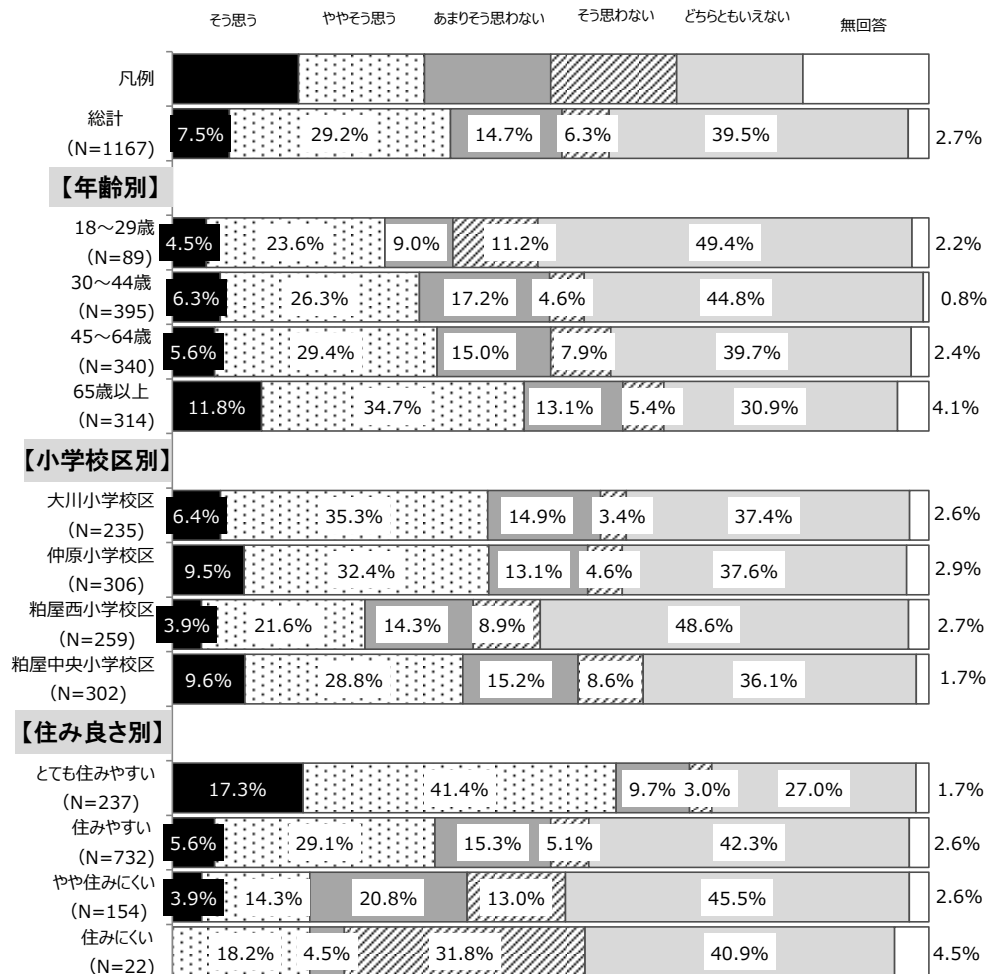
【問12：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.18	0.15	-0.02

【問12：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

■政策・基本施策

4 身近な学びと交流がある
まちづくり

(2) 郷土を愛し、地域の歴史と文化を継承する社会の実現

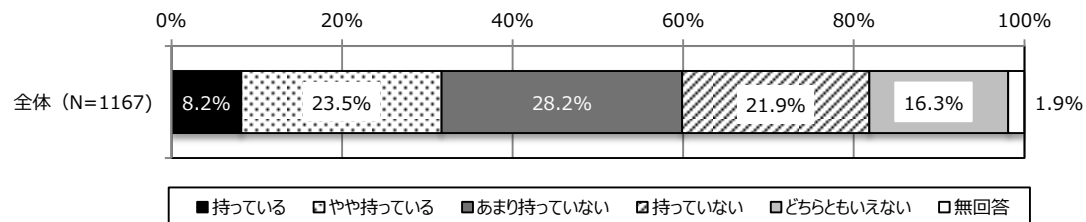
3-8 町の歴史に関する興味

〔調査票／問13〕

【歴史文化】あなたは、町の歴史に興味を持っていますか。(1つだけに○)

【問13：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 町の歴史について興味を「あまり持っていない」方が**28.2%**と最も高く、「持っていない」方とあわせた**50.1%**の方が『興味を持っていない』と回答しています。一方、『興味を持っている』（「持っている」+「やや持っている」）方は**31.7%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、町の歴史に関する興味は、過去調査と比べ、**最も低く**なっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

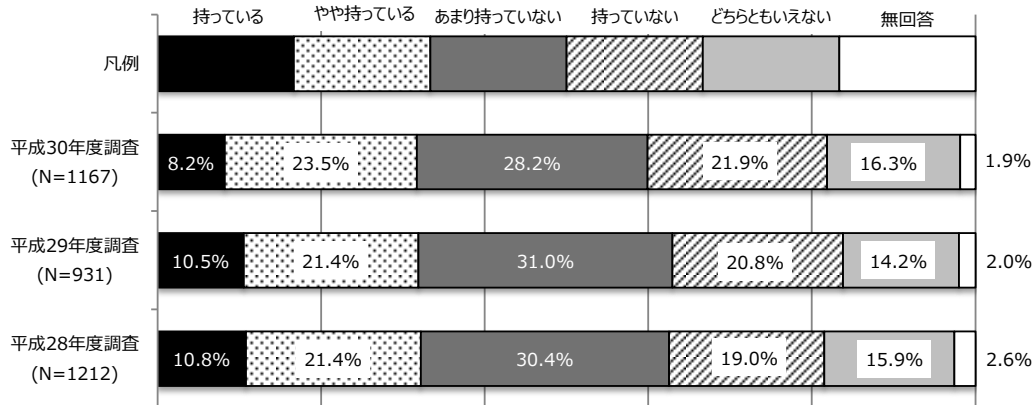
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」で、「興味を持っている」方が高くなっています。
- 愛着度別でみると、「**強く感じる**」で、「興味を持っている」方が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で「興味を持っていない」方が高くなっています。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

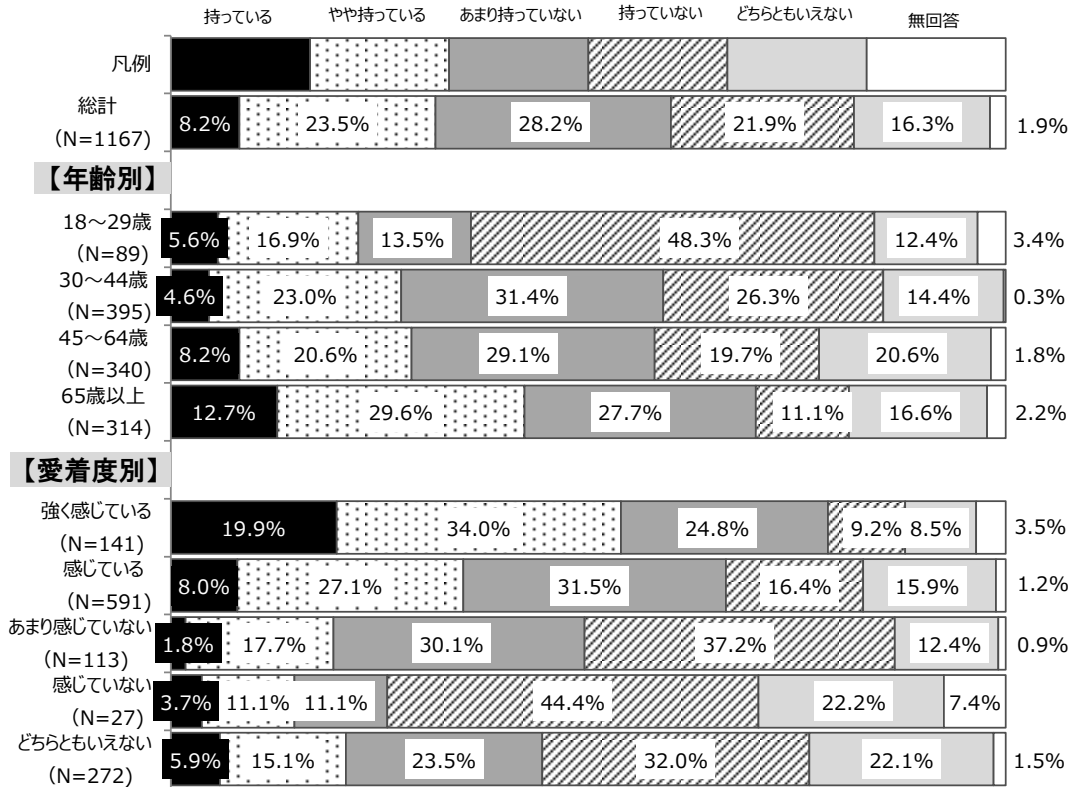
【問13：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.33	-0.31	-0.26

【問13：クロス集計（関連項目）】



3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

【問14：「協働・地域活動」「防災・安全」「教育文化」分野の中で、特に、重要な課題について】

該当分野の重点課題として選択した問番号にあわせ、選んだ理由を出現ワードで分析した。

地域活動【問6】：66件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
地域行事・活動の情報発信の強化 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ○アパート暮らしには案内もない。子ども会にも入れない。 ○地域行事をする際にまず話が来ないから分からない参加が出来ない。 ○いつどこでどの行事があるか浸透していない気がする。
地域行事に参加しやすい環境づくり (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事は地元で昔から住んでいる人以外参加しづらい。 ○地域活動に参加している人は偏っている。参加していない世帯の人は全く参加していないのがさみしい。 ○区組合離れの傾向にあり、誰でも自由参加できる行事を実施すべき。

ボランティア【問7】：28件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
町民のボランティアに参加する体制づくり (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者をもっとボランティアに活用すべし。その為の体制、教育を充実させてください。 ○日頃から地域に参加することで子どもから高齢者まで役に立ち自分の為にもなると思うが、なかなか新たに参加するのはハードルが高い。 ○子どもから大人まで全ての年代において、いろんな学びの環境があった方が良いと思う。

防災【問8】：130件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
災害用備品の準備 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ○災害はいつどこで起こるか分からないので災害用備品の準備などしておかなければならない。 ○災害用備品はどんなものが必要かわからないので、分からない人も多いと思うので分かり易く知れたら良いです。 ○非常事態に備えて町が非常食や備品を準備して欲しい。
災害時の避難方法の周知 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の避難経路について。避難場所までの案内標識が少ない、足りない。災害時の避難方法、場所を明確にお知らせして欲しい。 ○水害についてはしっかり避難経路を確認、シミュレーションすることと周りの協力は大切。 ○災害時の避難場所や相談所、配給が受けられる所を平常時に町民に周知させることが必要
防災放送が良く聞こえない (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ○今住んでいる所は町の防災スピーカーの音がよく聞き取れない。このような地域が他にもたくさんありそう。

3. つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまちの取り組みについて

□防犯【問9】：240件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
街灯が少ない、夜道が暗い (40件)	○福岡市に比べると夜暗く、街灯が少ない。町全体が暗いイメージがある。 ○夜間道が暗すぎる。もう少し外灯を増やして欲しい。信号も少ない。
通学路等の道路安全対策 (25件)	○柚須駅周辺に横断歩道がない。歩道がない狭い所がいくつかある為非常に危険。 ○小学校の通学路の交通量が多い(西小校区)。ガードレールや歩道の確保、指導員の配置などを充実させて欲しい。
不審者情報が多い (20件)	○不審者情報がとても多い。警察との連携や再犯防止などを考えるべき。 ○不審者などがいた場合は学校からメールがくるので助かっています。粕屋交番も近いので地域ぐるみで防犯活動を推進できたらいいと思う。

□学校教育【問10】：169件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
学校環境の充実(16件)	○他県から来たばかりだが教育環境が整っているとは言えない。全て古すぎて教室も環境も改善しなければならない。 ○子どもが急に増えて受け入れ体制が整え切れていない。教育の質よりも受け入れの環境が足りていない。
教育の指導内容・体制の充実 (15件)	○小中学校共に生徒数に対する教員の不足をととても感じる。特別学級は充実しているが普通学級のフォローがなすすぎる。 ○中学の先生方の教育力向上をして欲しい。高校入試ギリギリまで授業が終わらないようでは学生が不利。
通学路の改善(6件)	○朝夕車の多い時間の小学生の登下校の通学区域の道路整備が出来ていない。歩道がしっかり区別され安全であって欲しい。

□青少年の健全育成【問11】：49件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
学校、家庭、地域が連携した活動の充実(5件)	○学校、家庭、地域それぞれ連携が大切だと訴えるだけで形になっていない。コーディネーターの力不足。

□生涯学習【問12】：44件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
講座等の情報提供(6件)	○どんな事を町がしているか知らない。素敵な生涯学習の制度やカリキュラムがあっても知る術が少ないのかも。

□歴史文化【問13】：29件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
情報発信の強化(3件)	○町の歴史について町の方からもっと発信しないと興味の持ちようが無い。町外から引越してくる人たちもたくさんいるはずだから興味を持てるようなイベントなどを行ってほしい。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち の取り組みについて

■政策・基本施策

1 自然と調和した便利で
快適なまちづくり

(1) 自然と調和した都市空間の創造

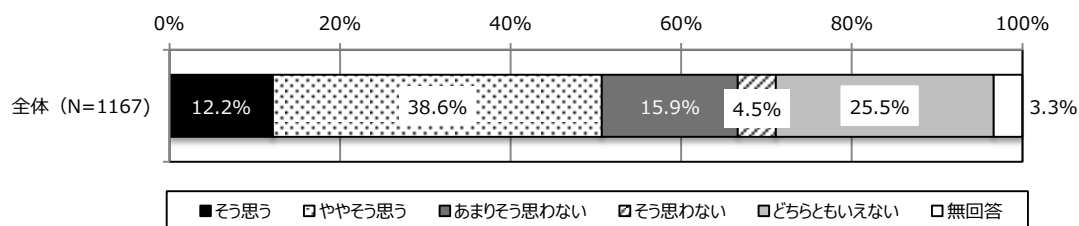
4-1 都市と自然の調和したまちづくり

〔調査票／問15〕

【土地利用】粕屋町では、都市と自然の調和したまちづくりが行われていると思いますか。(1つだけに○)

【問15：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、都市と自然の調和したまちづくりが行われていると思うかについて、「ややそう思う」が**38.6%**と最も高く、「そう思う」とあわせ**50.8%**の方が『そう思う』と回答しています。一方、『そう思わない』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**20.4%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、都市と自然の調和したまちづくりへの評価は過去調査と比べて**最も高くなっています**。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

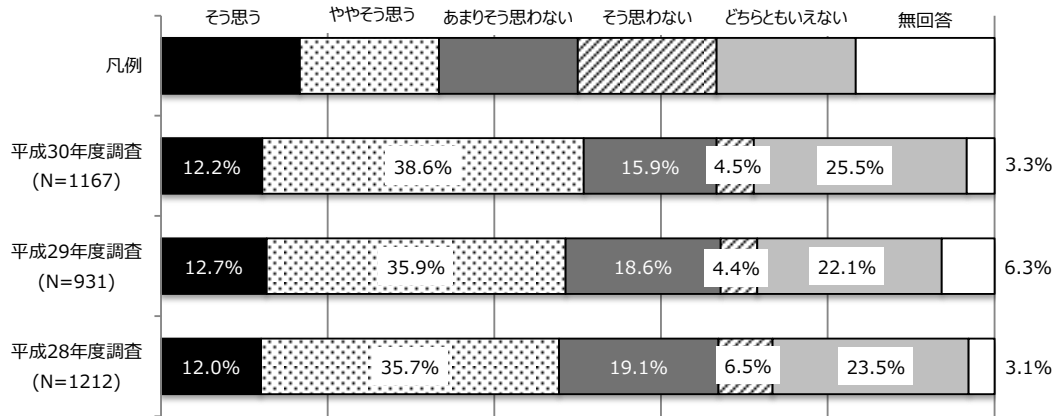
- 小学校区別でみると、「**仲原小学校区**」「**粕屋中央小学校区**」の方で都市と自然の調和したまちづくりが行われていると『そう思う』が高くなっています。
- 住み良さ度でみると、「**とても住みやすい**」方で都市と自然の調和したまちづくりが行われていると『そう思う』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 住み良さ度でみると、「**住みにくい**」方で都市と自然の調和したまちづくりが行われていると『そう思わない』が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

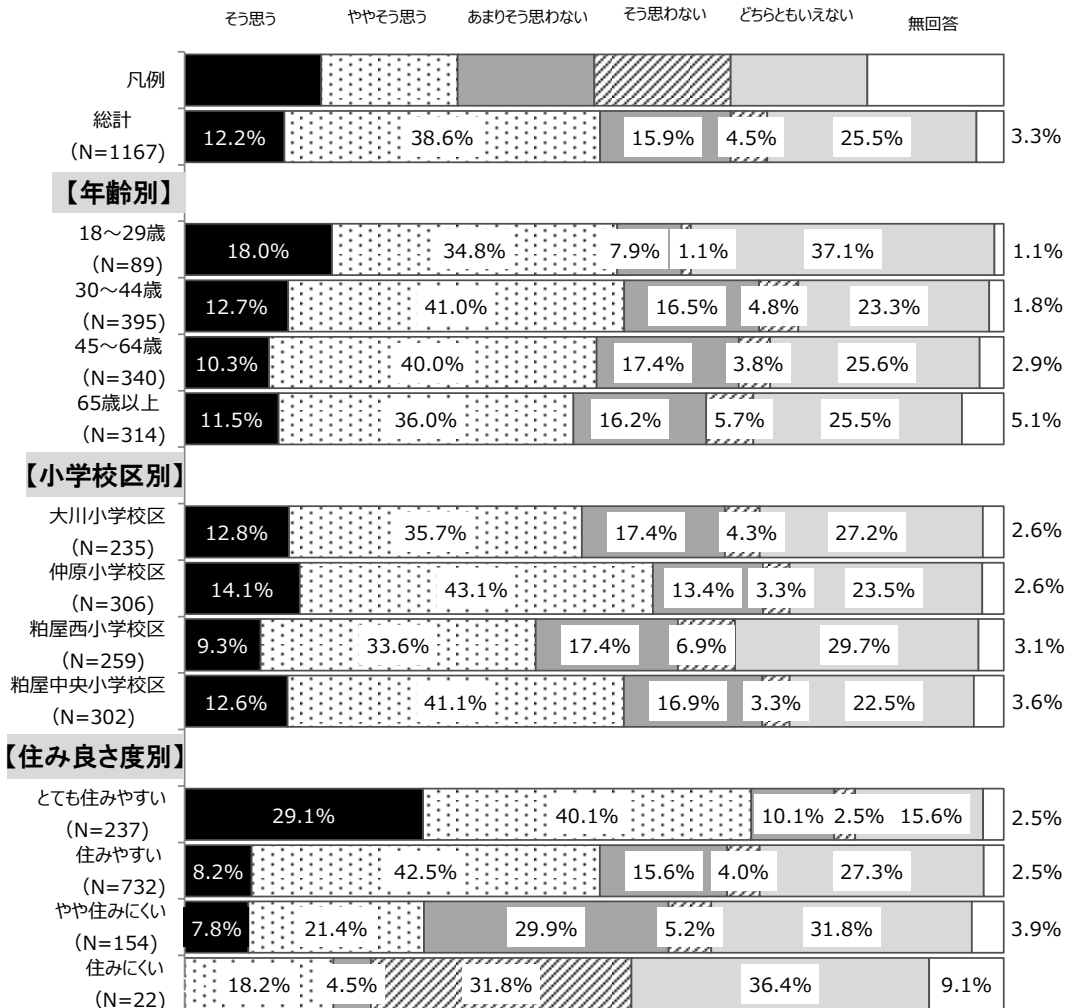
【問15：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

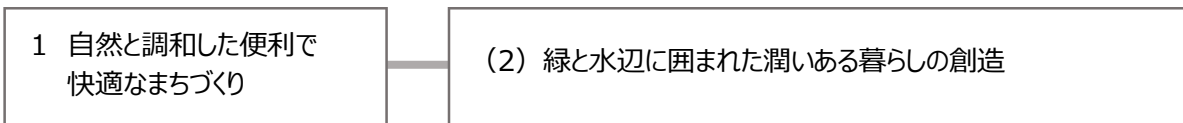
平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.39	0.36	0.28

【問15：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

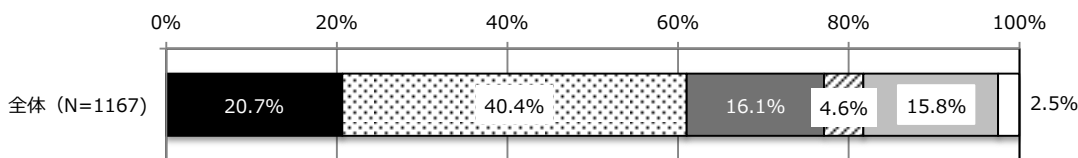


4-2 憩いや交流としての公園の活用

〔調査票／問16〕

【公園・緑地】粕屋町では、憩いや交流の場として公園が活用されていると思いますか。(1つだけに○)

【問16：全体集計】



【回答結果】

■そう思う □ややそう思う ■あまりそう思わない □そう思わない □どちらともいえない □無回答

<全体分析>

- 憩いや交流としての公園が活用されていると「**ややそう思う**」方が**40.4%**と最も多く、「**そう思う**」とあわせ、**61.1%**の方が『**そう思う**』と回答しています。一方、『**そう思わない**』（「**そう思わない**」+「**あまりそう思わない**」）方は**20.7%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、憩いや交流としての公園の活用への評価は過去調査と比べて**最も高くなっています**。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

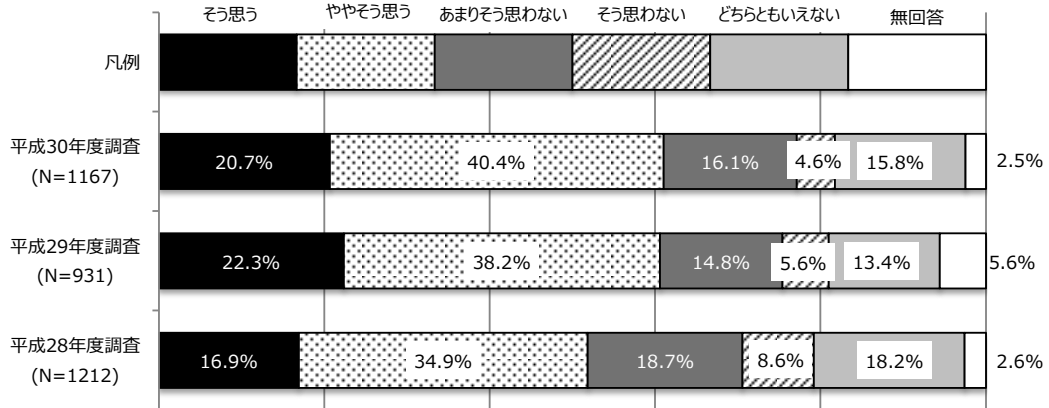
- 年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で憩いや交流としての公園が活用されていると「**そう思う**」が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**仲原小学校区**」「**粕屋中央小学校区**」の方で憩いや交流としての公園が活用されていると「**そう思う**」が高くなっています。
- 住み良さ別でみると、「**とても住みやすい**」方で憩いや交流としての公園が活用されていると「**そう思う**」が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 小学校区別でみると、「**粕屋西小学校区**」の方で憩いや交流としての公園が活用されていると「**そう思わない**」方が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

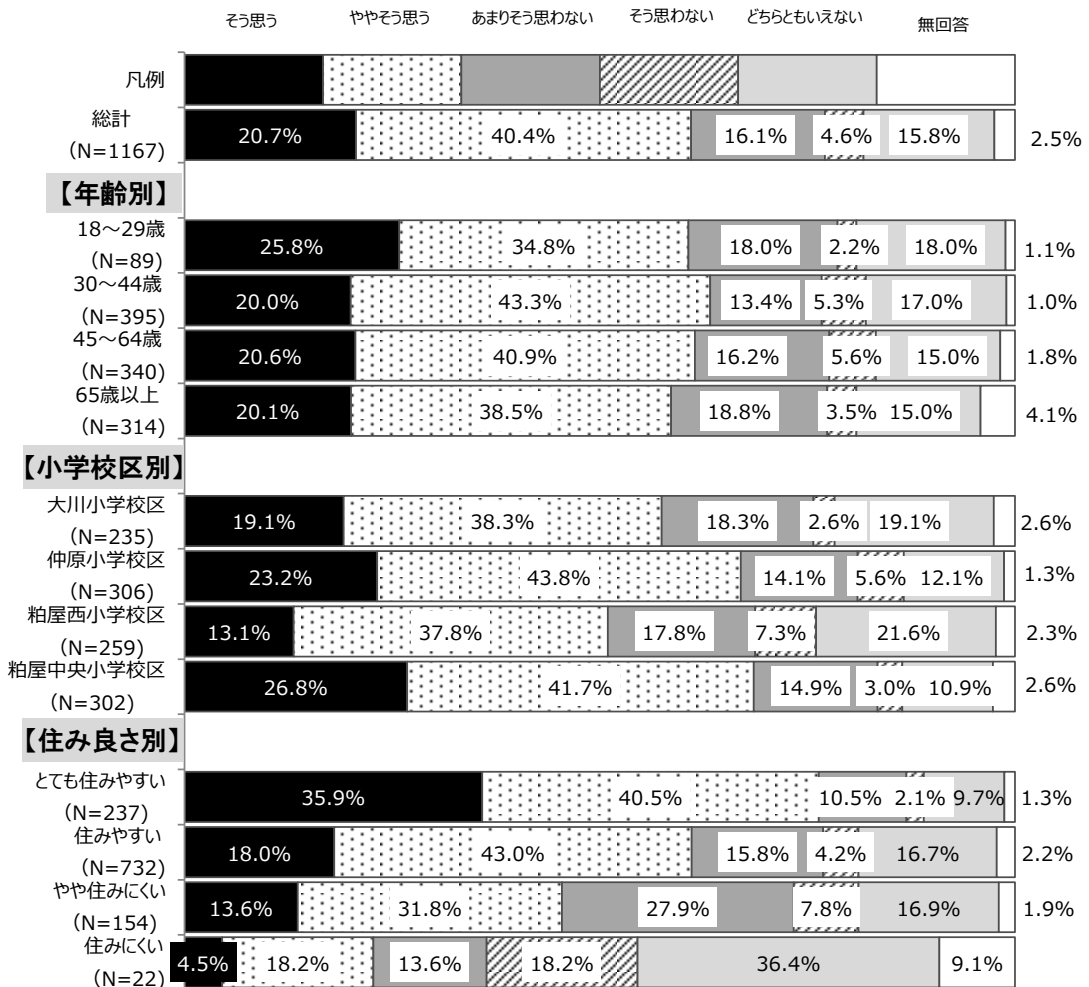
【問16：過去調査との比較】



＜加重平均値による比較＞

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.58	0.60	0.34

【問16：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり

(1) 安全で快適な道路ネットワークの充実

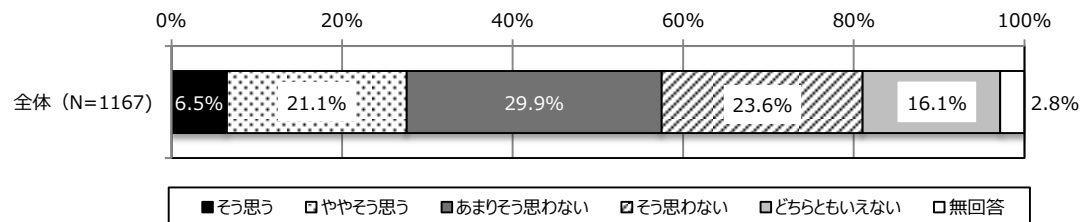
4-3 円滑に通行できる道路網の整備

〔調査票／問17〕

【道路】粕屋町では、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると思いますか。(1つだけに○)

【問17：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると「あまりそう思わない」方が**29.9%**と最も高く、「そう思わない」とあわせ**53.5%**の方が『そう思わない』と回答しています。一方、『そう思う』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**27.6%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、円滑に車で通行できる道路網の整備への評価は、過去調査とくらべやや高くなっているものの、依然として高いマイナス評価となっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

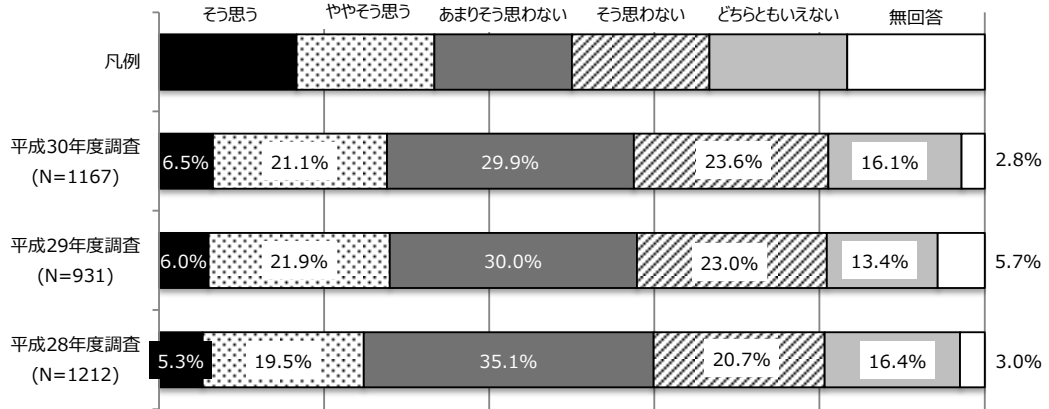
- 住み良さ別で見ると、「**とても住みやすい**」の方で、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると『そう思う』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 小学校区別で見ると、「**粕屋中央小学校区**」の方で、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると『そう思わない』が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

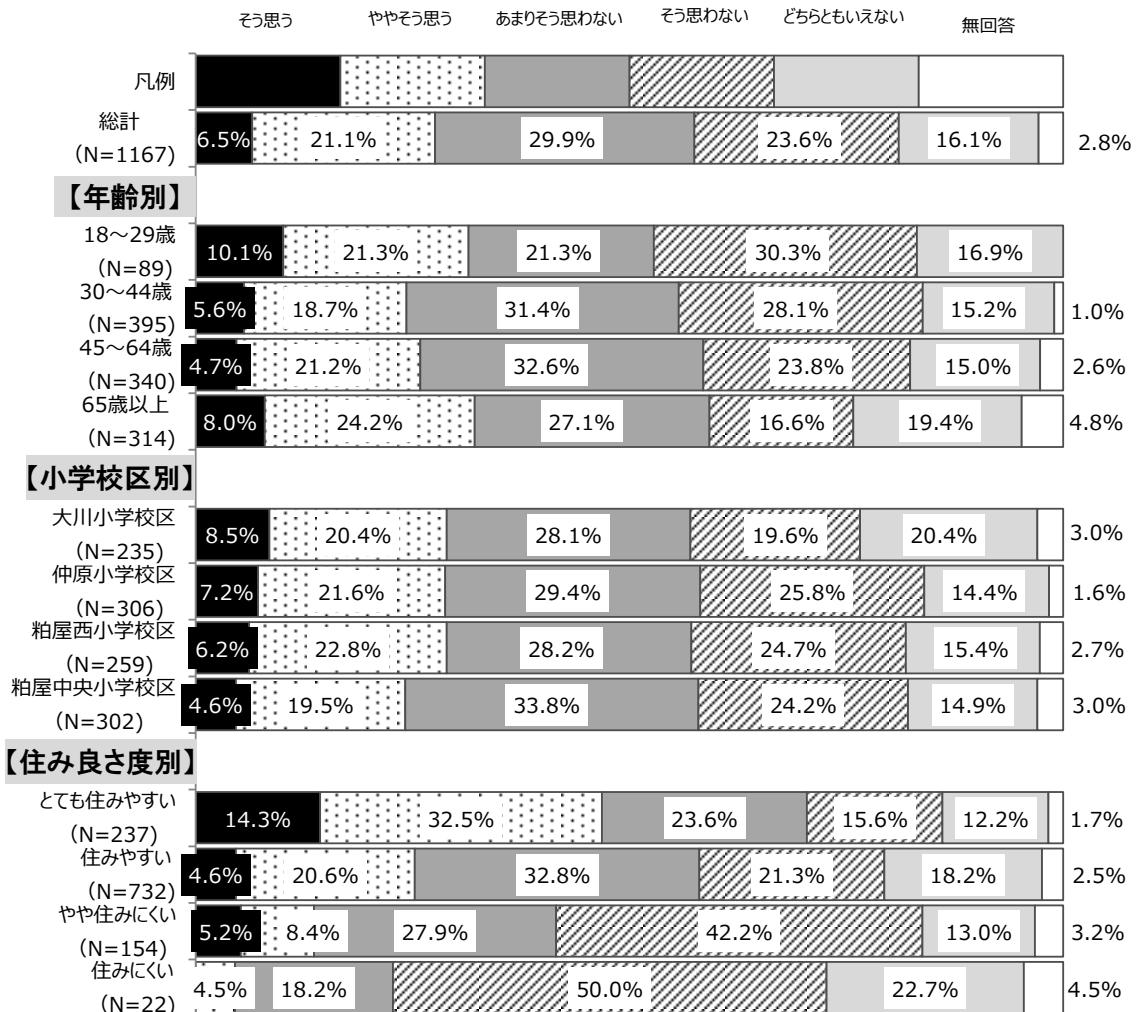
【問17：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.44	-0.45	-0.48

【問17：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 安心して快適な生活基盤
を備えたまちづくり

(2) 安全で快適な生活を支える交通環境の創造

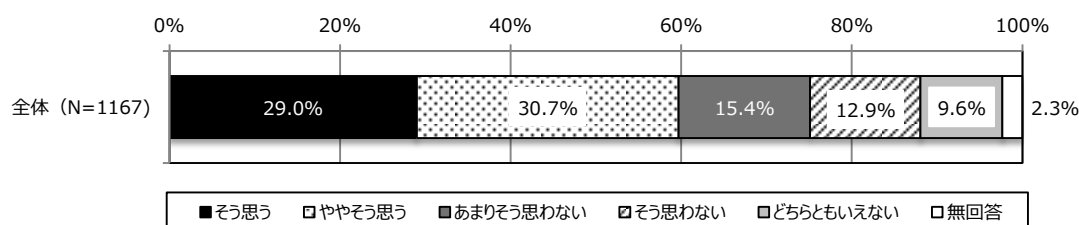
4-4 公共交通の利用

〔調査票／問18〕

【交通】粕屋町では、公共交通を利用しやすいと思いますか。(1つだけに○)

【問18：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 公共交通を利用しやすいと「ややそう思う」が**30.7%**と最も高くなっており、「ややそう思う」とあわせ、**59.7%**の方が『そう思う』と回答しています。一方、『そう思わない』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**28.3%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、公共交通の利用への評価は、平成29年度調査より**若干低**なっています。
- 住み良さ度でみると、「住みやすい」、「住みにくい」によって公共交通の利用に対する評価が大きく分かれています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

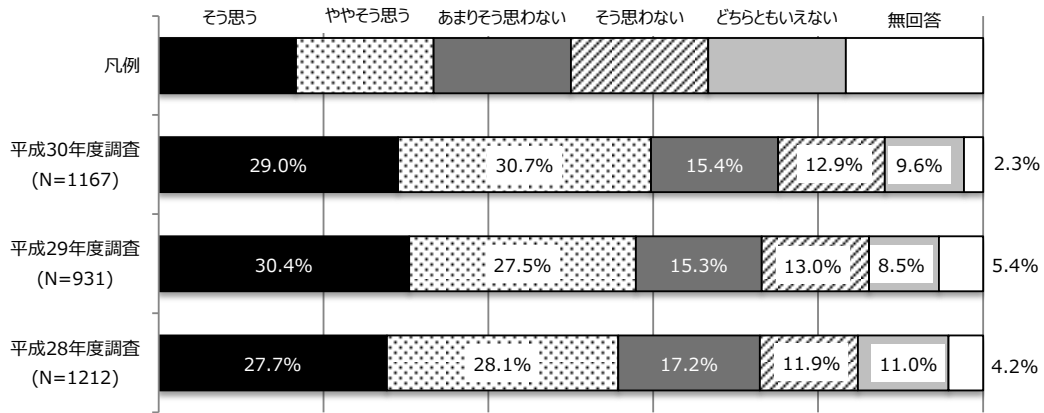
- 小学校区別でみると、「粕屋中央小学校区」の方で公共交通を利用しやすいと『そう思う』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「18～29歳」の方で公共交通を利用しやすいと『そう思わない』が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「粕屋西小学校区」の方で公共交通を利用しやすいと『そう思わない』方が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

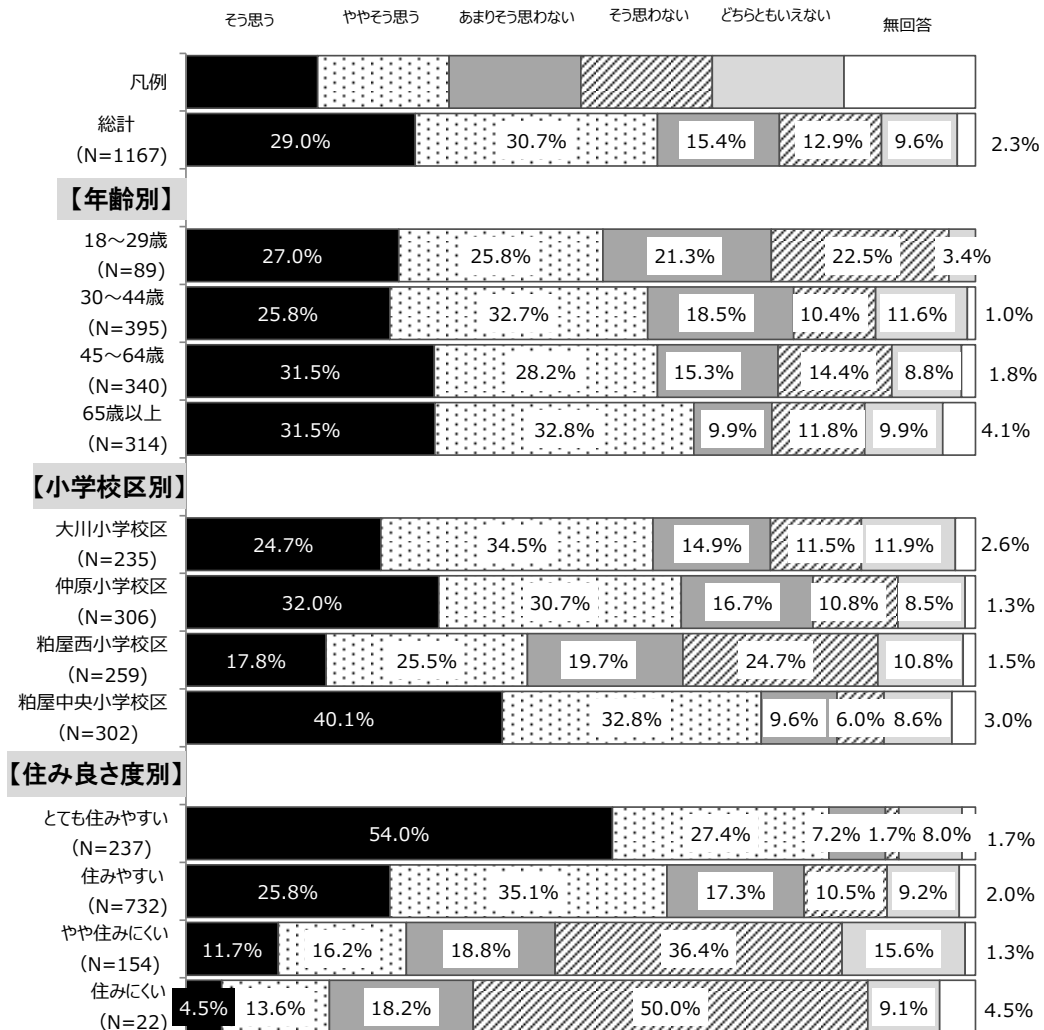
【問18：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.49	0.50	0.44

【問18：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり

(3) 安全で安心な水源の確保と水環境の基盤強化

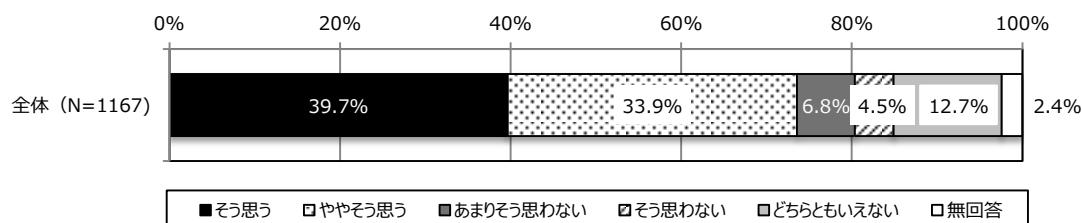
4-5 いつでも安心して水を利用できると思いますか

〔調査票／問19〕

【水道】粕屋町では、いつでも安心して水を利用できると思いますか。(1つだけに○)

【問19：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- いつでも安心して水を利用できると「**そう思う**」方が**39.7%**と最も多く、「**ややそう思う**」とあわせ**73.6%**の方が『**そう思う**』と回答しています。一方、『**そう思わない**』（「**そう思わない**」+「**あまりそう思わない**」）方は**11.3%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、安心した水の利用の評価は、平成29年度調査と同様に高くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

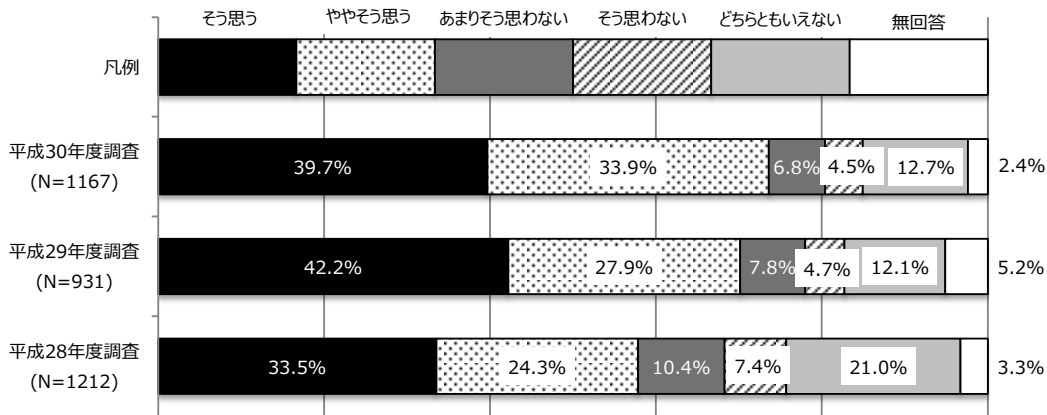
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方でいつでも安心して水を利用できると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ポジティブ評価

- 小学校区別でみると、「**粕屋西小学校区**」の方でいつでも安心して水を利用できると『**そう思わない**』が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

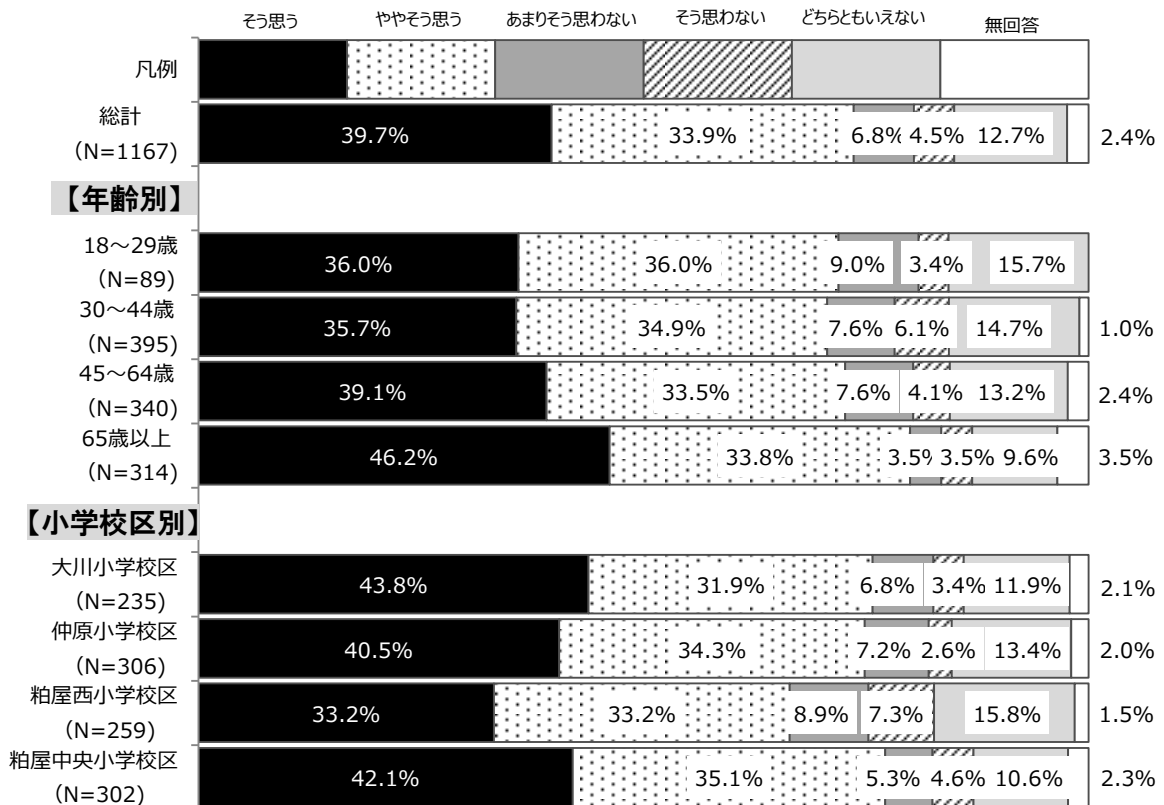
【問19：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
1.00	1.00	0.68

【問19：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

3 自然にやさしく住みよい
環境のまちづくり

(1) 次世代に継承する自然環境の保全

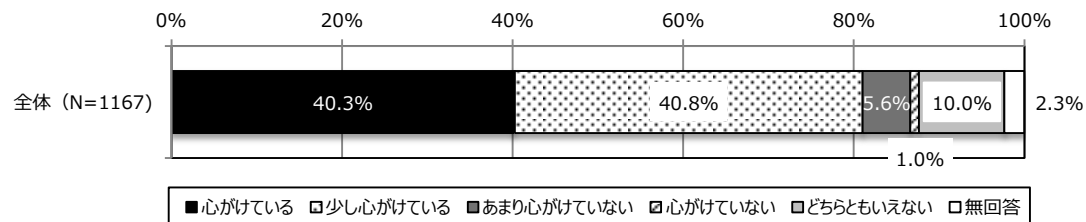
4-6 自然を大切にすることを心がけていますか

〔調査票／問20〕

【自然保護】あなたは、自然を大切にすることを心がけていますか。(1つだけに○)

【問20：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 自然を大切にすることを「**少し心がけている**」方が**40.8%**と最も高く、「**心がけている**」とあわせ、**81.1%**の方が『**心がけている**』と回答しています。一方、『**心がけていない**』（「心がけていない」+「あまり心がけていない」）方は**6.6%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、自然を大切にすることへの評価は、平成29年度調査を**若干上回**っています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

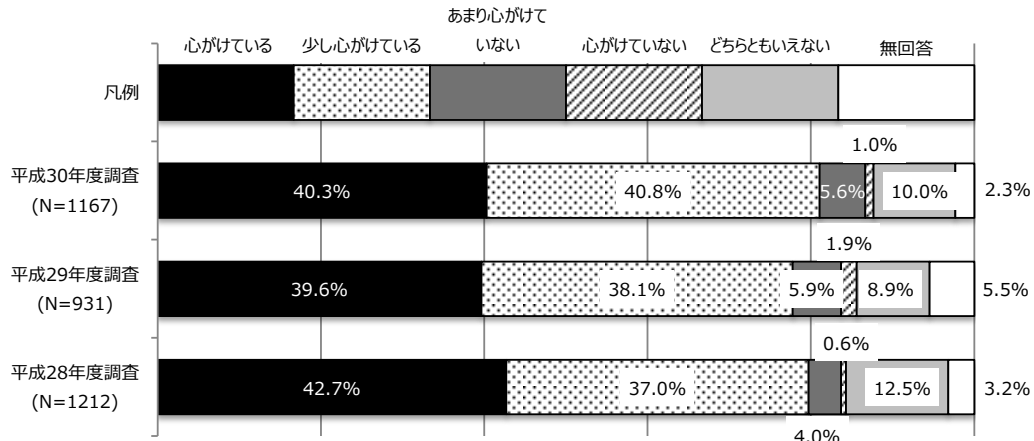
- 年齢別で見ると、「**65歳以上**」の方で自然を大切にすることを『**心がけている**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別で見ると、「**18～29歳**」の方で自然を大切にすることを『**心がけていない**』が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

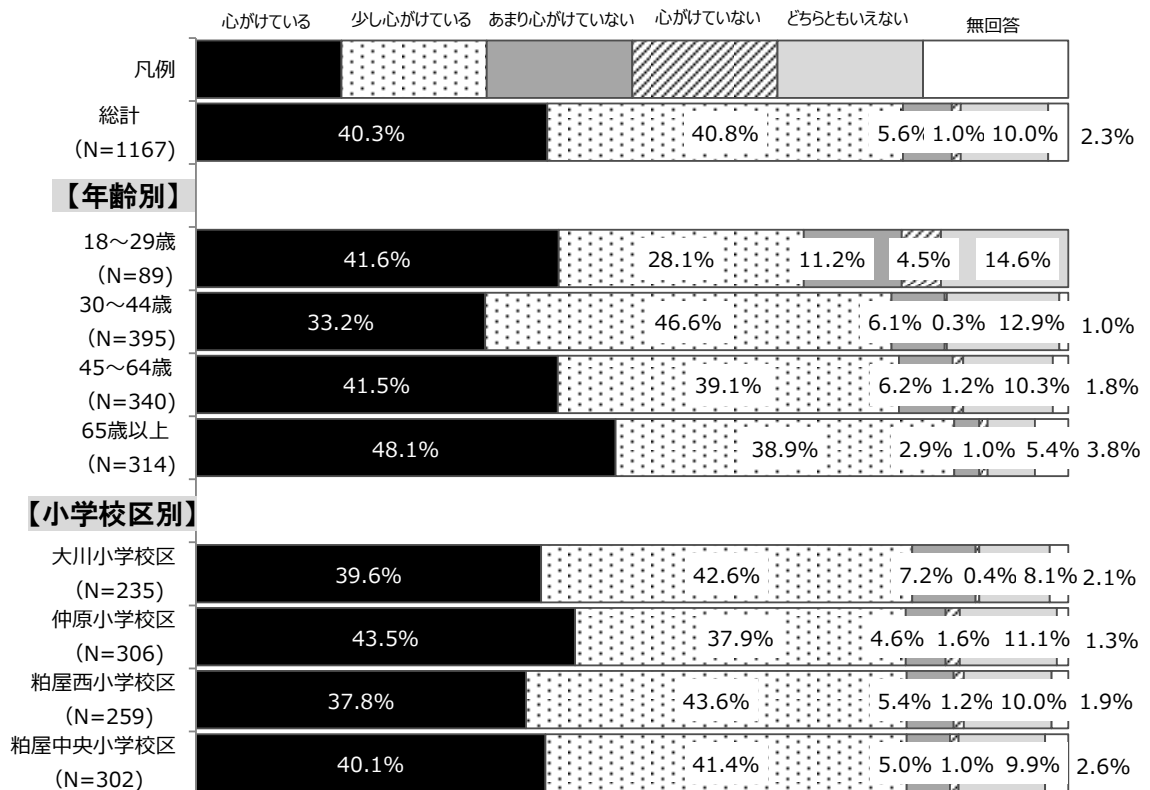
【問20：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

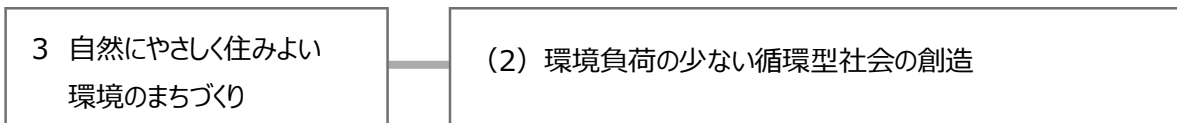
平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
1.16	1.14	1.21

【問20：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策



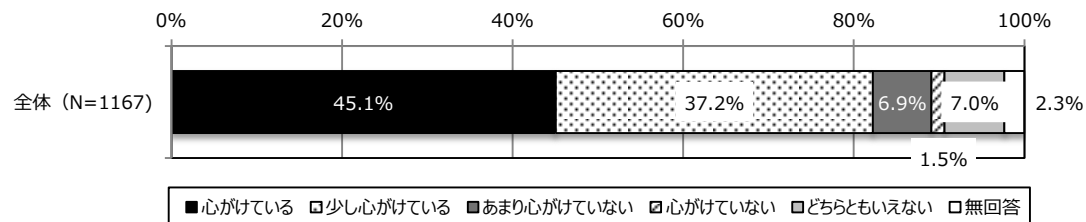
4-7 リサイクルを心がけていますか

〔調査票／問21〕

【ごみ・美化活動】あなたは、日頃からリサイクルを心がけていますか。(1つだけに○)

【問21：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 日頃からリサイクル活動を「**心がけている**」が**45.1%**と最も多く、「**少し心がけている**」とあわせ、**82.3%**の方が「**心がけている**」と回答しています。一方、「**心がけていない**」（「心がけていない」+「あまり心がけていない」）方は**8.4%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、リサイクル活動への心がけは過去調査と比べ**最も高**なっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

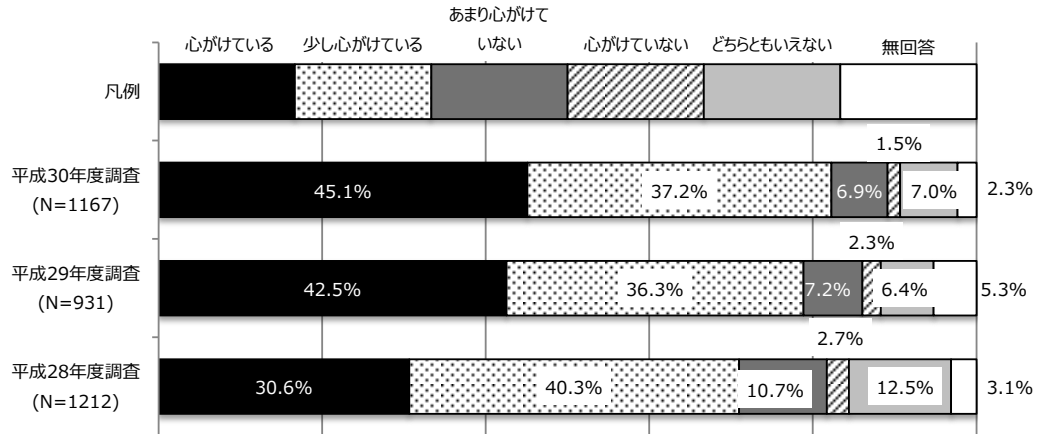
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で日頃からリサイクル活動を「**心がけている**」が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で日頃からリサイクル活動を「**心がけていない**」の方が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

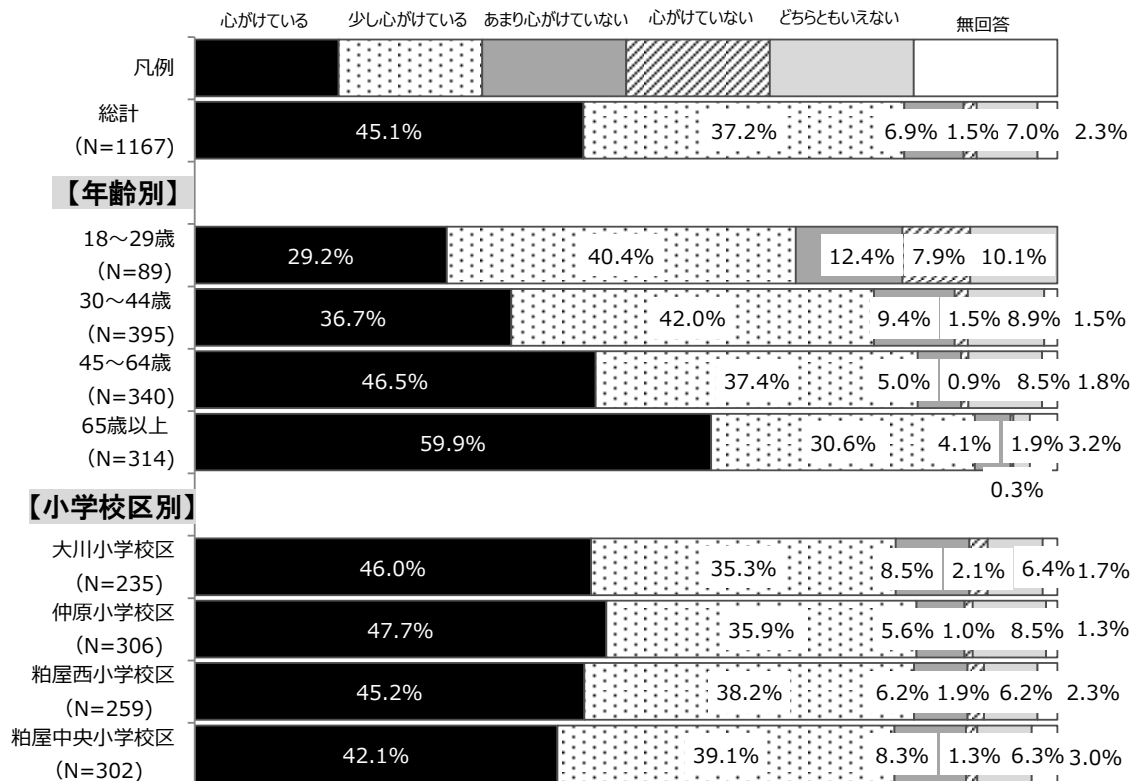
【問21：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
1.20	1.16	0.88

【問21：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり

(1) いのちを守り育む食と農の創造

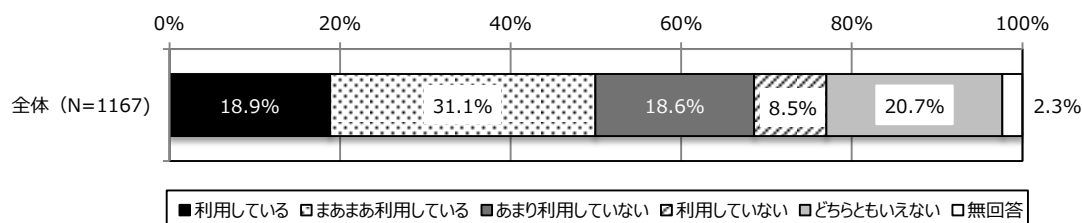
4-8 地元で採れた食材の利用

〔調査票／問22〕

【農業】あなたは、できるだけ地元で採れた食材を利用していますか。(1つだけに○)

【問22：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 地元で採れた食材を「まあまあ利用している」方が**31.1%**と最も多く、「利用している」とあわせ、**50.0%**の方が『**利用している**』と回答しています。一方、『**利用していない**』（「利用していない」+「あまり利用していない」）方は**27.1%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、地元で採れた食材の利用は、過去調査と比べ**最も高くな**っています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

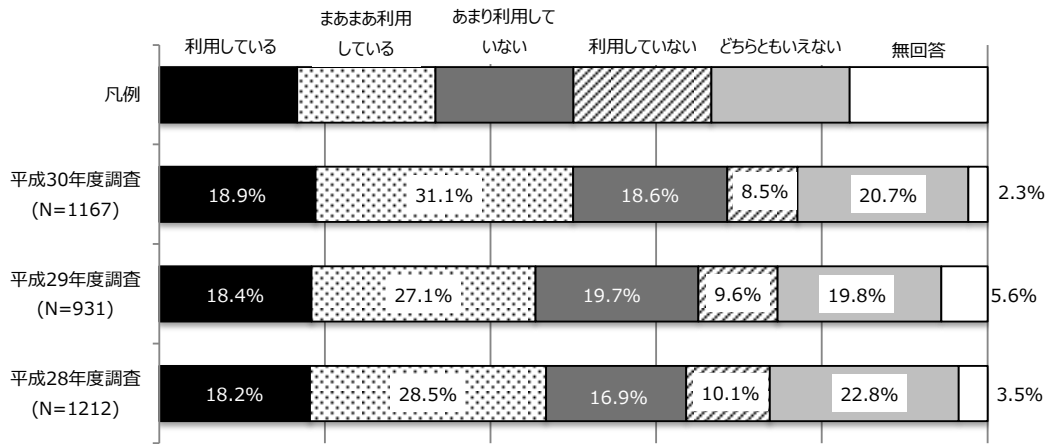
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で、地元で採れた食材を『**利用している**』が高くなっています。
- 居住年数別でみると、「**30年以上**」の方で、地元で採れた食材を『**利用している**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で、地元で採れた食材を『**利用していない**』方が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

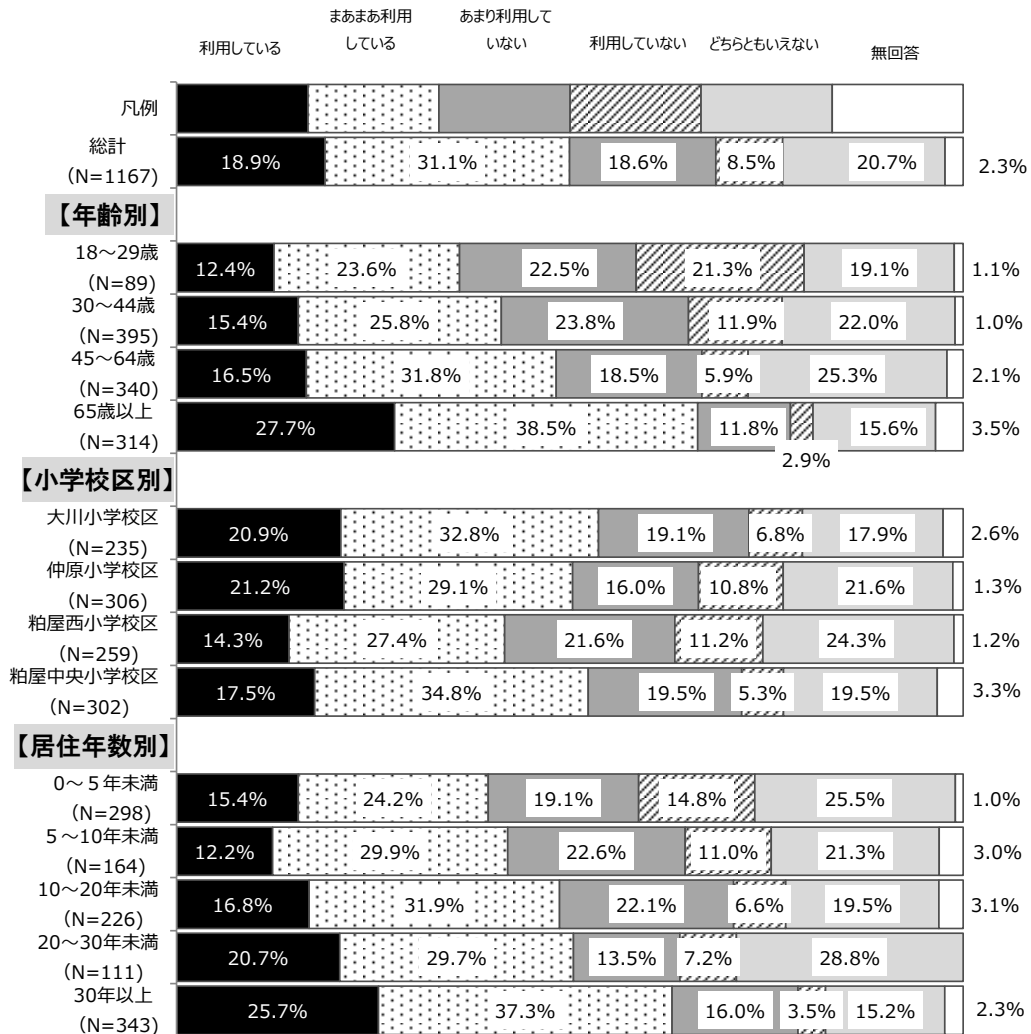
【問22：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.34	0.27	0.29

【問22：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

■政策・基本施策

4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり

(2) 地域に活力をもたらす商工業の振興

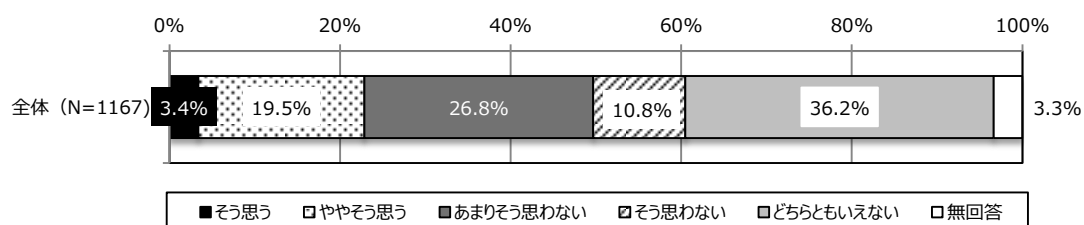
4-9 地域の商工業の活性化

〔調査票／問23〕

【商工業】粕屋町では、商工業が活性化していると思いますか。(1つだけに○)

【問23：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、商工業が活性化していると思うかについて、「**どちらともいえない**」方が**36.2%**と最も高くなっています。商工業が活性化していると『**そう思わない**』（そう思わない+あまりそう思わない）方が**37.6%**となり、『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方の**22.9%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、地域の商工業の活性化への評価は過去調査と比べ最も高くなっているものの、依然としてマイナス評価（思わない人が多い）となっています。

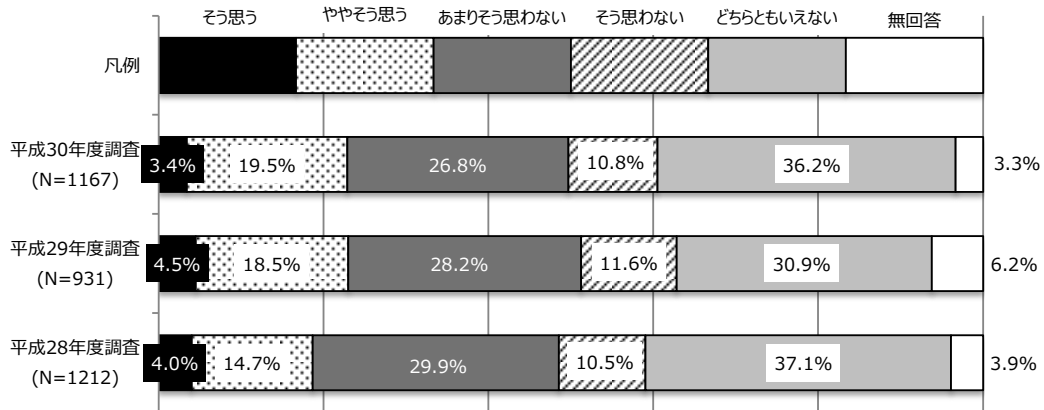
<傾向分析>

□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**30～44歳**」で『**思う**』方が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**大川小学校区**」で『**思う**』方が高くなっています。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

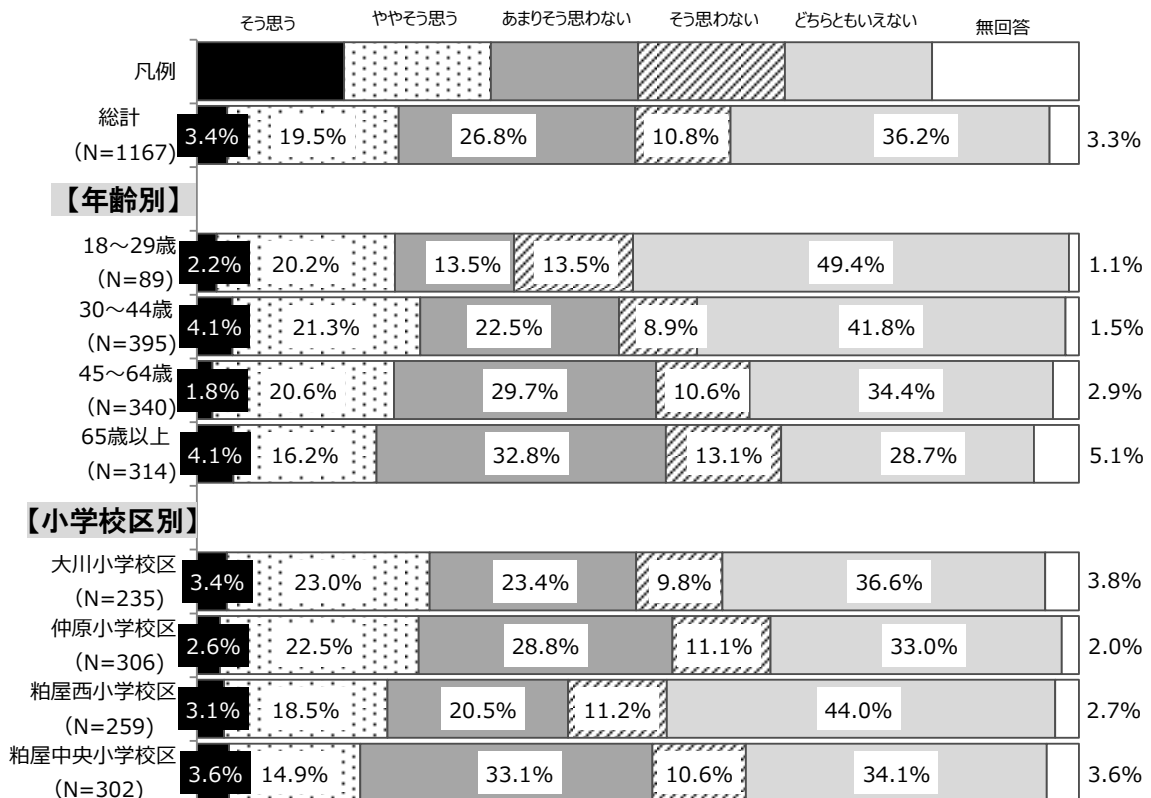
【問23：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.23	-0.26	-0.29

【問23：クロス集計（関連項目）】



4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

【問24：「土地利用」「公園・緑地」「道路・交通」「水道」「環境」「産業」分野の中で、特に、重要な課題について】

該当分野の重点課題として選択した問番号にあわせ、選んだ理由を出現ワードで分析した。

□土地利用【問15】：26件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
自然との調和 (5件)	○福岡近隣で都市化していくスピードが早く自然や粕屋町内の住環境が大切にできる程バランスが取れていないように感じる。 ○自然をバランス良く取り入れた町づくりが必要。
調整区域の解除 (4件)	○調整区域等の範囲をなくし、所有者がもっと有効利用できるようにしてほしい。

□公園・緑地【問16】：86件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
公園が少ない (17件)	○西小校区内には子供たちがのびのび遊べる公園が無い。外で遊べないので家の中で遊ぶ。遊び場所を整備して欲しい。
駕与丁公園の環境整備 (17件)	○駕与丁公園はバーベキューをしたりランニング、ウォーキングをしたり住民が活用している場所だと感じる。橋の復旧はしないのか。 ○駕与丁公園がカフェ、レストランなど少し休憩を兼ねて人が集まれる場所があればもっと利用しやすいし人が増える。

□道路【問17】：390件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
歩道・通学路の改善 (112件)	○原町駅に行くまでの坂道の車の交通量が多いので安心して歩行できるよう改善する必要がある。 ○柚須から阿恵橋の通学路の歩道が狭すぎて通学時間帯は危険すぎる。特にトラックの台数が多く、いつかは事故になると思う。 ○伊賀駅近くの踏切は道が複雑に入りこんでおり通学路は特に危険。大川小学校への道も狭く事故に巻き込まれないか心配。
道路が渋滞する (72件)	○朝の通勤時、夕方の帰宅時、必ず混んでいる道がある。原因は右折車が後続車をずっと止めていたりすることもある。混雑時の時間帯のみ右折禁止の表示をするか信号の整備をするか、何か解決できないものか。 ○長者原～扇橋への道路。また原町駅前と通じる道の混雑を解消して欲しい。(時差式信号、右折信号等)
道路が狭い (67件)	○幅の狭い道路で離合出来ない場所が多い。トラック等の交通の制限をする場所をもっと増やして欲しい。 ○駅に行くまでの通勤時に道路が狭く特に自転車が危険な運転や逆に危険な目に合うことが多々ある。

4. 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまちの取り組みについて

□交通【問18】：170件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
バスの便数が少ない(増便してほしい) ふれあいバスを増やしてほしい(44件)	○仲原～天神へ行くバス便が朝夕以外は1時間に1回しかおらず不便。 ○酒殿駅を利用しているが、利用人口の割には、やはり本数が少ない。長者原駅へのコミュニティバスをもっと増やしてほしい。 ○JRの駅が多くて便利だがバスの本数が少ないので不便。
駅及び駅周辺環境整備(12件)	○原町駅にエレベーターを作って欲しい。博多行側に改札口があればいい ○原町駅に快速が止まるようにして欲しい。単線で遅れる事が多い。

□水道【問19】：53件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
水道代が高い(18件)	○他所より水道料金が安い。水質検査も必要。
水質が悪い(6件)	○他地域と比べるとカルキ、塩素が強い。水道水は飲用していない。

□自然保護【問20】：11件

【主なテーマ及び意見】

主な意見	
	○子ども達にとって自然に触れることは、とても大切な事だと思っている。子ども達に美しい素晴らしい自然をどれだけ自然な形で残せるかは大人の手にかかっている。

□ごみ・美化活動【問21】：34件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
リサイクル活動の促進(10件)	○リサイクル。グリーンパークの利用を皆が利用できるように。車が無く自己搬入が難しい方が利用しやすいように。
ゴミ収集方法(6件)	○不燃物、ペットボトル、ビンカンを月1でいいので可燃ゴミ置き場で回収して欲しい。

□農業【問22】：48件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
地元食材が買えない、売っているところがわからない(13件)	○地元でとれた食材はどこで手に入るのか知らない。不足している新鮮な食材が入る道の駅などつくってはどうかと思う。 ○特産物、ブロッコリーしか知らない。おいしい食材をアピールして欲しい。
地元産直の売場の充実(8件)	○粕屋町の農作物を買いたくてあまり売っていない。なのみの里はもっと工夫すべき。

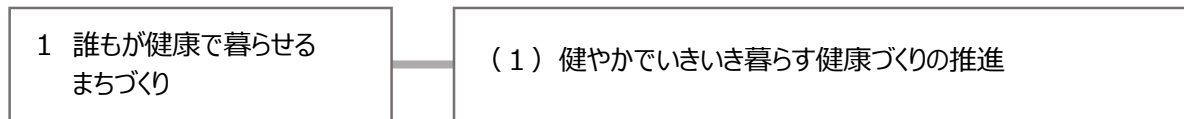
□商工業【問22】：40件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
花火大会による活性化(6件)	○商工会主催の花火大会を再開して欲しい。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち の取り組みについて

■政策・基本施策



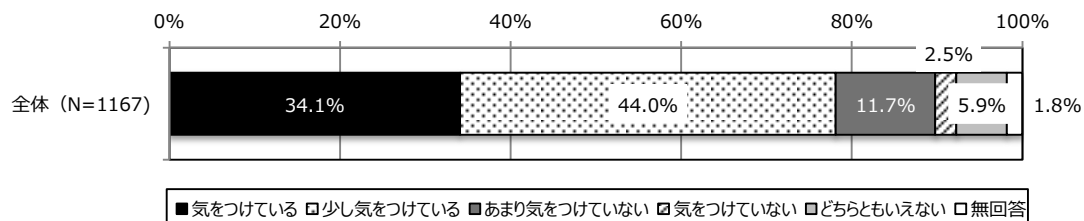
5-1 運動や食事など自分の健康に気をつけていますか

〔調査票／問25〕

【健康づくり】あなたは、運動や食事など、自分の健康に気をつけていますか。(1つだけに○)

【問25：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 運動や食事など、自分の健康に「**少し気をつけている**」が**44.0%**と最も多く、「**気をつけている**」とあわせ、**78.1%**の方が『**気をつけている**』と回答しています。一方、『**気をつけていない**』（「**気をつけていない**」+「**あまり気をつけていない**」）方は**14.2%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、運動や食事などの自分の健康づくりへの評価は、過去調査と比べ**最も低くなっています**。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

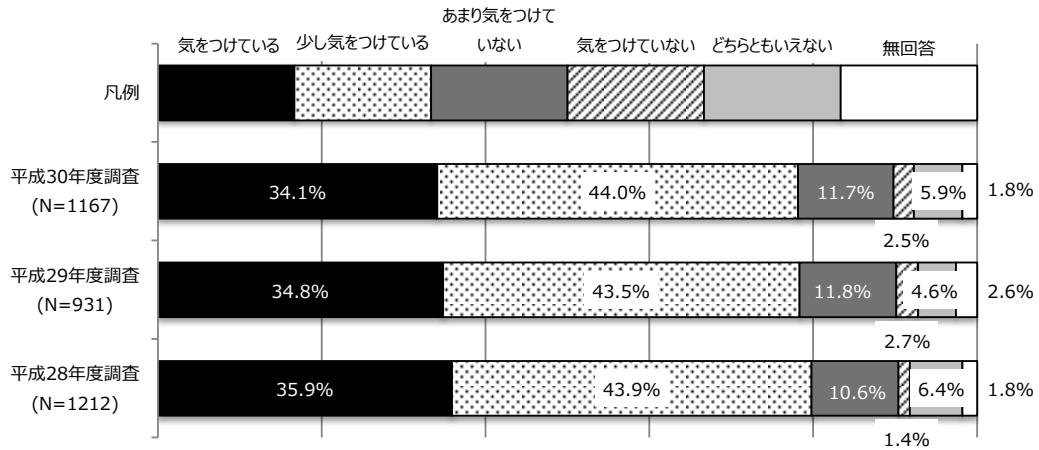
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で自分の健康に「**気をつけている**」が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で自分の健康に「**気をつけていない**」が高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

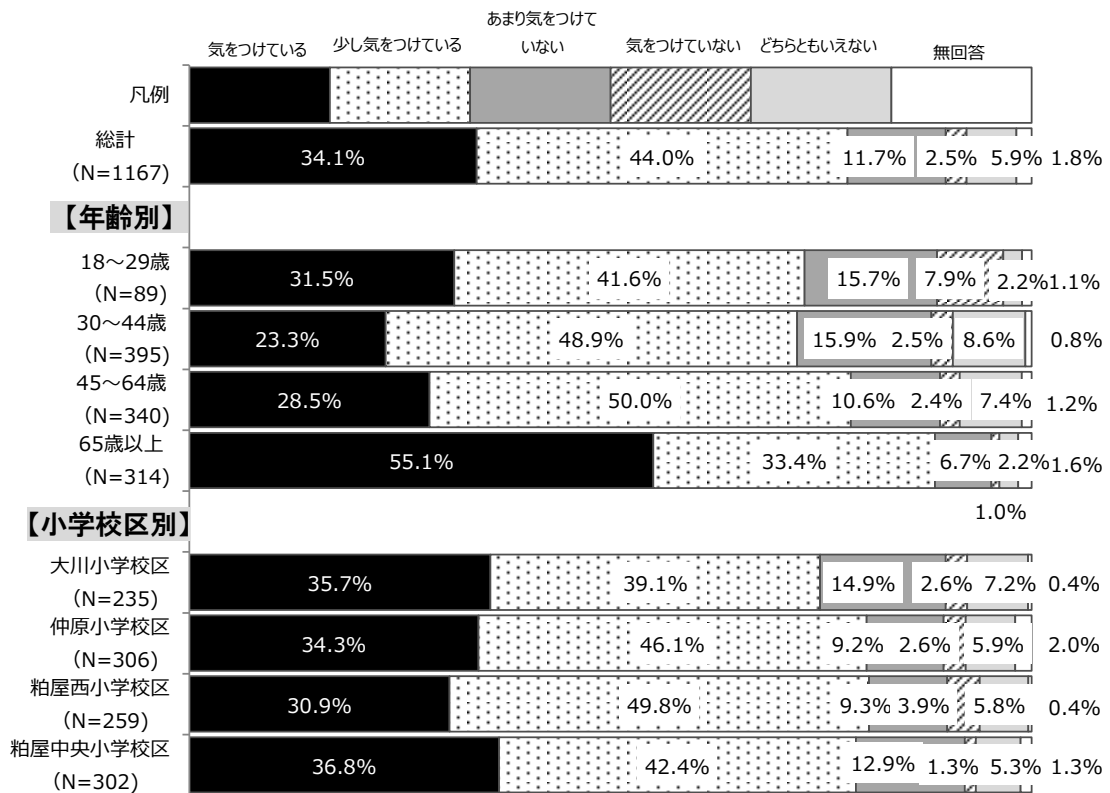
【問25：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.97	0.98	1.04

【問25：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり

(1) 安心して子育てできる環境づくりの推進

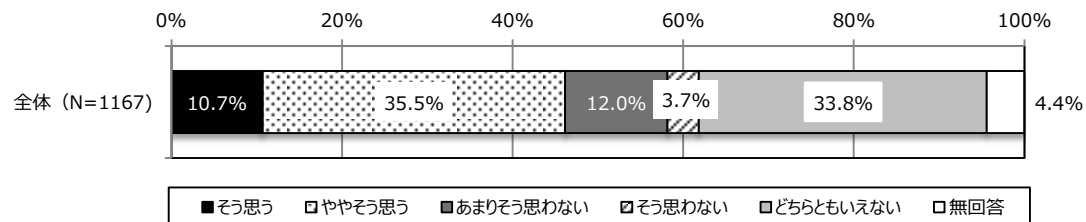
5-2 子育て環境が整っていると思いますか

〔調査票／問26-1〕

【子育て】粕屋町では、子育ての環境が整っていると思いますか。(1つだけに○)

【問26-1：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、子育て環境が整っていると「ややそう思う」方が**35.5%**と最も高くなっており、「そう思う」とあわせて『**そう思う**』方は、**46.2%**となっています。一方、『**そう思わない**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方の**15.7%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、子育て環境への評価は、過去調査と比べ**最も高**なっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

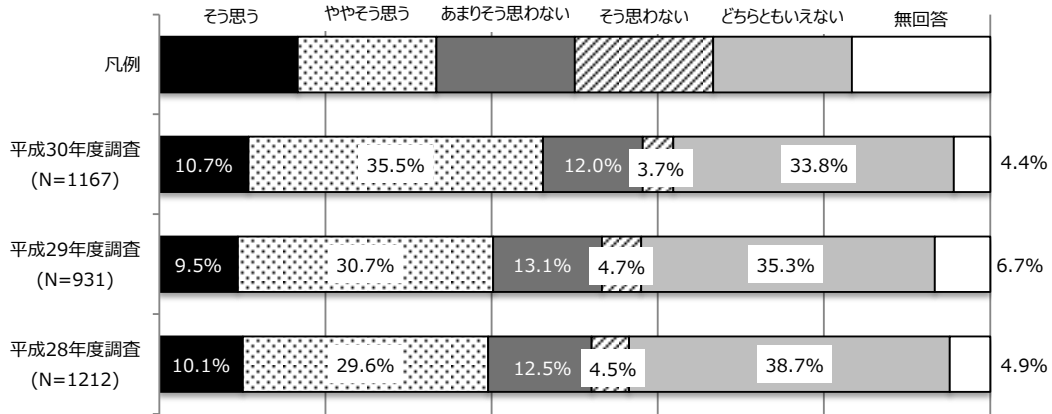
- 小学校区別で見ると、「**大川小学校区**」の方で、子育て環境が整っていると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別で見ると、子育て世代である「**30～44歳**」の方で、子育て環境が整っていると『**そう思わない**』が高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

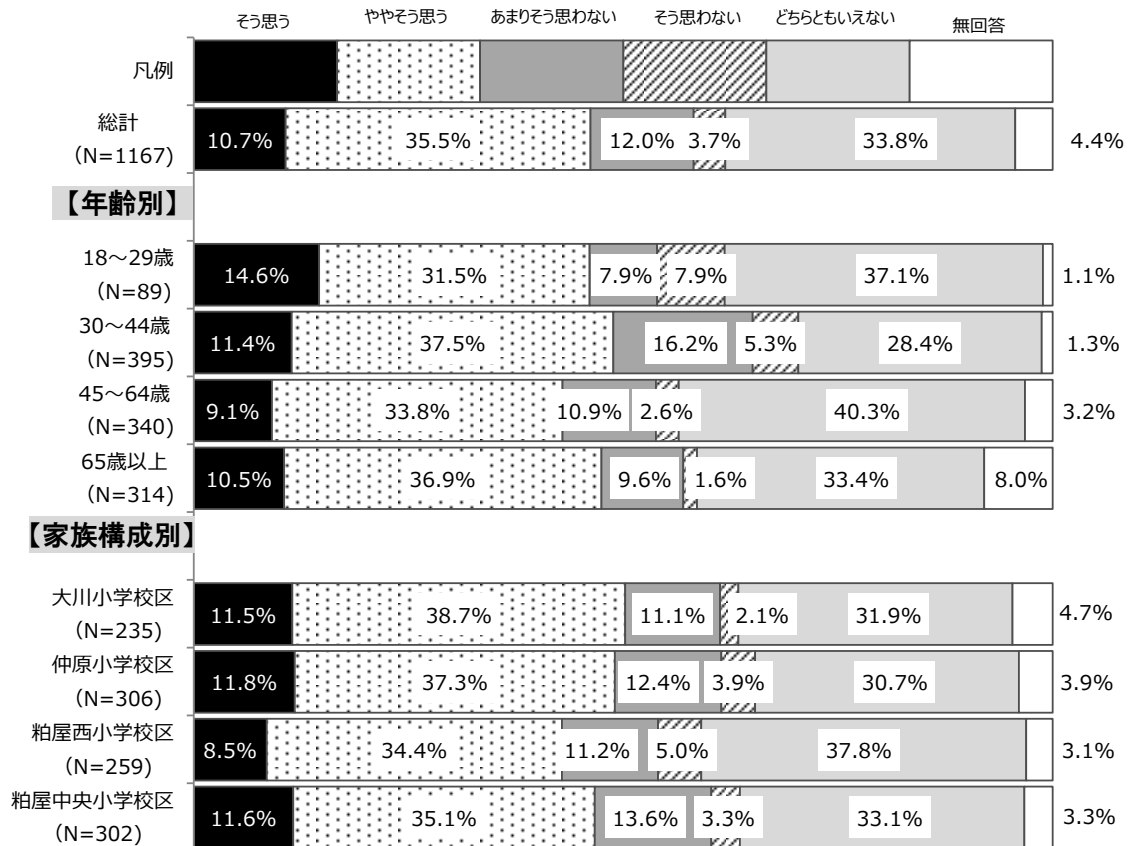
【問26-1：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.39	0.29	0.30

【問26-1：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり

(2) 子どもの健やかな成長を支える支援の充実

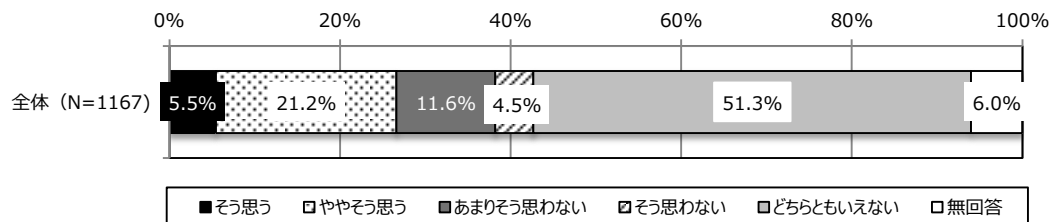
5-3 妊娠・出産期における支援

〔調査票/問26-2〕

【子育て支援】粕屋町では、妊娠・出産期の支援が充実していると思いますか。(1つだけに○)

【問26-2：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町の妊娠・出産期の支援が充実していると思うかについて、「**どちらともいえない**」方が**51.3%**と最も高くなっています。妊娠・出産期の支援が充実していると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方が**26.7%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**16.1%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、妊娠・出産期の支援とへの評価は、平成29年度調査を若干下回っています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

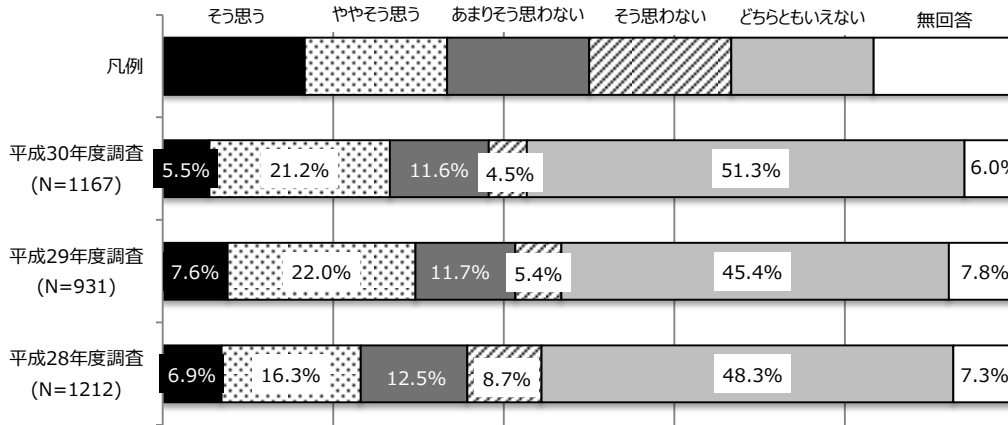
- 年齢別で見ると、「**30～44歳**」の方で妊娠・出産期の支援が充実していると『**そう思う**』方が高くなっています。

□ ポジティブ評価

- 年齢別で見ると、「**18～29歳**」の方で妊娠・出産期の支援が充実していると『**そう思わない**』方が高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

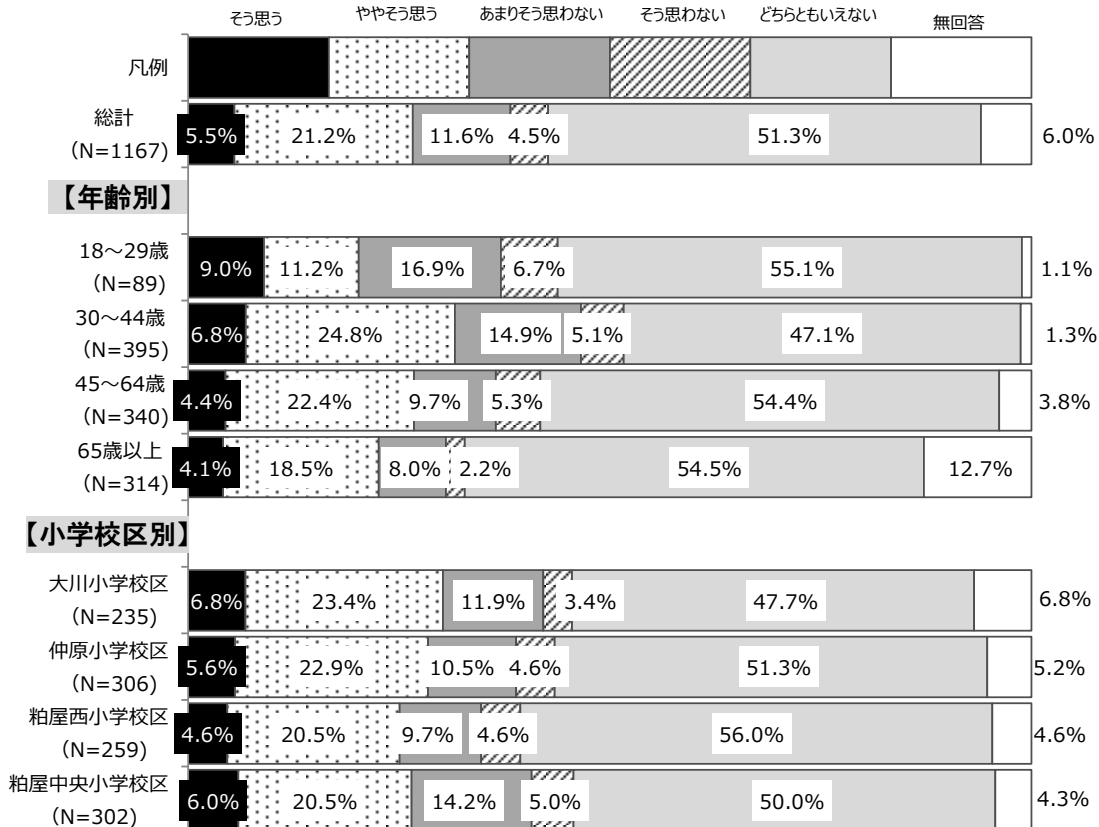
【問26-2：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.12	0.16	0.00

【問26-2：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

3 高齢者が元気に暮らせる
まちづくり

(1) 元気高齢者の活躍を促す環境づくりの推進

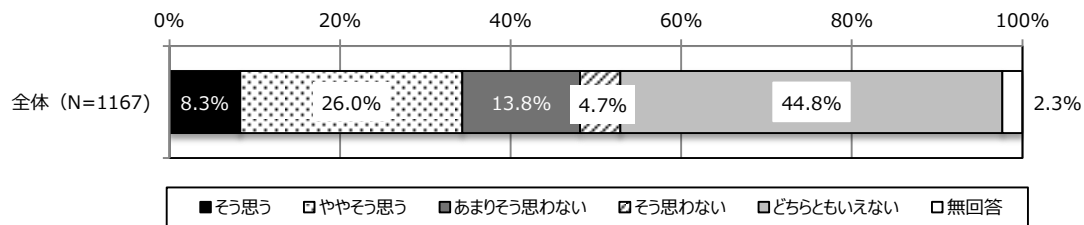
5-4 元気な高齢者が活躍する場

〔調査票／問27-1〕

【高齢者】粕屋町では、元気な高齢者が活躍する場があると思いますか。(1つだけに○)

【問27-1：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、元気な高齢者が活躍する場があると思うかについて、「**どちらともいえない**」方が44.8%と最も多くなっています。元気な高齢者が活躍する場があると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**34.3%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**18.5%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、元気な高齢者が活躍する場への評価は、過去調査と比べ**最も高**くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

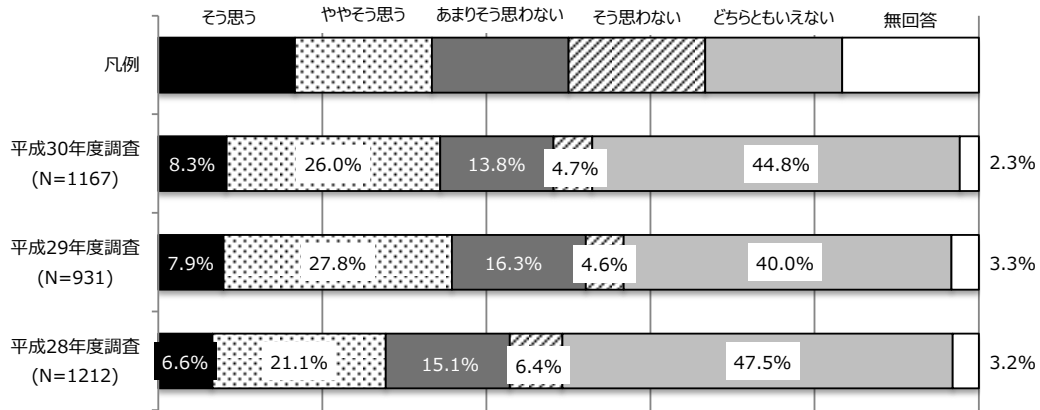
- 年齢別でみると、「**18～29歳**」で、元気な高齢者が活躍する場があると『**そう思う**』が高くなっています。
- 住み良さ別でみると、「**とても住みやすい**」方で、元気な高齢者が活躍する場があると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、設問の対象である「**65歳以上**」の方で、元気な高齢者が活躍する場があると『**そう思わ**
ない』方が高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

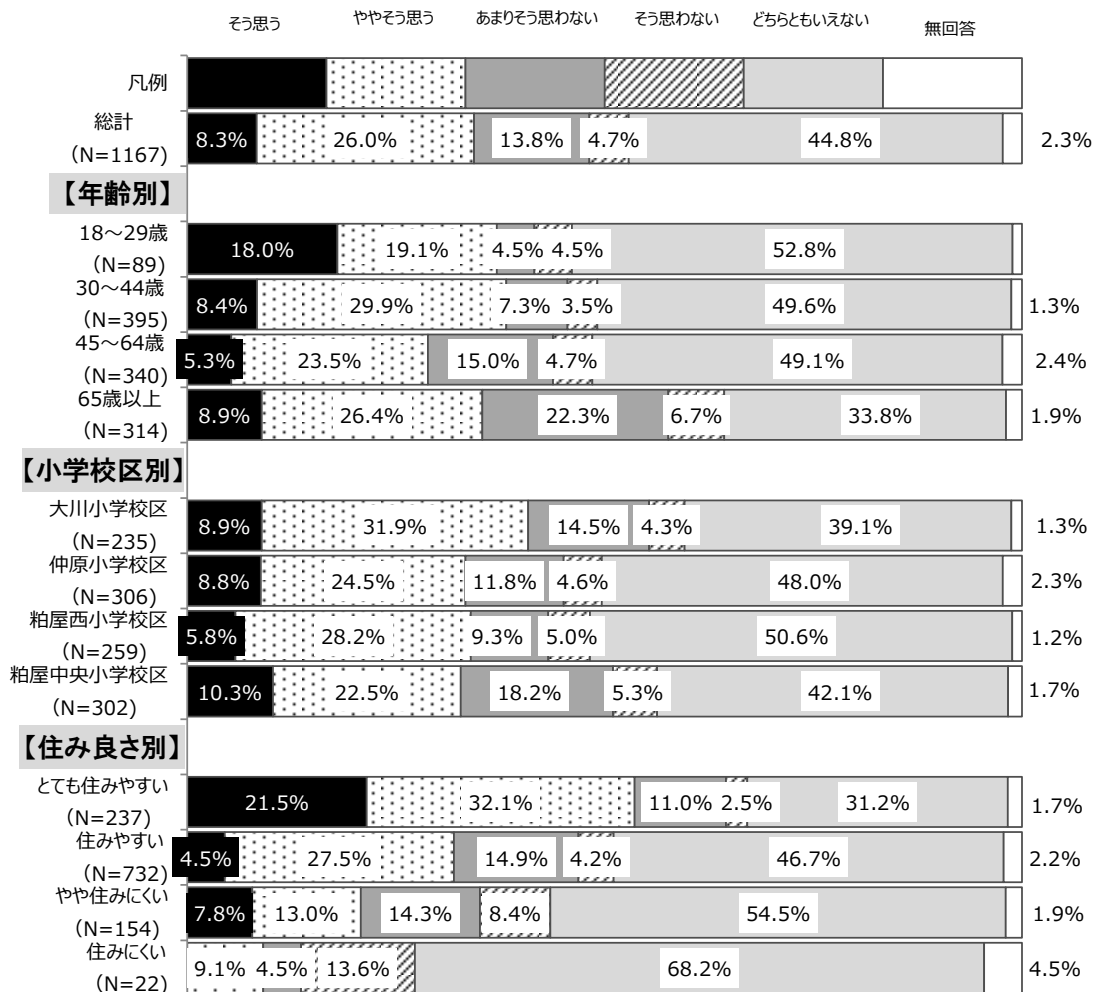
【問27-1：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.20	0.19	0.07

【問27-1：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

3 高齢者が元気に暮らせる
まちづくり

(2) 住み慣れた地域での生活を支える支援の充実

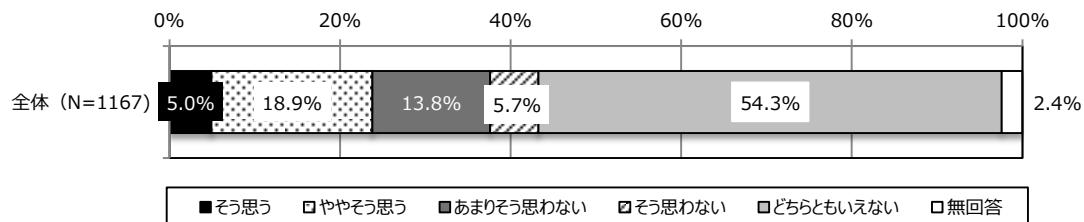
5-5 高齢者に対する支援の充実

〔調査票／問27-2〕

【高齢者】粕屋町では、高齢者に対する支援が充実していると思いますか。(1つだけに○)

【問27-2：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 高齢者に対する支援が充実していると思うかについて、「どちらともいえない」方が**54.3%**と最も多くなっています。高齢者に対する支援が充実していると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**23.9%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**19.5%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、高齢者に対する支援への評価は、平成29年度と比べ若干低くなっています。

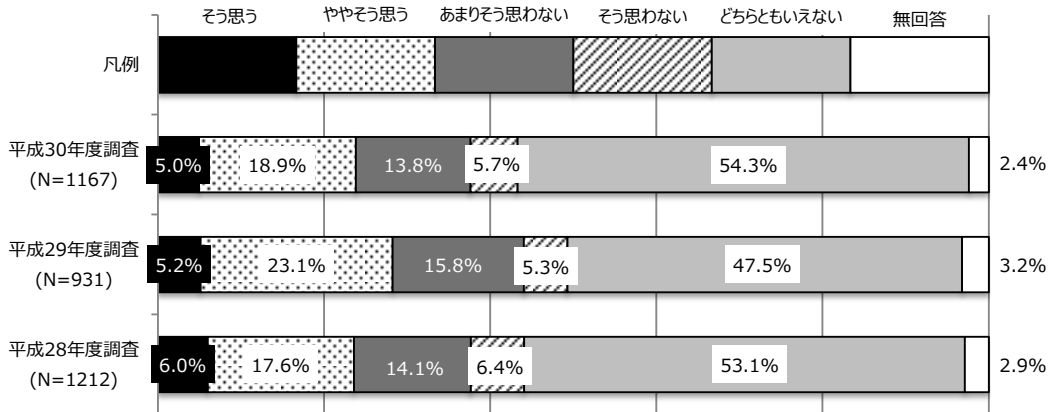
<傾向分析>

□ ポジティブ評価 □ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、設問の対象である「**65歳以上**」の方で、高齢者に対する支援が充実していると『**そう思う**』が**29.6%**と他年代より高くなっていますが、『**そう思わない**』も**33.7%**と高く、意見が分かれるかたちとなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

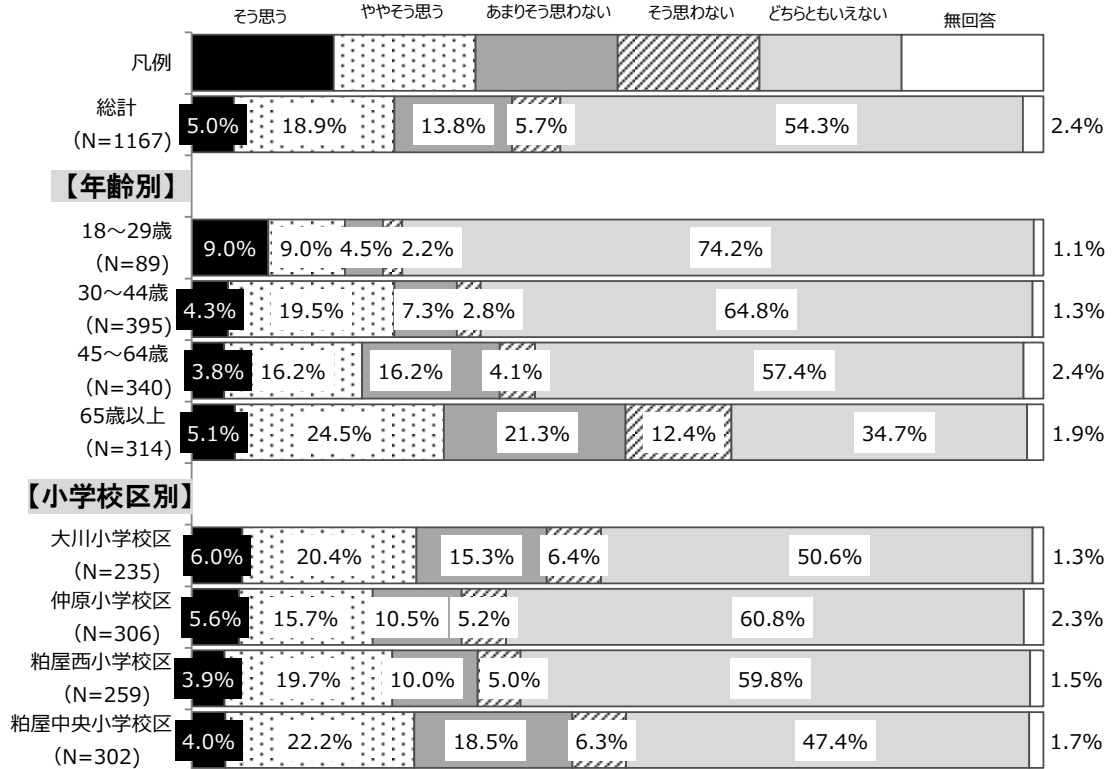
【問27-2：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.04	0.07	0.03

【問27-2：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

4 障がい者がともに暮らせる
まちづくり

(1) 生きがいを感じ社会参加を促す環境づくりの推進

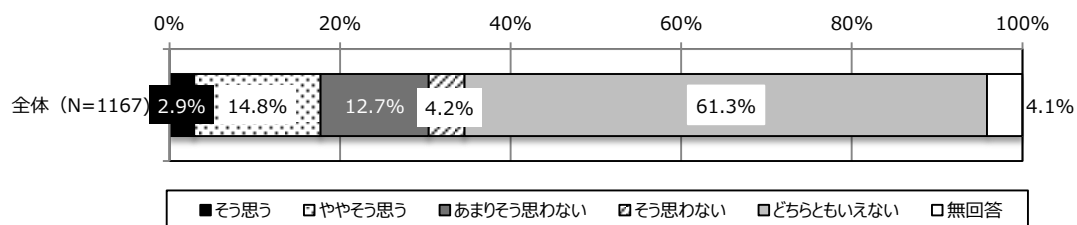
5-6 障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思いますか

〔調査票／問28-1〕

【障がい者】粕屋町では、障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思いますか。(1つだけに○)

【問28-1：全体集計】

<単数回答>



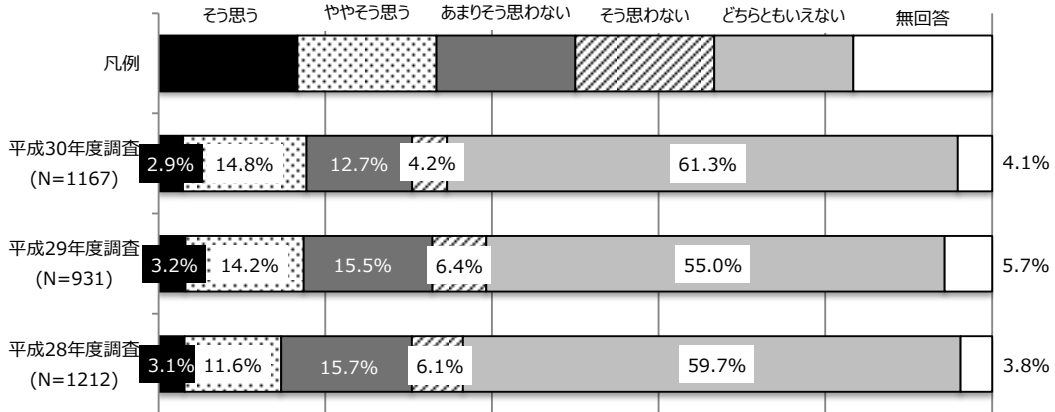
【回答結果】

<全体分析>

- 障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思うかについて、「どちらともいえない」方が**61.3%**と半数以上となっています。障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると、『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**17.7%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**16.9%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思う評価は、過去調査と比べ、高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

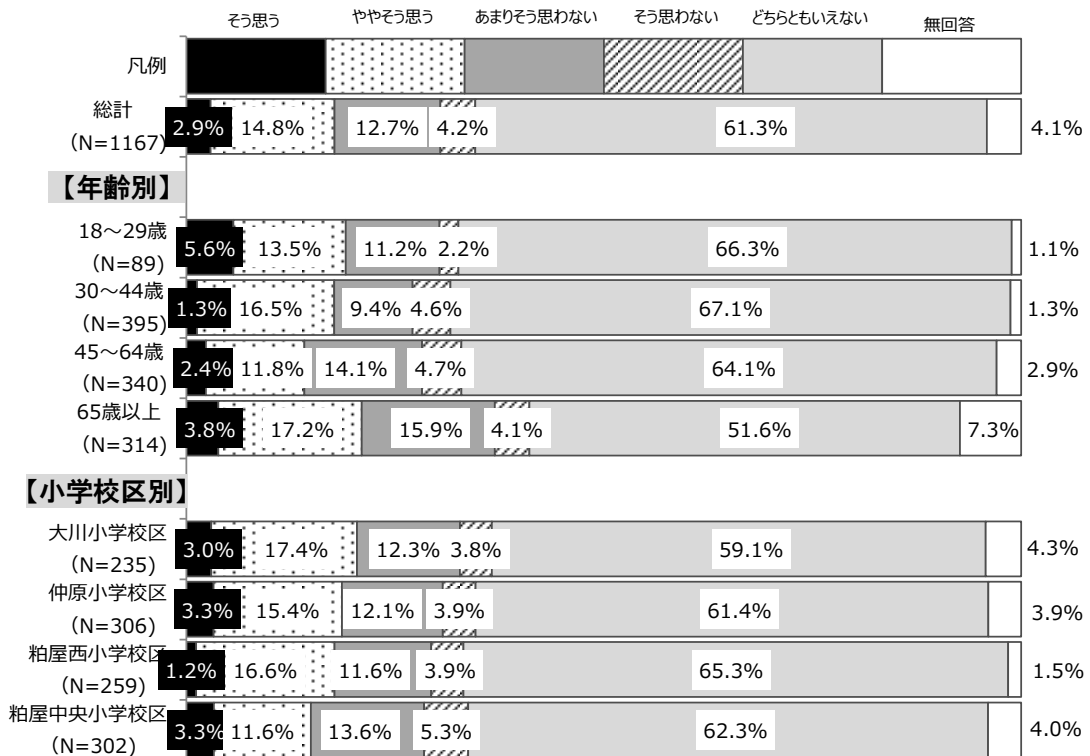
【問28-1：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.00	-0.08	-0.10

【問28-1：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

4 障がい者がともに暮らせる
まちづくり

(2) 地域で安心して暮らせる環境づくりの推進

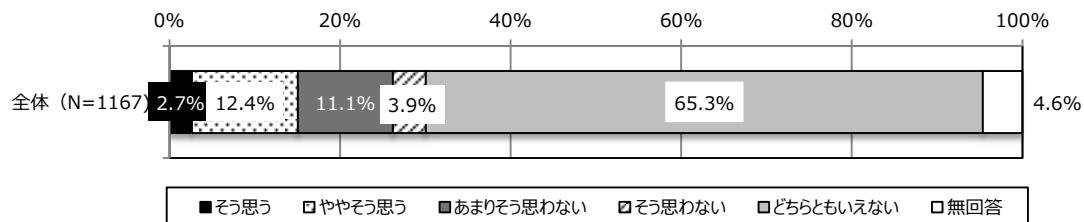
5-7 障がい者に対する支援の充実

〔調査票／問28-2〕

【障がい者】粕屋町では、障がい者に対する支援が充実していると思いますか。(1つだけに○)

【問28-2：全体集計】

<単数回答>



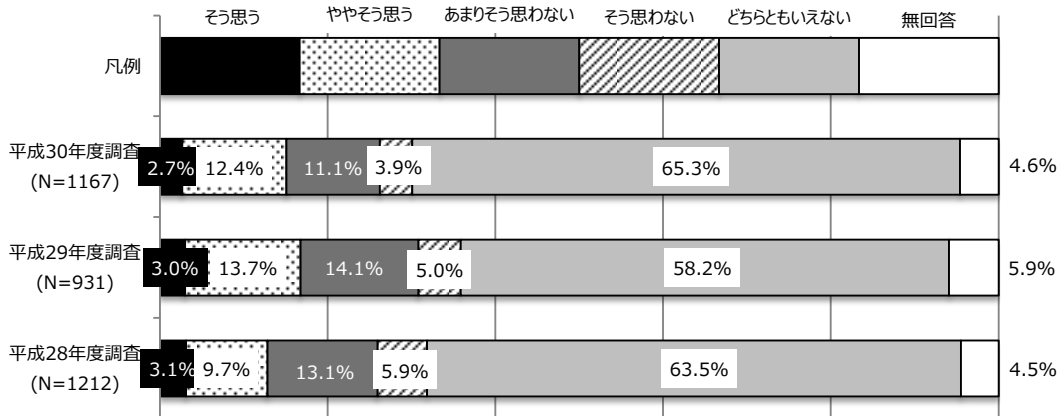
【回答結果】

<全体分析>

- 障がい者に対する支援が充実していると思うかについて、「**どちらともいえない**」方が65.3%と半数以上となっています。障がい者に対する支援が充実していると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**15.1%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**15.0%**とほぼ同様となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、障がい者に対する支援への評価は、過去調査と比べ、**若干高くな**っていますが、依然としてマイナス評価（「思わない」人が多い）となっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

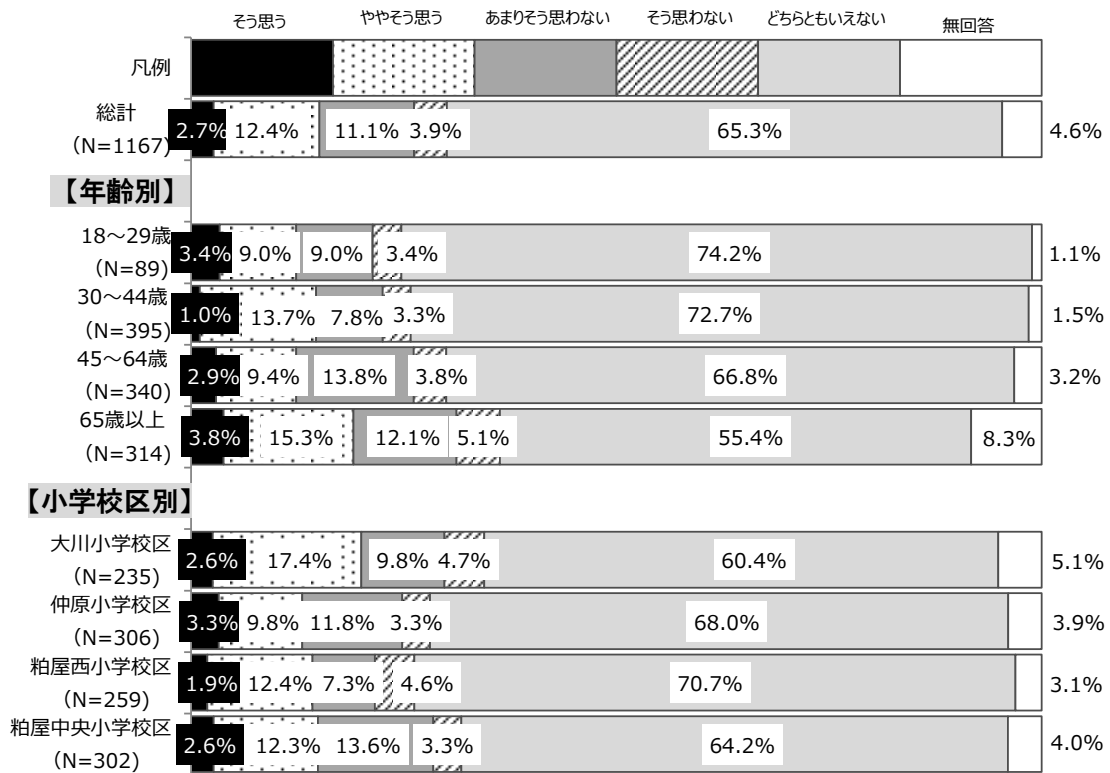
【問28-2：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.01	-0.05	-0.09

【問28-2：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

5 誰もが心豊かに暮らせる
まちづくり

(1) 人権と平和を尊重し合う地域社会の確立

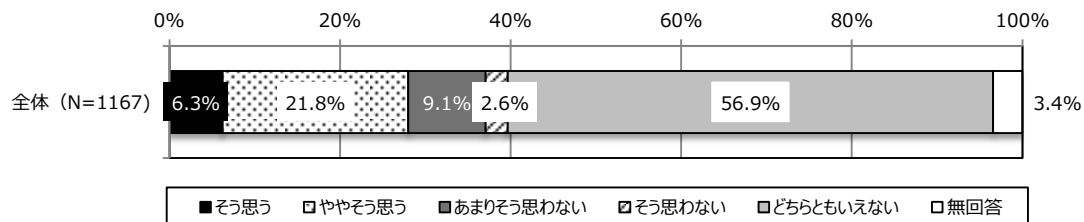
5-8 一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか

〔調査票／問29〕

【人権】粕屋町では、一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。(1つだけに○)

【問29：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 一人ひとりの人権が尊重されていると思うかについて、「どちらともいえない」方が56.7%となっています。
- 一人ひとりの人権が尊重されていると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方は**28.1%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**11.7%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、人権の尊重への評価は、平成29年度調査より高くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

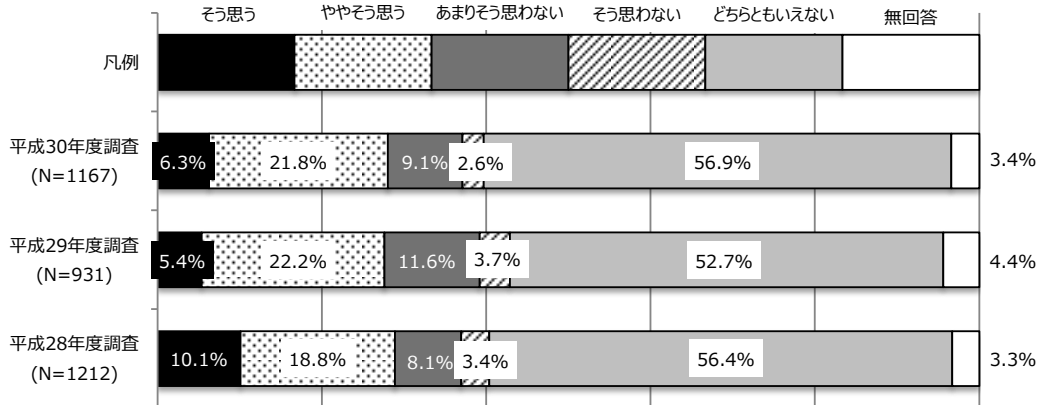
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で人権が尊重されていると『**そう思う**』が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**大川小学校区**」で人権が尊重されていると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**45～64歳**」の方で人権が尊重されていると『**そう思わない**』が高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

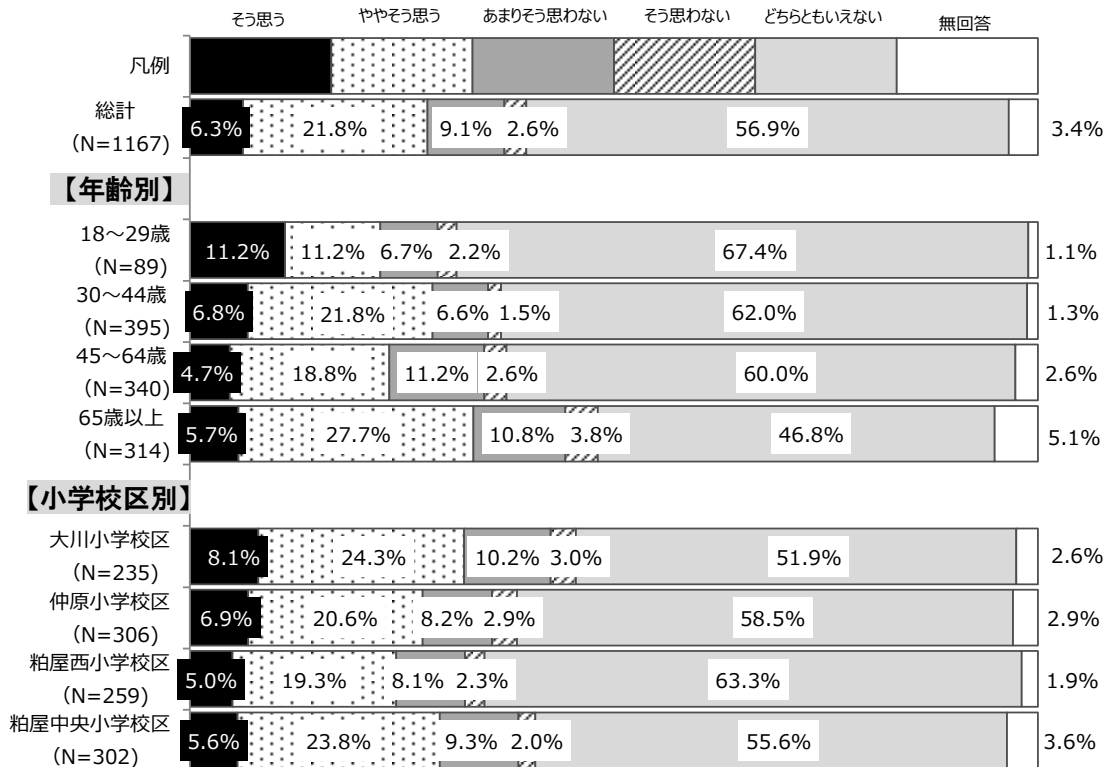
【問29：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.21	0.15	0.25

【問29：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

■政策・基本施策

5 誰もが心豊かに暮らせる
まちづくり

(2) ともに支え合う地域福祉の推進と社会保障制度の運営

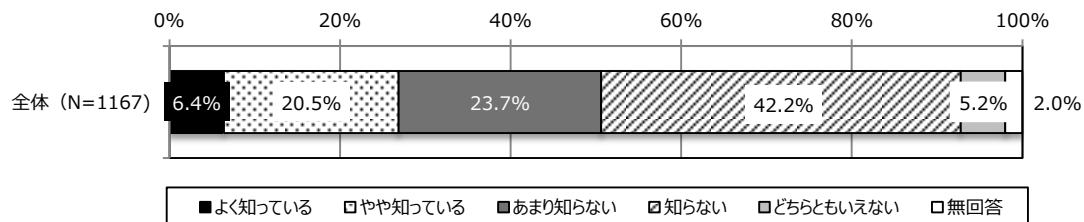
5-9 困ったときの福祉相談窓口の認知度

〔調査票/問30〕

【福祉相談】あなたは、困ったときの福祉相談窓口を知っていますか。(1つだけに○)

【問30：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 困ったときの福祉相談窓口を「知らない」方が**42.2%**と最も高く、「あまり知らない」とあわせ、**65.9%**の方が『知らない』と回答しています。一方、『知っている』（「よく知っている」+「やや知っている」）方は**26.9%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、福祉相談窓口の認知度は、平成29年度調査より**若干低**くなり、依然としてマイナス評価（「知らない」人が多い）となっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

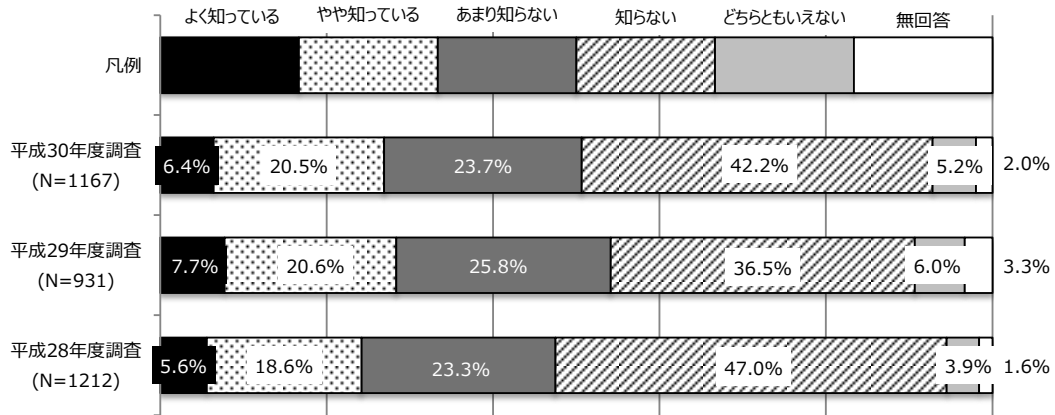
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で困ったときの福祉相談窓口を『知っている』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 居住年数別でみると、「**10年未満**」の方で困ったときの福祉相談窓口を『知らない』が高くなっています。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

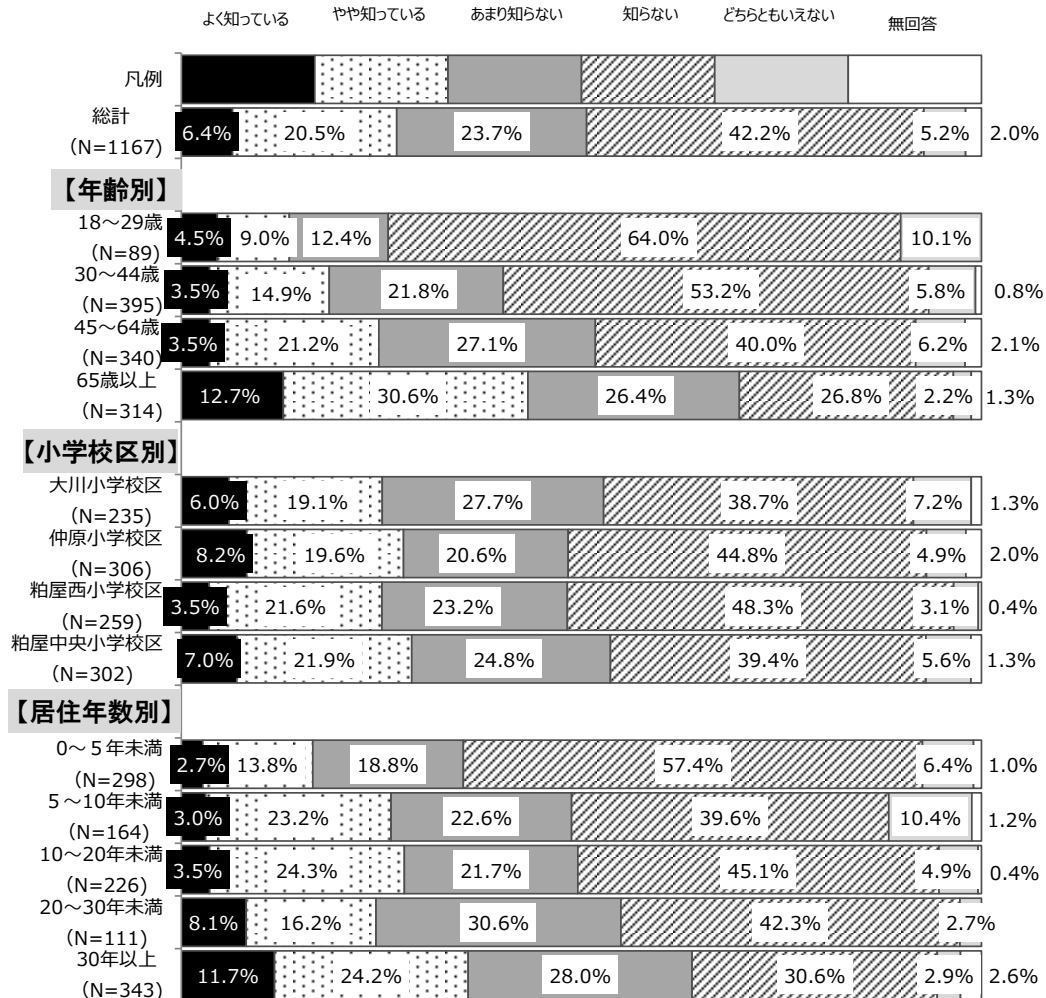
【問30：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.76	-0.65	-0.89

【問30：クロス集計（関連項目）】



5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

【問31：「健康づくり」「子育て」「福祉」「人権」分野の中で、特に、重要な課題について】

該当分野の重点課題として選択した問番号にあわせ、選んだ理由を出現ワードで分析した。

□健康づくり【問25】：36件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
健康増進活動の充実 (11件)	○地域住民の為の健康施設が充実することで健康維持やつながりができる。 ○低価格で誰もが利用できる運動プログラムがかすやドームなどでもっと増えるといい。 ○近くの公民館で体操教室など運動できる講座があると健康づくりに役立つと思う。

□子育て【問26】：196件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
保育環境の充実 (42件)	○保育園無償化の前に待機をどうにかして欲しい。認可外も待ちで東区の認可外に入れている。仕事復帰、フルタイムで働きたくても働けない。 ○保育施設が不足している。働き盛りの若中年のベッドタウンになっているのに働ける環境とは言い難い。
子育ての経済的支援 (13件)	○経済的なゆとりがあれば子どもがたくさん欲しい。保育園の多子による減免だけでなく一子当たりいくらで現金支給をして欲しい。 ○乳幼児医療費について。他市町村のように中学生まで外来の医療費の実費無償化をして欲しい。
産婦人科がない (12件)	○粕屋町は出生率が高いのに産婦人科がない。 ○出産出来る病院が最近1か所出来たのみで少ない
遊び場がない (10件)	○遊ぶ場所がないのか道路やよその家のガレージや軒下でゲームやキックボードをしている。マナーや公共物への配慮を教える必要があるし、遊べる場所、居場所を整えていかないと事故が心配。

□高齢者【問27】：112件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
高齢者の就労・生きがいの場づくり (22件)	○福祉や支援も大切だと思うが働く意思があって能力がある者にとっては仕事を与えることが一番。高齢者が働ける仕事を創出することが必要。 ○元気な高齢者が進んで小学校などで触れ合える場所を設け生きがいを作れる場を増やして欲しい。
高齢者の集い、余暇活動の場 (16件)	○楽しめる場所がない。コミュニケーションを作る場所が欲しい。 ○サンレイクでの高齢者の習い事。みんな生き生きしておられて良い。
高齢者の移動手段の確保 (14件)	○休日もふれあいバスの運行をして欲しい。 ○高齢者が免許返納した時バス、JR、タクシー利用の補助を少しでもして欲しい。

5. 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまちの取り組みについて

□障がい者【問28】：54件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
バリアフリー環境の整備 (6件)	○障害者の方々が安心して通行していける道路を作って頂いたらいい。 ○JR駅舎のバリアフリー化が進んでいない。
就労の場の確保 (5件)	○障がい者の方のハンドメイドショップなどイベントだけでなく常にあつたらいい。働きたくても働けない方の為。 ○障がい者雇用をするにしても情報が少なく管轄が東区なので利用しづらい。

□人権【問29】：11件

【主なテーマ及び意見】

	主な意見
	○人権、一人一人の人間のあり方等を考える機会を多くしないと考えなくなる。 ○子どもの人権について町でしっかりと保障を宣言して欲しい。

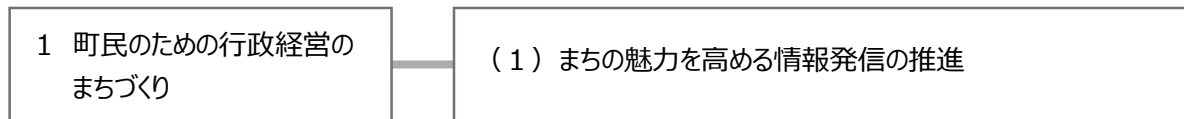
□福祉相談【問30】：34件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
相談窓口・相談内容がわからない (6件)	○った時の福祉相談窓口は何の相談でもしてくれるのか分からない。窓口の場所や相談できる内容など明確に教えて欲しい。

6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

■政策・基本施策



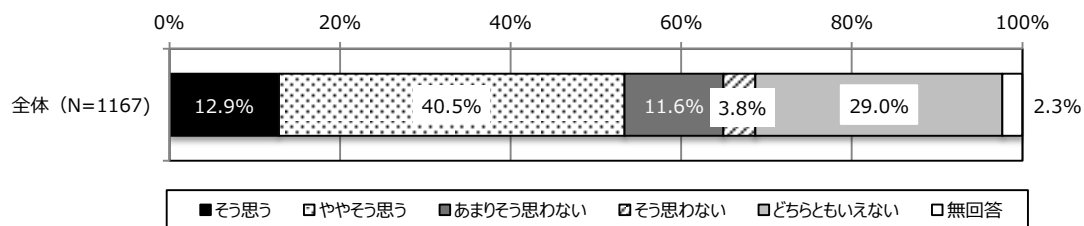
6-1 広報やホームページ等、町からの情報発信

〔調査票／問32〕

【情報発信】粕屋町では、広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると思いますか。
(1つだけに○)

【問32：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると「ややそう思う」が**40.5%**と最も多く、「そう思う」とあわせ、**53.4%**の方が『**そう思う**』と回答しています。一方、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方は**15.4%**となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、広報等の情報発信への評価は、平成29年度調査より**若干低**なっています。

<傾向分析>

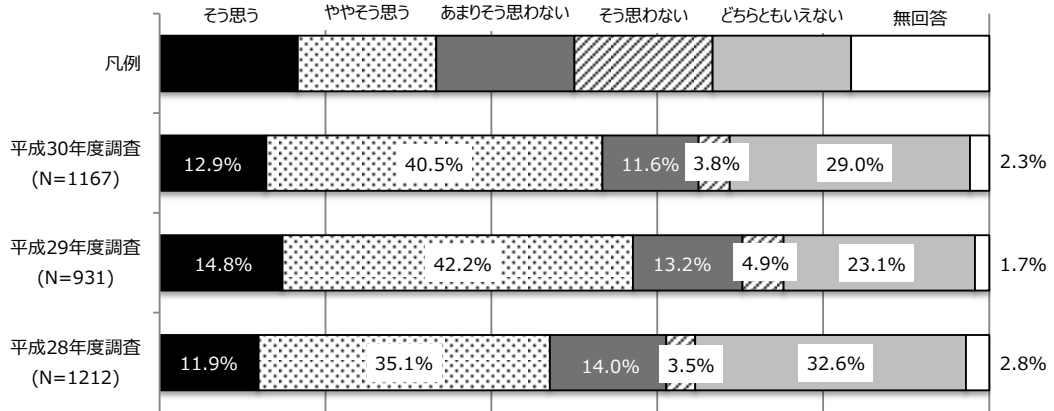
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で町からの情報発信が充実していると『**そう思う**』が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**仲原小学校区**」の方で町からの情報発信が充実していると『**思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**30～44歳**」の方で町からの情報発信が充実していると『**そう思わない**』が高くなっています。

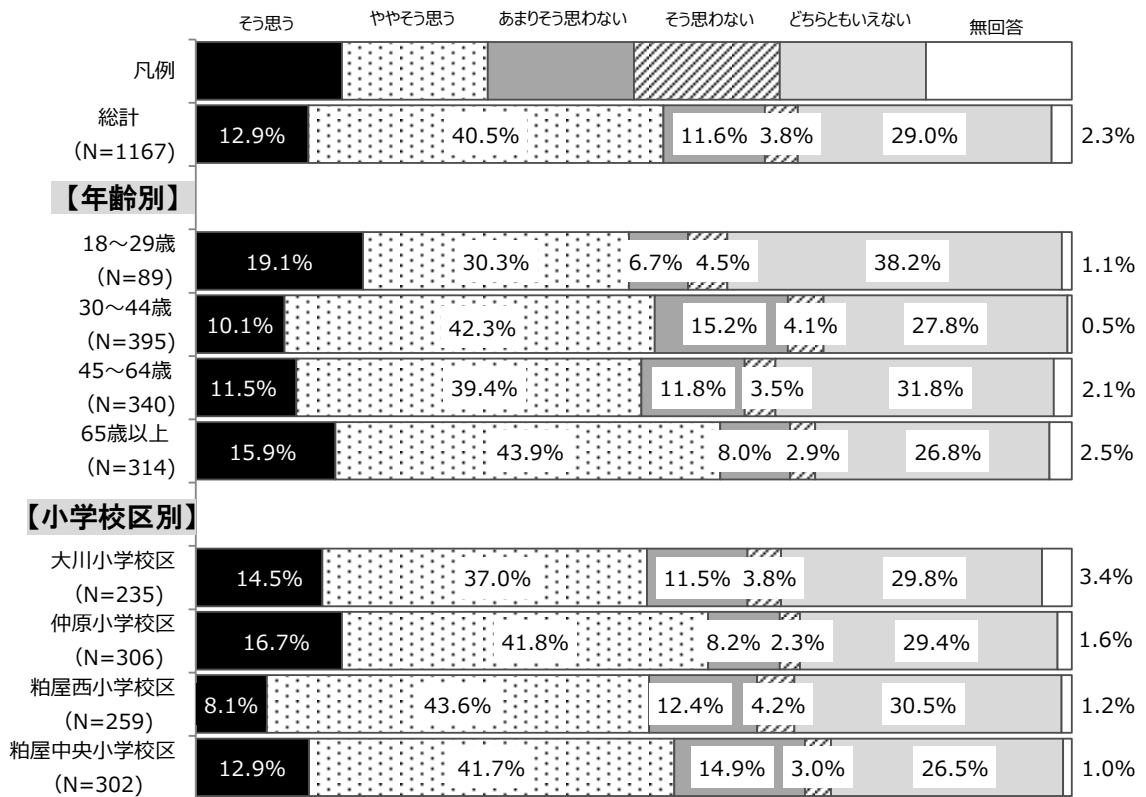
【問32：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
0.48	0.50	0.39

【問32：クロス集計（関連項目）】



6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

■政策・基本施策

1 町民のための行政経営の
まちづくり

(2) 簡素で合理的な行政運営の強化

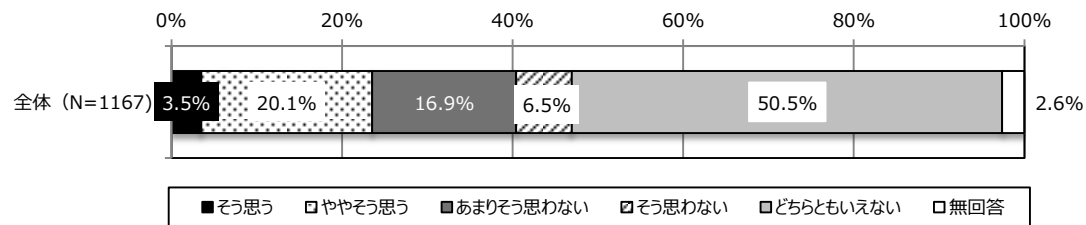
6-2 町民のニーズに応えた行政運営

〔調査票／問33〕

【行政運営】粕屋町では、町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思いますか。(1つだけに○)

【問33：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思うかについて、「**どちらともいえない**」方が50.5%と最も高くなっています。町民のニーズに応えた行政運営が行われていると『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方が**23.6%**となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方が**23.4%**とほぼ同様となっています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、町民のニーズに応えた行政運営への評価は、平成29年度調査と同様に低くなっています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

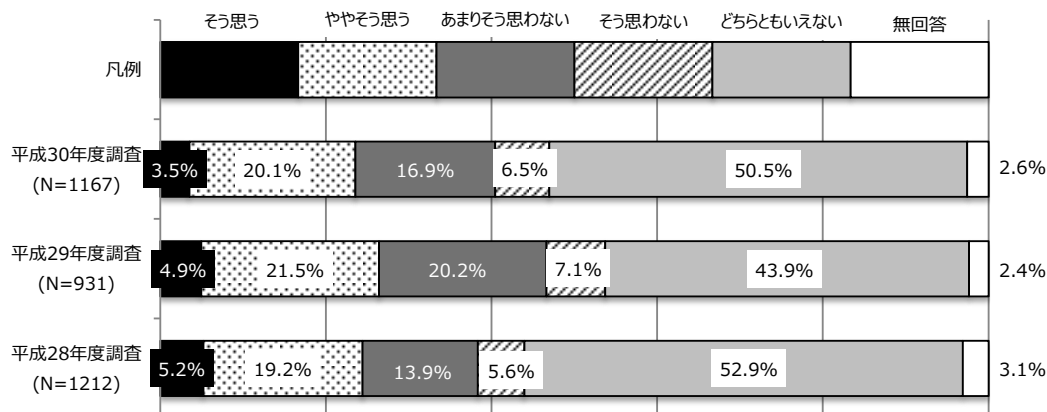
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で町民のニーズに応えた行政運営が行われていると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～25歳**」で町民のニーズに応えた行政運営が行われていると『**そう思う**』が低くなっています。

6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

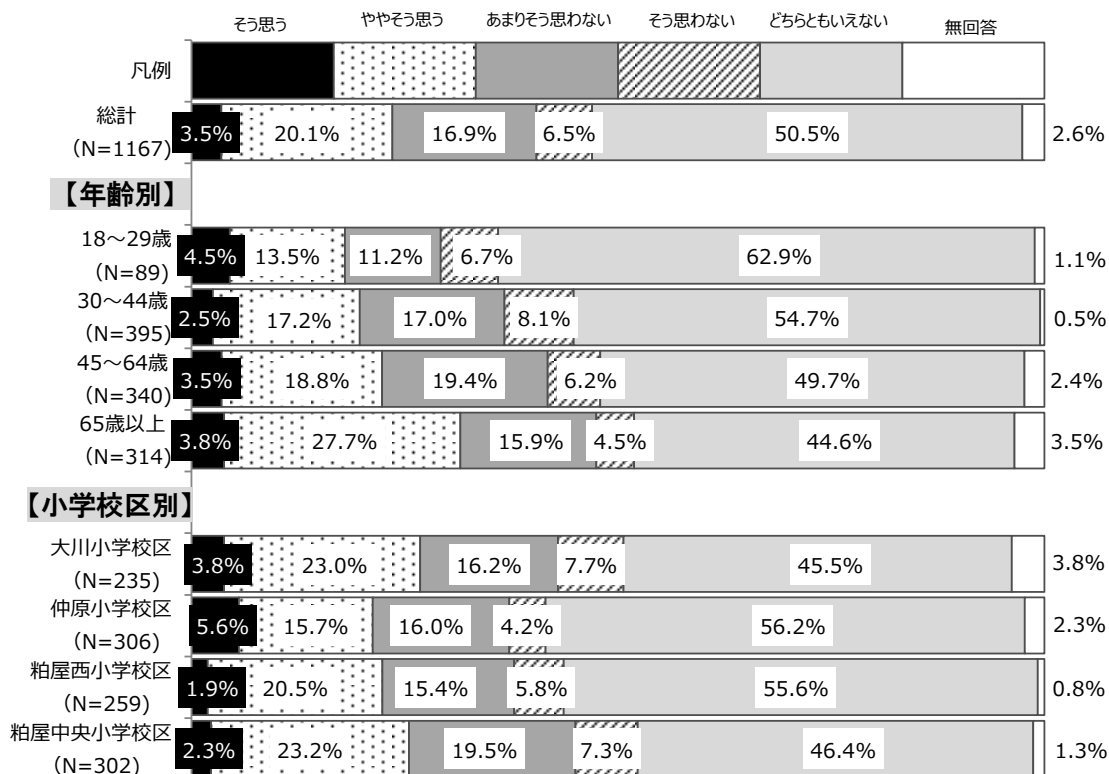
【問33：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.03	-0.03	0.05

【問33：クロス集計（関連項目）】



6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 健全な財政運営の
まちづくり

(1) 持続可能な財政基盤の強化

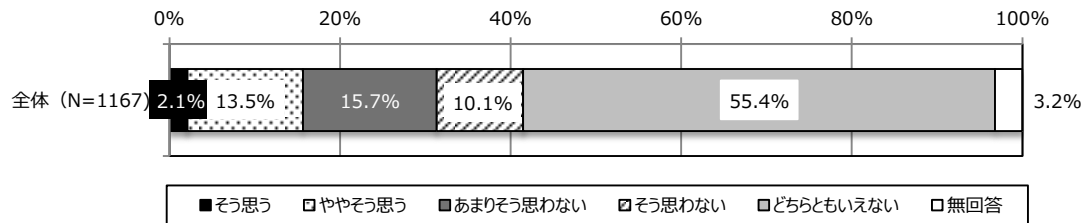
6-3 税金が有効に使われていると思いますか

〔調査票／問34〕

【財政】粕屋町では、税金が有効に使われていると思いますか。(1つだけに○)

【問34：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 税金が有効に使われていると思うかについて、「どちらともいえない」が55.4%と最も高くなっています。
- 税金が有効に使われていると『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方が**25.8%**となり、『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方の**15.6%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、税金の有効活用への評価は、平成29年度調査と同様に**低い**評価となっています。

<傾向分析>

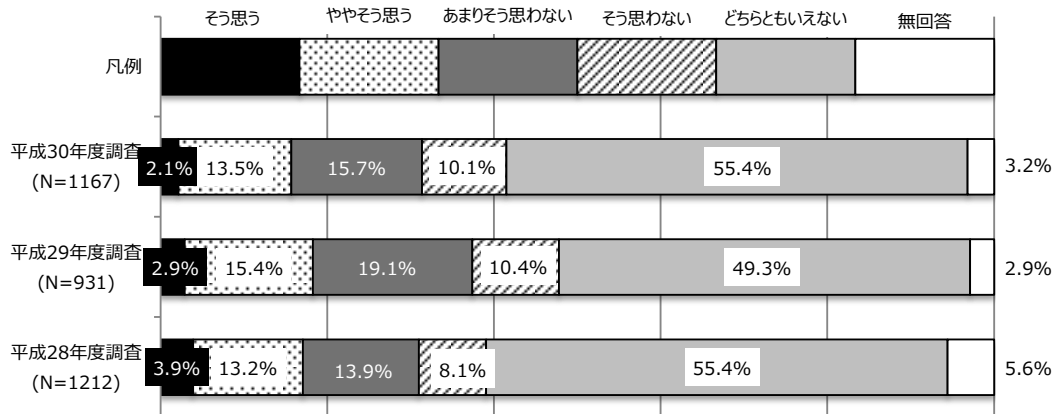
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で税金が有効に使われていると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**45～64歳**」の方で税金が有効に使われていると『**そう思わない**』が高くなっています。

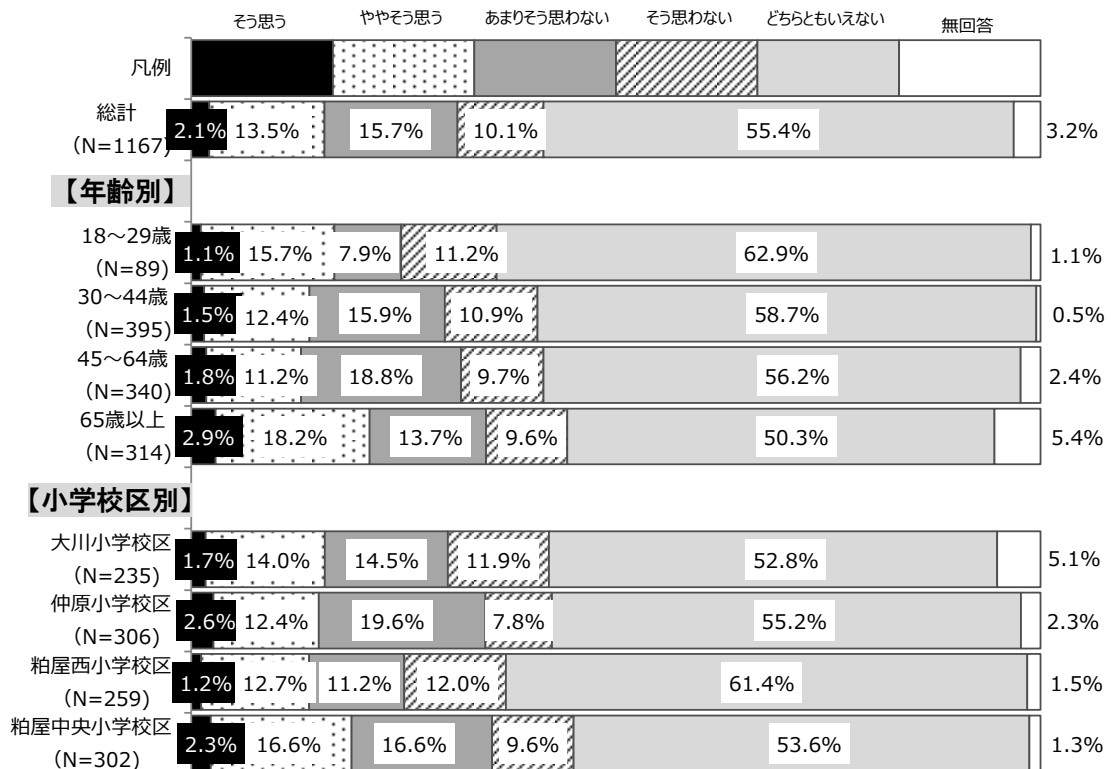
【問34：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.19	-0.19	-0.10

【問34：クロス集計（関連項目）】



6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

■政策・基本施策

2 健全な財政運営の
まちづくり

(1) 持続可能な財政基盤の強化

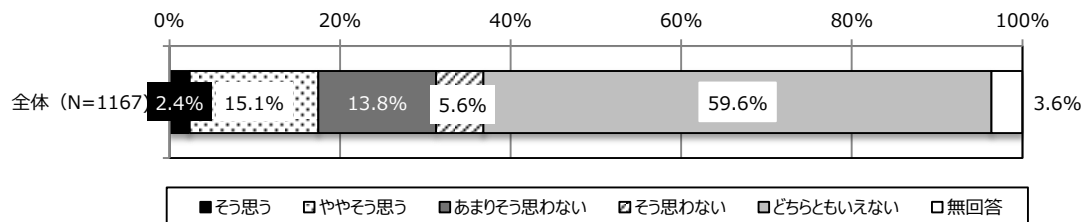
6-4 他自治体と連携や協力

〔調査票／問35〕

【広域行政】粕屋町では、他自治体と連携や協力が行われていると思いますか。(1つだけに○)

【問35：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 粕屋町では、他自治体と連携や協力が行われていると思うかについて、「**どちらともいえない**」方が59.6%と半数以上となっています。他自治体と連携や協力が行われていると『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方が**19.4%**となり、『**そう思う**』（「そう思う」+「ややそう思う」）方の**17.5%**を上回っています。
- 加重平均値により過去調査と比較すると、他自治体と連携や協力への評価は、過去調査と比べ高くなっていますが、これまでと同様にマイナス評価となっています。

<傾向分析>

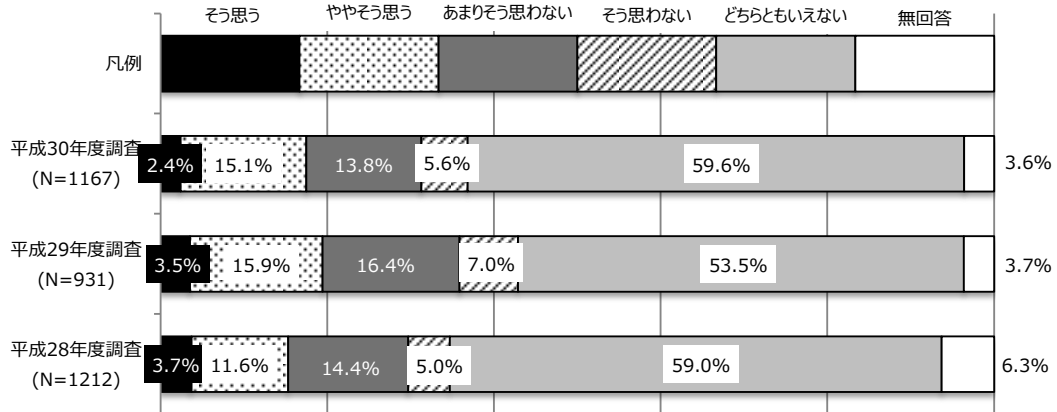
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で他自治体と連携や協力が行われていると『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**45～64歳**」の方で他自治体と連携や協力が行われていると『**そう思わない**』が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**大川小学校区**」「**粕屋中央小学校区**」の方で他自治体と連携や協力が行われていると『**そう思わない**』方が高くなっています。

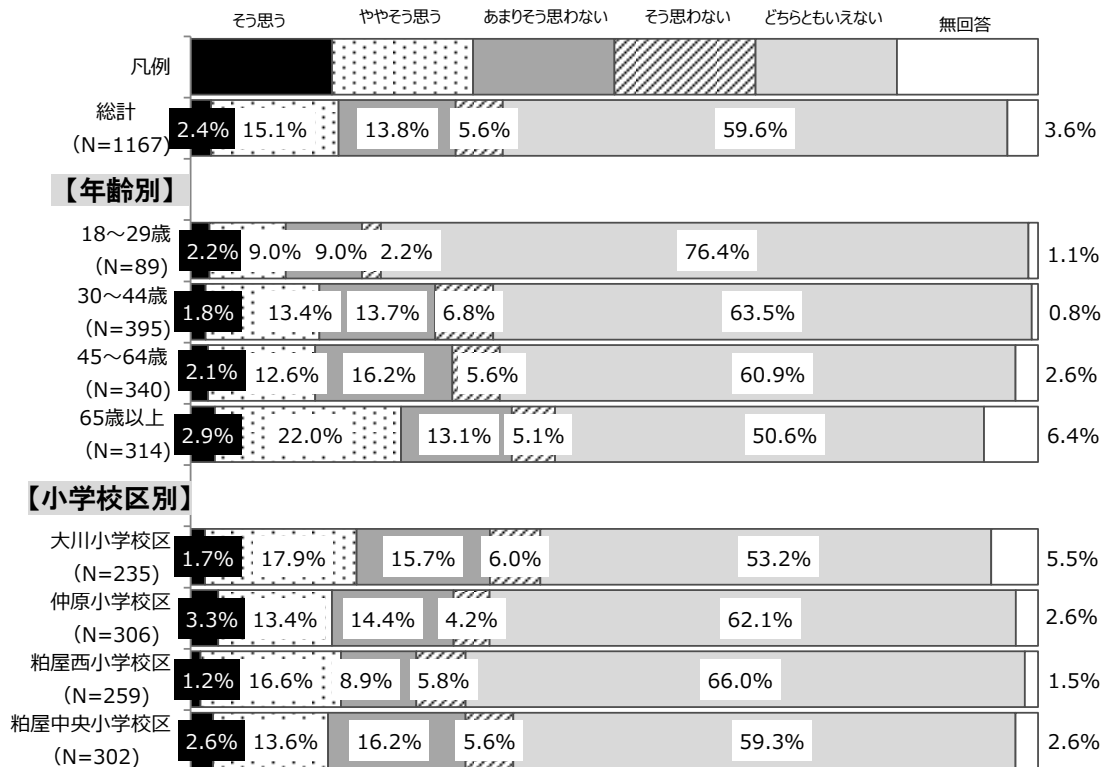
【問35：過去調査との比較】



<加重平均値による比較>

平成30年度調査	平成29年度調査	平成28年度調査
-0.05	-0.08	-0.06

【問35：クロス集計（関連項目）】



6. 健全で持続可能な行政経営をめざすまちの取り組みについて

【問36：「情報発信」「行政運営」「財政」「広域行政」分野の中で、特に、重要な課題について】

該当分野の重点課題として選択した問番号にあわせ、選んだ理由を出現ワードで分析した。

□**情報発信【問32】：66件**

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
ホームページの充実、ネットの活用 (19件)	○広報やホームページだけではなくSNS(インスタ、FB、Twitter)などの発信もこれからの時代は重要。 ○粕屋町のイベントや子どもが参加できる手作りのイベントなど広報での情報ではなくLINEに登録して、どんどん情報を発信してもらえるといい。
広報の充実 (14件)	○広報など見ることが少ないので見たくなるような情報発信する必要がある。 ○広報がアパートに入らないので行事等が分からず、役場に取りに行っているのを郵送かアパートにポスティングして欲しい。

□**行政運営【問33】：45件**

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
相談体制・窓口の充実 (10件)	○行政の手続きが分からない時に相談できる窓口が必要である。 ○月1夜間開庁して欲しい。21時くらいまで。もしくは土曜日。
町民ニーズに合った行政運営 (6件)	○町民のニーズに応じておられるのかよく分からないので。広報などで分かりやすく知らせたいしニーズを把握して欲しい。 ○もっと町民が何を望んでいるのかを地区から意見を吸い上げた方が良い。

□**財政【問34】：116件**

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
税金の使い道がわからない、有効につかわれているかわからない (16件)	○税金がどのように使われているかわからない。議員の通信簿のようなものがあれば良い。 ○税金が町民の分かる所で使われているきがしない。税込UPの工夫も足りない。ふるさと納税の税収を検討して欲しい。

□**広域行政【問35】：21件**

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
	○“糟屋”の繋がりをもう少し強くして欲しい。 ○大規模災害時に他地域との連携が大事。

7. 防災について

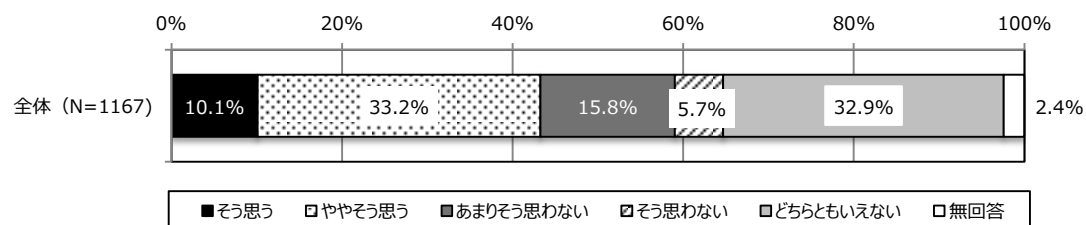
7-1 災害への安全性

〔調査票／問37〕

あなたの住んでいる地域は、災害に対して安全だと思いますか。(1つだけに○)

【問37：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

○粕屋町では、あなたの住んでいる地域は、災害に対して安全だと思うかについて、「**ややそう思う**」方が33.2%と最も多く、「そう思う」とあわせ『**そう思う**』方は43.3%となり、『**そう思わない**』（「そう思わない」+「あまりそう思わない」）方の**21.5%**を上回っています。

<傾向分析>

□ ポジティブ評価

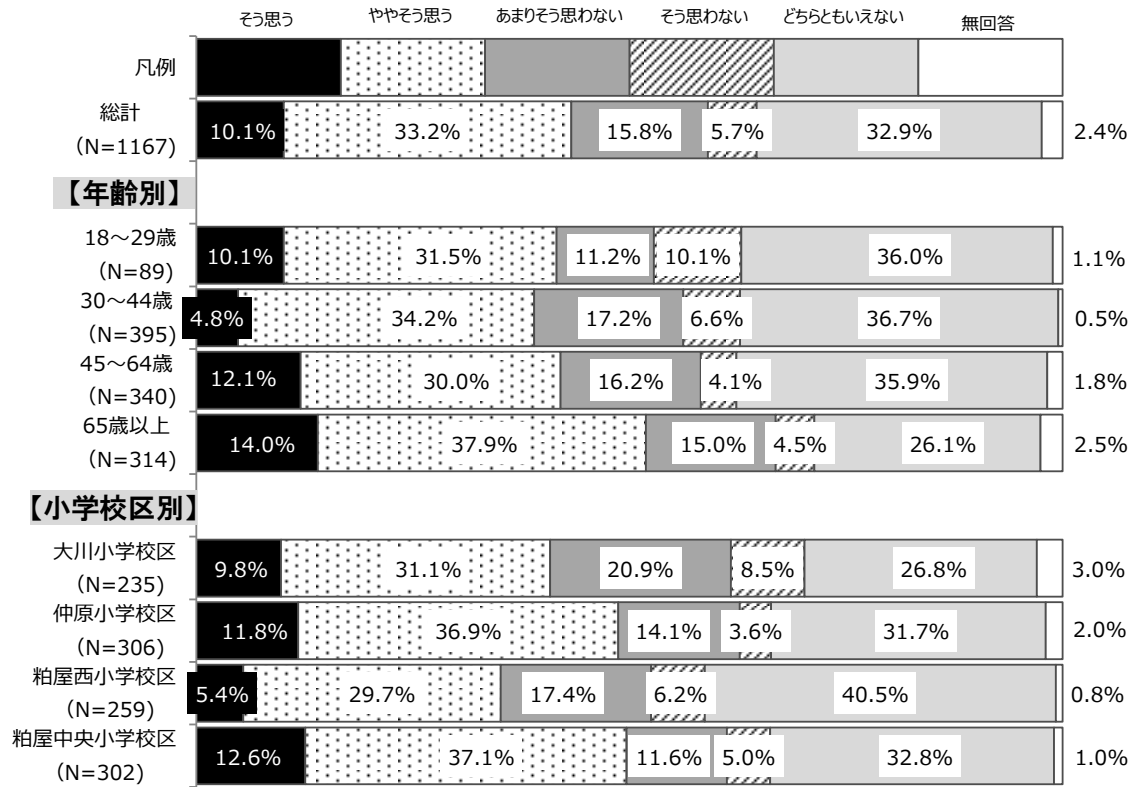
- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で災害に対して安全だと『**そう思う**』が高くなっています。
- 小学校区別でみると、「**仲原小学校区**」「**粕屋中央小学校区**」の方で災害に対して安全だと『**そう思う**』が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 小学校区別でみると、「**大川小学校区**」で『**そう思わない**』方が高くなっています。

7. 防災について

【問37：クロス集計（関連項目）】



7-2 災害に対して安全でないと思う理由

〔調査票／問38〕

〔問38は、問37で「3.あまりそう思わない」または「4.そう思わない」に○をつけた方におうかがいします。〕

どのような点から安全でないと思いますか。その理由をお書きください。

<主な意見>

テーマ	主な意見
水害による被害が不安 (災害対策が整っていない) (67件)	<ul style="list-style-type: none"> ○大雨の時、須恵川や多々良川の氾濫の危険性があるため。既に何度か氾濫しているが対策は取られているか。 ○地域によって大雨などで安全でない所がある。溝から道路に水があふれ通れなくなる所がある。 ○大雨の災害で用水路が氾濫したから。近くの公民館や東中も川に近いので安全な避難場所が不足していると思う。
避難所等の情報や災害時の避難活動について十分理解していない。 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時どこに避難してよいか分からない。子どもがいないため○○小学校と書かれても分からない。 ○避難場所は知っているが避難した時に町の皆さんとどう協力をしたらい良いのかの知識と経験がないので不安。 ○避難場所までの案内標識が少ない。倒れそうな古い塀を撤去(または取替)してない。
道路が狭く、安全に避難できない (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ○道路整備が不十分。排水溝、側溝の整備。 ○大雨時など冠水しやすい道路が多い。

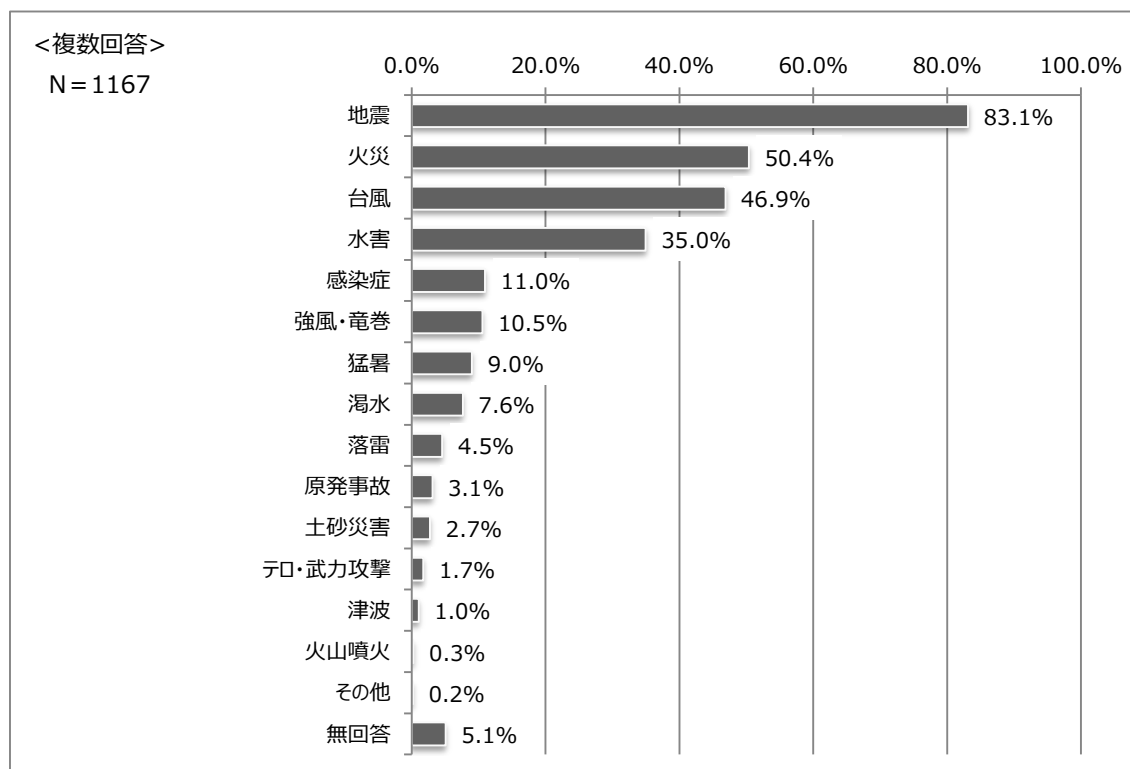
7. 防災について

7-3 日頃心配している災害

〔調査票／問39〕

あなたが日ごろ心配している災害は何ですか。特に当てはまるものを3つまで選び○をつけてください。

【問39：全体集計】



【回答結果】

<全体分析>

- 日ごろ心配している災害は、「地震」が83.1%で最も高く、次いで「火災」（50.4%）、「台風」（46.9%）、「水害」（35.0%）となっています。
- 年齢別でみると、「18～29歳」「30～44歳」では「感染症」の傾向が高くなっています。

【問39：年齢別クロス集計】 ※上位項目

18～29歳(N=89)		30～44歳 (N=395)		45～64歳 (N=340)		65歳以上(N=306)	
地震	87.6%	地震	86.8%	地震	82.6%	地震	80.3%
台風	48.3%	火災	50.6%	火災	53.2%	台風	52.2%
水害	37.1%	水害	44.6%	台風	52.1%	火災	51.9%
火災	36.0%	台風	39.2%	水害	32.6%	水害	26.1%
感染症	15.7%	感染症	16.2%	強風・竜巻	12.4%	強風・竜巻	17.8%

【問39：小学校区別クロス集計】 ※上位項目

大川小学校区 (N=235)		仲原小学校区 (N=306)		粕屋西小学校区 (N=259)		粕屋中央小学校区 (N=302)	
地震	83.0%	地震	84.6%	地震	82.2%	地震	83.4%
火災	49.8%	台風	51.6%	火災	53.3%	火災	51.7%
台風	45.1%	火災	48.0%	台風	43.2%	台風	49.7%
水害	39.1%	水害	31.7%	水害	42.1%	水害	30.5%
強風・竜巻	10.6%	強風・竜巻	12.1%	感染症	12.7%	強風・竜巻	10.6%

7. 防災について

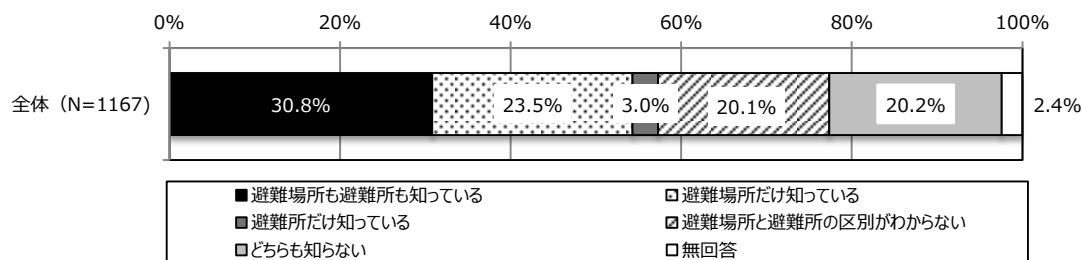
7-4 避難所・避難場所の認知度

〔調査票／問40〕

あなたは、自宅付近の避難場所や避難所がどこにあるか知っていますか。(1つだけに○)

【問40：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

- 自宅付近の避難場所・避難所の認知度について、「**避難場所も避難所も知っている**」方が**30.8%**と最も多くなっています。「**どちらも知らない**」方は**20.2%**となっています。

<傾向分析>

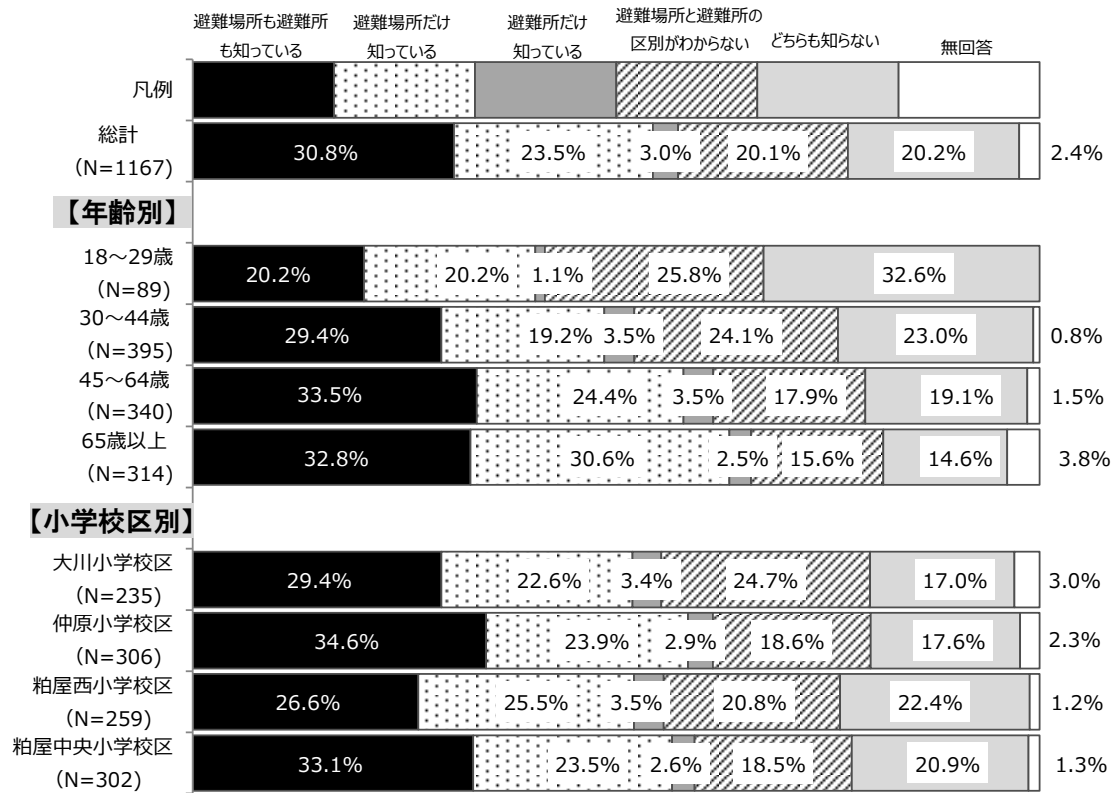
□ ポジティブ評価

- 小学校区別でみると、「**仲原小学校区**」「**粕屋中央小学校区**」の方で「**避難場所も避難所も知っている**」が高くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で避難場所・避難所を「**どちらも知らない**」が高くなっています。

【問40：クロス集計】



7. 防災について

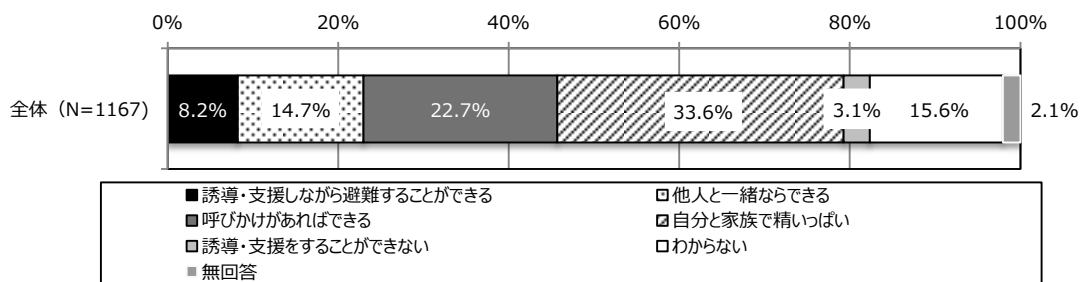
7-5 災害時の近所の高齢者・障がいのある方の誘導・支援

〔調査票／問41〕

災害が発生し避難が必要になった場合、あなたは近所の高齢者や障がいのある方などを誘導・支援しながら避難することができますか。 (1つだけに○)

【問41：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

○災害が発生し避難が必要になった場合、近所の高齢者や障がいのある方などを「誘導・支援しながら避難することができる」方は8.2%となっており、33.6%の方が「自分の家族で精いっぱい」と最も多くなっています。

<傾向分析>

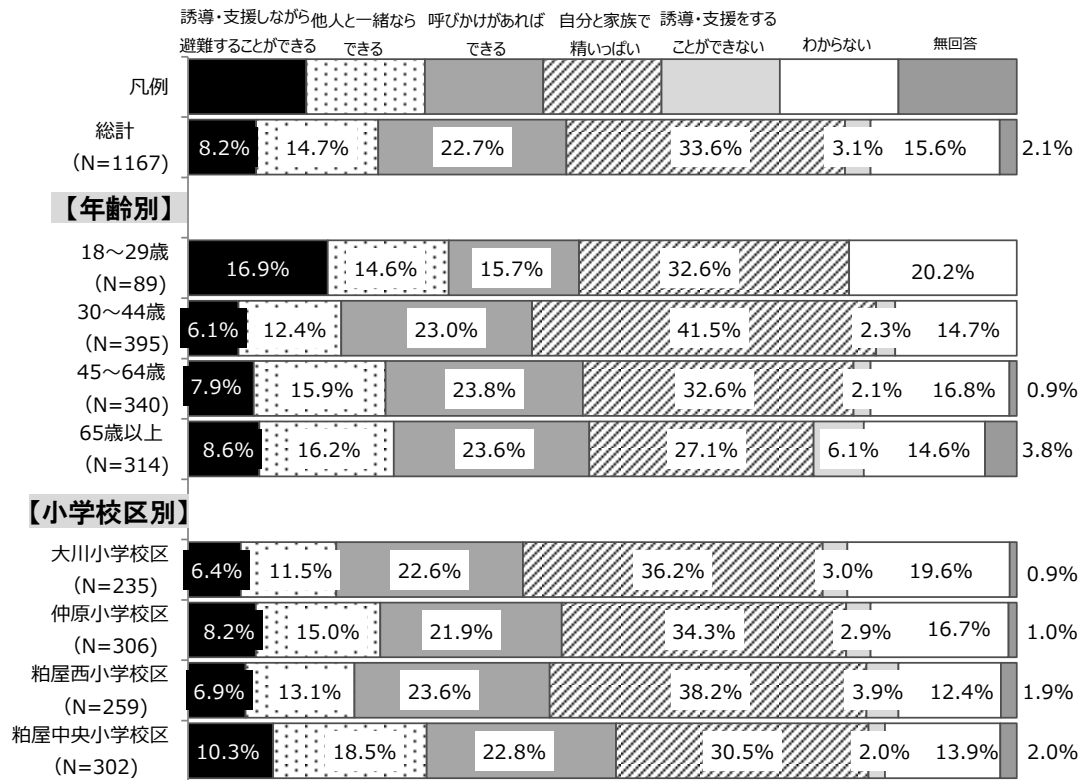
□ ポジティブ評価

○年齢別でみると、「18～29歳」の方で「誘導・支援しながら避難することができる」が高くなっています。

□ ネガティブ評価

○年齢別でみると、「30～44歳」の方で「自分と家族で精いっぱい」が高くなっています。また、「65歳以上」の方の6.1%が「誘導・支援をすることができない」と回答しています。

【問41：クロス分析】



7. 防災について

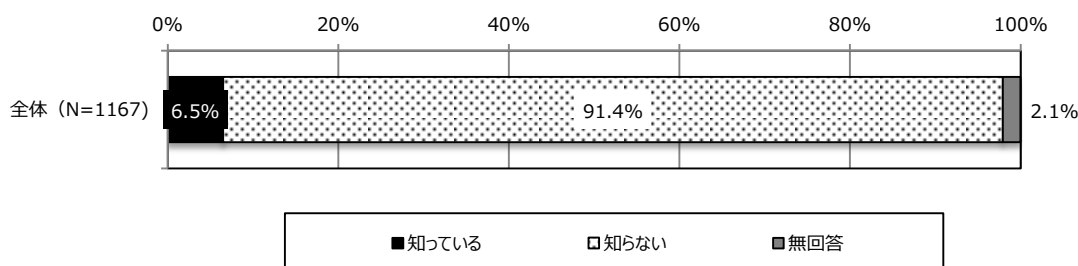
7-6 避難行動要支援者名簿の認知度

〔調査票／問42〕

粕屋町では、災害時の避難支援などを行えるよう、障がいをお持ちの方などを対象として「災害行動要支援者名簿」を作成していますが、このことを知っていますか。(1つだけに○)

【問42：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

○「避難行動要支援者名簿」を「知っている」方は6.5%と少なく、91.4%が「知らない」と回答しています。

<傾向分析>

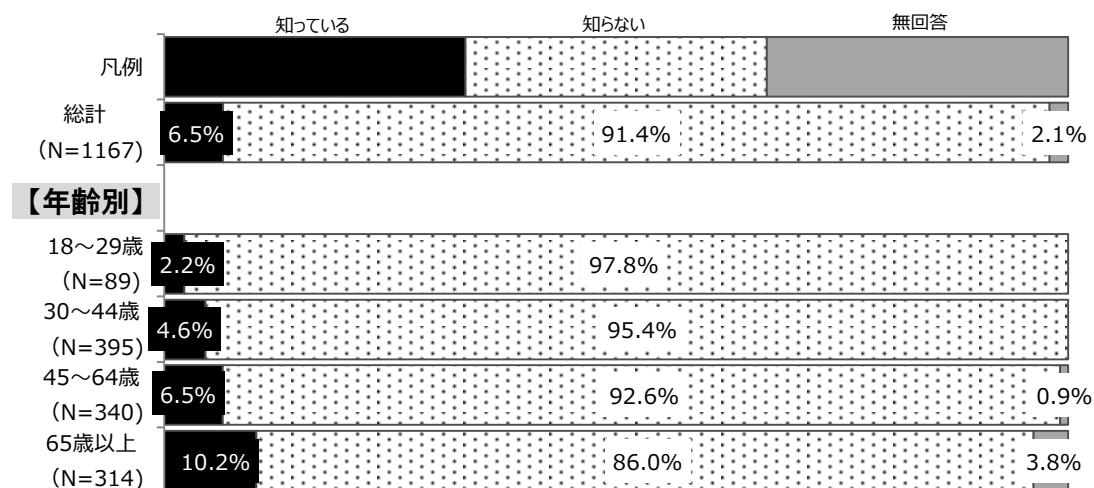
□ ポジティブ評価

○年齢別でみると、「65歳以上」の方では「避難行動要支援者名簿」を「知っている」が10.2%と他年代と比べ高くなっています。

□ ネガティブ評価

○年齢別でみると、「65歳以上」以外の年齢の方では、「知らない」が90%以上と高くなっています。

【問42：クロス分析】



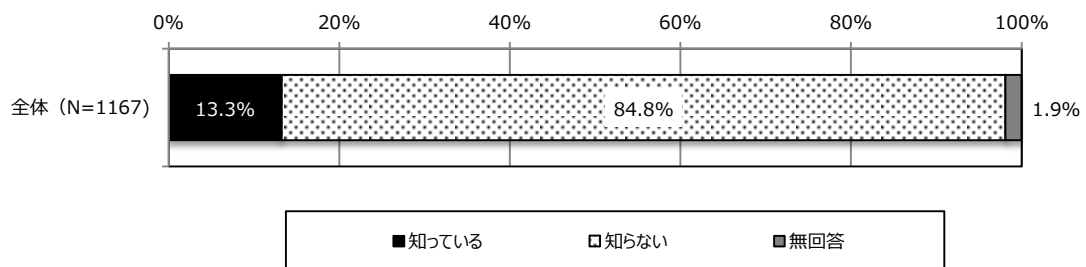
7-7 自主防災組織の認知度

〔調査票／問43〕

粕屋町では災害に備え、行政区などを単位として「自主防災組織」が作られています。あなたはこのような組織があることを知っていますか。(1つだけに○)

【問43：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

○「自主防災組織」を「知っている」方は**13.3%**となっており、「知らない」方が**84.8%**となっています。

<傾向分析>

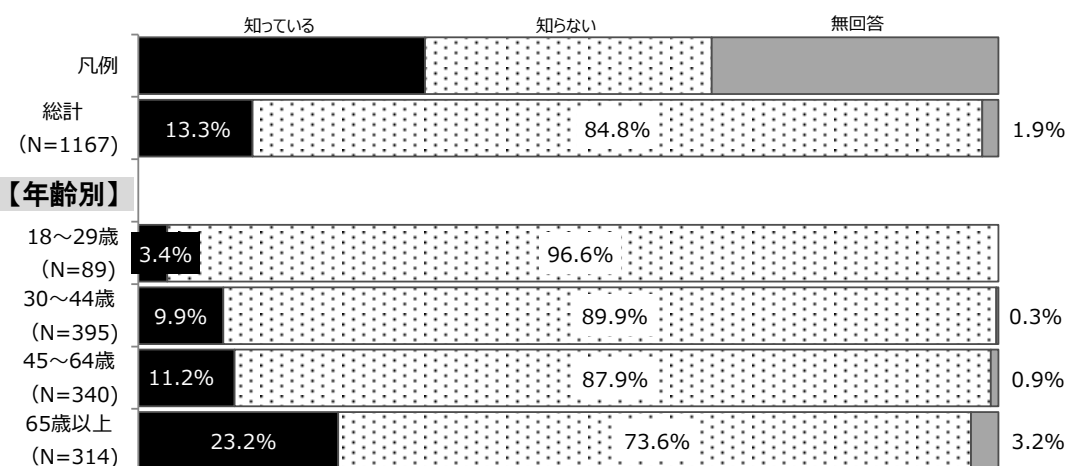
□ ポジティブ評価

○年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で「自主防災組織」を「知っている」方が**23.2%**と他の年代と比べて高くなっています。

□ ネガティブ評価

○年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で「自主防災組織」を「知っている」方が**3.4%**と低くなっています。

【問43：クロス分析】



7. 防災について

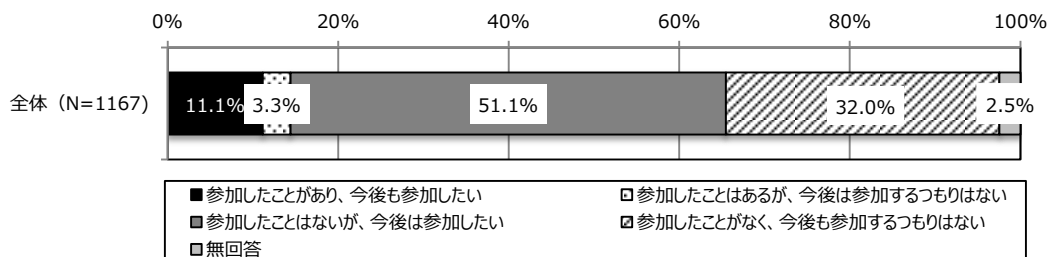
7-8 防災訓練への参加

〔調査票／問44〕

あなたは、行政区の防災訓練など、自分が住んでいる地域の自主防災組織の活動に実際に参加したことがありますか。また、今後防災訓練に参加したいと思いますか。(1つだけに○)

【問44：全体集計】

<単数回答>



【回答結果】

<全体分析>

○行政区の防災訓練への参加について、「**参加したことがないが今後は参加したい**」方が**51.1%**と半数となっています。「**参加したことがなく、今後も参加するつもりはない**」方は**32.0%**となっています。

<傾向分析>

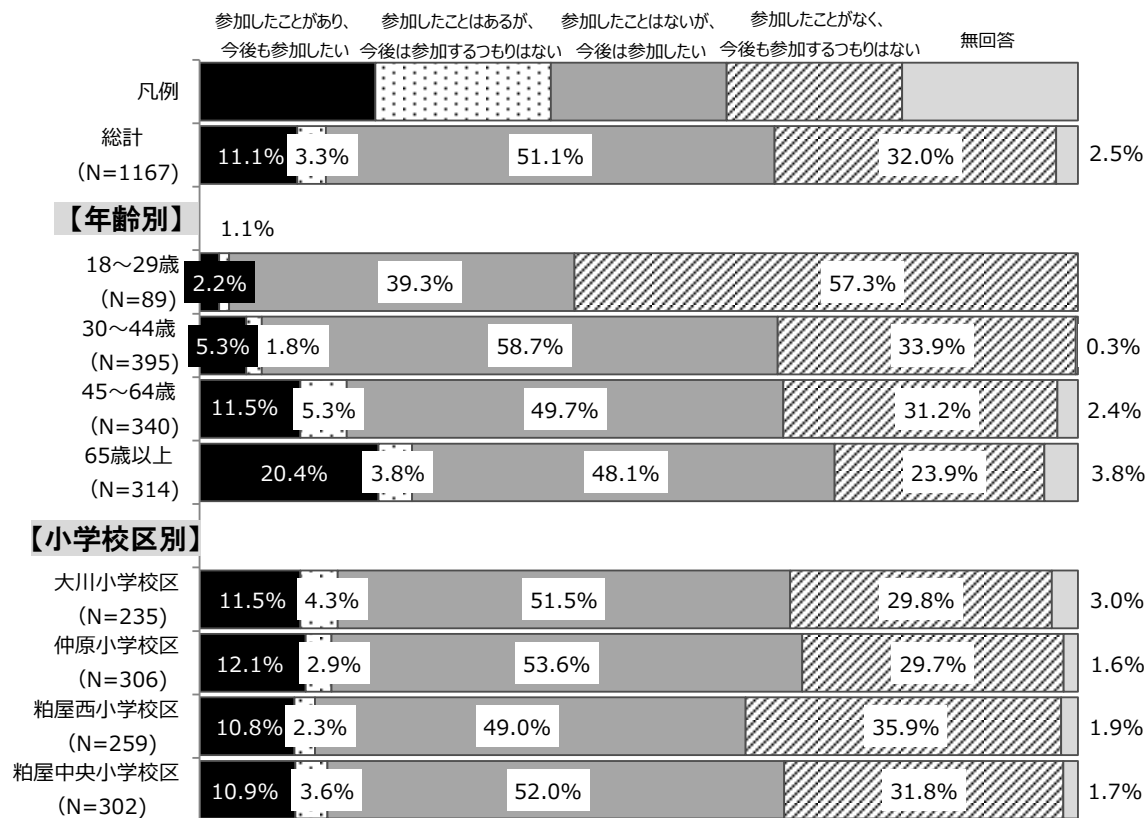
□ ポジティブ評価

- 年齢別でみると、「**65歳以上**」の方で「**参加したことがあり、今後は参加したい**」が高くなっています。
- 小学校区でみると、「**仲原小学校区**」の方で参加経験、今後の参加意向が他地区より**若干高**くなっています。

□ ネガティブ評価

- 年齢別でみると、「**18～29歳**」の方で参加経験、今後の参加意向が**低**くなっています。

【問44：クロス分析】



7. 防災について

7-9 今後、町の防災対策に力を入れて取り組んでほしいもの

〔調査票／問45〕

今後、町の防災対策に力を入れて取り組んでほしいものなどがありましたら、自由にお書きください。

<主な意見>

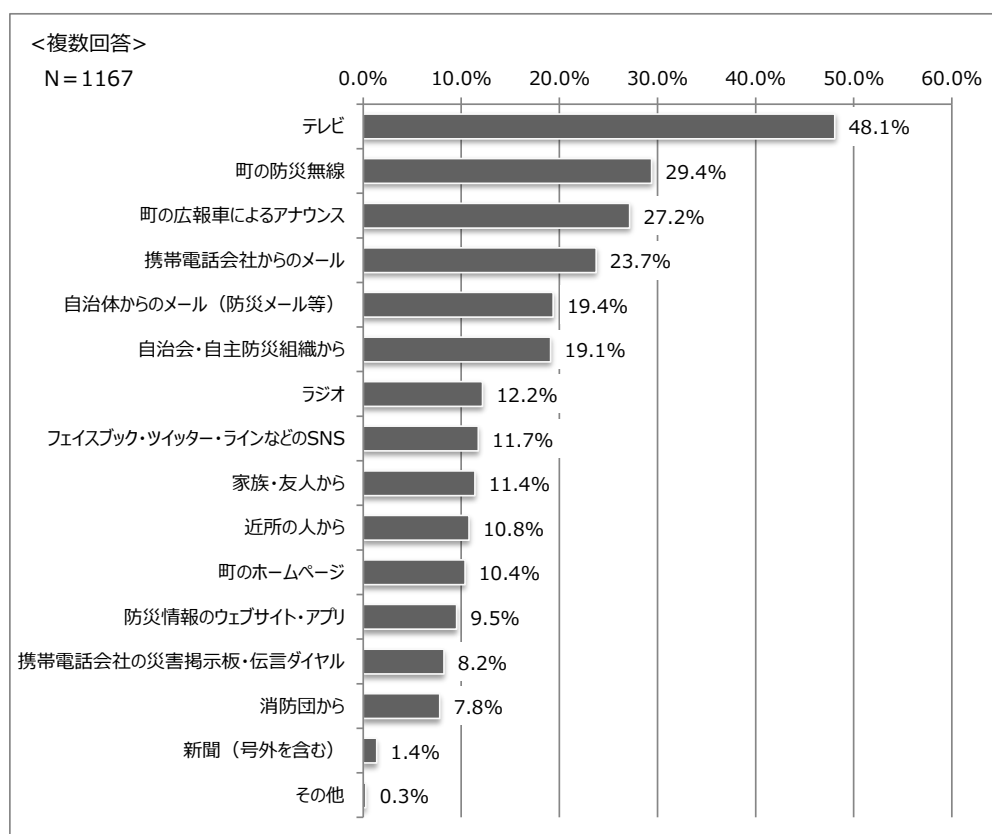
テーマ	主な意見
災害時（緊急時）の防災情報の伝達方法の改善 (30件)	<ul style="list-style-type: none"> ○粕屋町はお知らせや緊急時に町内のアナウンスを流したりするが街中で聞くアナウンスはスピーカーの近くであつてもとても聞き取りにくいので周知方法を改善して欲しい。 ○災害の情報が全ての人に伝達されるよう通信連絡網の強化。 ○防災放送だけでなくメールかITの活用を行って欲しい。
町民の防災対策の促進 (26件)	<ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練は最低でも年1回行った方が良い。また町全体の訓練も1回実施しても良いのではないかな。 ○防災グッズを配布して欲しい。 ○広報と別に防災マップ等、最小限の事だけを書いたものを配って欲しい。
避難場所に関する情報、災害時の避難行動の確認 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ○広報等で災害避難のシュミレーションの定例化をして欲しい。 ○災害が起きた時、安全に避難できる場所をはっきり示して欲しい。 ○避難場所、避難所になっている場所に看板などで表示してあると普段から意識しやすく、日頃から避難道路をイメージしやすいと思います。 ○地震、台風、水害等、それぞれ避難場所が異なると思う。大雨時の避難方法、経路、地震の際の避難場所などを一家に一部配布希望。また、災害時の避難している場所から、その情報とどこに連絡すべきか、情報収集する窓口の設定と運用方法の共有。
水防対策の強化 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ○水害は怖いので大雨時に水があふれない対策をして欲しい。 ○町内の小中学校は冠水する可能性が高く、またその避難経路上も同様に可能性が高いので避難場所としては不適切。むしろ河川の浚渫で用水路から逆流しない工事をした方が建設的。 ○未然に水害の防止につながる対策(ダム、防波堤など)
防災に対する意識啓発 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ○危険な場所、危険率が高い場所等の情報提供。 ○子どもが自分で対策が出来るように教育して欲しい(親も含めて)災害は子どもが一人の時にも起こる可能性がある。

7-10 災害関連情報の入手手段

〔調査票／問46〕

もし、お住まいの地域で大規模災害が発生したら、あなたは災害関連情報をどのような手段で得たいと思いますか。特に利用すると思うものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

【問46：全体集計】



【回答結果】

<全体分析>

- 大規模災害時の災害関連情報の入手手段は、「**テレビ**」が**48.1%**と最も多く、次いで「**町の防災無線**」（29.4%）「**町の広報車によるアナウンス**」（27.2%）、「**携帯電話会社からのメール**」（23.7%）「**自治体からのメール（防災メール）**」（19.4%）となっています。
- 年齢別にみると、「**18～29歳**」の方では災害関連情報の入手手段として「**フェイスブック・ツイッター・ラインなどのSNS**」が他の年代に比べ多くなっています。

7. 防災について

【問46：年齢別クロス集計】 ※上位項目

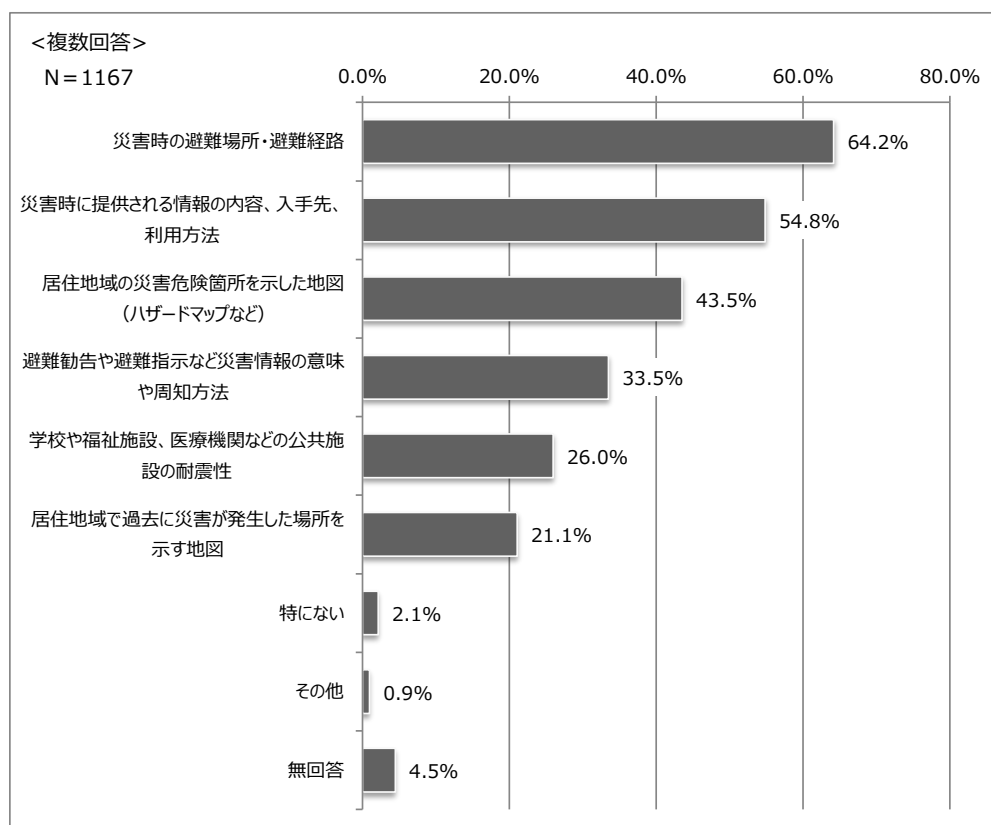
18～29歳(N=89)		30～44歳 (N=395)		45～64歳 (N=340)		65歳以上(N=306)	
テレビ	58.4%	テレビ	46.6%	テレビ	47.9%	テレビ	49.4%
町の広報車によるアナウンス	31.5%	町の防災無線	27.1%	町の防災無線	33.2%	町の広報車によるアナウンス	36.3%
フェイスブック・ツイッター・ラインなどのSNS	30.3%	自治体からのメール(防災メール等)	25.8%	携帯電話会社からのメール	32.6%	町の防災無線	31.2%
町のホームページ	21.3%	携帯電話会社からのメール	25.6%	町の広報車によるアナウンス	25.3%	自治会・自主防災組織から	23.9%
町の防災無線	19.1%	町の広報車によるアナウンス	21.3%	自治体からのメール(防災メール等)	21.5%	携帯電話会社からのメール	15.0%

7-11 充実してほしい災害情報

〔調査票／問47〕

住んでいる地域の災害の危険性や災害対策に役立つ情報について、充実してほしいと思うものは何ですか。特に当てはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

【問47：全体集計】



【回答結果】

<全体分析>

- 住んでいる地域の災害の危険性や災害対策に役立つ情報について、充実してほしいと思うものは、「**災害時の避難場所・避難経路**」「**災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法**」が50%以上を越え高くなっています。
- 年齢別でみると、上位順は同順ですが、「**18～29歳**」「**30～44歳**」の方で「**学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性**」が高くなっています。
- 小学校区別でみると、上位順はほぼ同順ですが、「**大川小学校区**」で「**居住地域の災害危険箇所を示した地図（ハザードマップなど）**」が他地区と比べ低くなっています。

7. 防災について

【問47：年齢別クロス集計】 ※上位項目

18～29歳(N=89)		30～44歳 (N=395)		45～64歳 (N=340)		65歳以上(N=306)	
災害時の避難場所・避難経路	71.9%	災害時の避難場所・避難経路	65.3%	災害時の避難場所・避難経路	61.8%	災害時の避難場所・避難経路	64.3%
災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	47.2%	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	60.8%	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	57.4%	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	48.4%
居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	43.8%	居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	44.8%	居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	44.1%	居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	42.4%
学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	30.3%	避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	32.2%	避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	35.9%	避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	35.7%
避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	28.1%	学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	30.9%	学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	24.4%	居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	21.3%
居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	16.9%	居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	21.8%	居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	22.6%	学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	19.4%

【問47：小学校区別クロス集計】 ※上位項目

大川小学校区 (N=235)		仲原小学校区 (N=306)		粕屋西小学校区 (N=259)		粕屋中央小学校区 (N=302)	
災害時の避難場所・避難経路	68.1%	災害時の避難場所・避難経路	65.4%	災害時の避難場所・避難経路	61.8%	災害時の避難場所・避難経路	63.6%
災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	54.5%	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	52.0%	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	55.2%	災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法	58.3%
避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	37.0%	居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	48.7%	居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	44.8%	居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	45.0%
居住地域の災害危険箇所を示した地図(ハザードマップなど)	36.2%	避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	36.6%	避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	29.3%	避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法	33.4%
学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	25.5%	学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	21.6%	学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	28.6%	学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性	27.8%
居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	20.4%	居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	19.0%	居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	28.6%	居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図	19.5%

8. 町政に対するご意見・ご要望（自由記述）

〔調査票〕

最後に、町政に対するご意見・ご要望がございましたら自由にお書きください。

回答結果（総数230件）を分野別に分類し、多くあがった意見を以下に整理した。

□道路交通：43件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
ふれあいバスの充実（7件）	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉バスの有料化(100円)と土日祝日の運行は会社員は利用しづらい。行政窓口を土曜日(午前だけでもいいので)開いて欲しい。 ○車の運転が出来ないため時々福祉バスを利用しているが本数が少ない為、不便を感じている。もう少し本数を増やしていただくとありがたい。利用者も増えると思う。 ○ふれあいバスの時間を増やして欲しい。土日も運行して欲しい。65歳で福岡市はバス、地下鉄などの回数券を貰っているが粕屋は無い。
交通渋滞対策（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ○伊賀駅の戸原側の通路新設。長者原交差点の渋滞解消。
道路環境整備（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ○道路(歩道)がデコボコしている所が多い。地区の意見を取り入れながら改善して欲しい。通学路は特にお願したい。 ○歩道の拡張と外灯の増設・整備を早急に行ってください。特に酒殿は今後人口が増えるので全体的な見直しが必要。
道路・通学路が狭い（3件）	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路が狭い。雨の日傘と車の接触が不安(原町駅から伸びる道) ○仲原(ロノ坪)信号と扇橋西信号の間にありますあたりや福岡(支)横の横断歩道がいつも危ないと感じています。

□行政：42件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
行政運営全般について (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ○ここ数年は人口も増加しており良い地域だと思うので、もっとメディアやSNSでアピールしていけば素晴らしさがたくさんの人に伝わる。 ○お役所仕事ではなく町民のことを親身に考え町政を行って欲しい。役場の職員は町民の為に努力する姿勢が見られない人が多く見られる。町民の為に職員教育が必要。 ○月1回でも役場が土日に利用できるといい。
税金の有効活用について（4件）	<ul style="list-style-type: none"> ○税金は有効に利用してください。本当に必要とされるものに利用してください。 ○各施策につき町民一人当たりの費用が県内の他市町村と比べてどうなのか、平均額より上なのか、そうした点での情報が必要。

□子育て支援：21件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
保育について (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園に産後2ヶ月までしか預けられない状況をどうにかして欲しい。 ○働きたかったが保育園入園は無理と言われ諦めて町立幼稚園に入園させた。パートをしたいが園関連の行事が多くて働きづらい。主婦が働きやすい環境があればと思う。 ○民間企業の学童保育機能を満たしている預けられる所を作してほしい。
子ども館について (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ○かすや子ども館をすごく利用させてもらっている。火曜日も開いていたら嬉しい。 ○子ども館は校区外のおさんは来られないシラドセルの子どもは入れない。ゆとりのある一部の主婦のご家庭のお子さんたちには良い施設かもしれないがサラリーマン母としては、もっと放課後の子ども達が居場所して使える場にして欲しい。

□生活環境：19件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
公園について (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ○駕与丁公園の水鳥橋を早く使用出来るようにして欲しい。 ○原町農場跡地に町のシンボルとなる公園を整備して欲しい。 ○公園ののらねこ対策を大至急してください。
環境衛生について (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ○粕屋中学校の裏の川が臭い。夏場虫が多いので掃除駆除をして欲しい ○緑が多いと感じる一方犬のフンが多すぎ。きれいな街づくりにするなら皆協力するのでは。

□福祉：17件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
高齢者福祉について (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が多くなりそうで一人暮らしの方の見守りを充実して欲しい。 ○年金がないので70歳過ぎても働ける場所が欲しい。
障がい福祉について (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいを持っている人がそうでない人と一緒に生活、教育活動できる社会づくりをお願いしたい。 ○粕屋町内には障がい児が多く支援が必要な子が多い。その子達が年齢を重ね、自立、就職を考える時に企業との橋渡しとなる場所が必要となる。そのあたりの充実化を図って頂けると安心して子育てしていける町になっていくと思う。

□教育：13件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
学校教育について (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ○住んでいる場所によっては中学校までの通学距離が遠いのでスクールバスを運行して欲しい。 ○スポーツ経験者の教員を積極的に取り入れて欲しい。特別支援学級の差別化を無くして欲しい。
生涯学習について (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ○習い事の教室をしている。教室を開ける施設、公民館、集会所などの情報を公開していただくと生涯学習の場が増えると思う。空き家などで使用できる場所があれば情報を公開して欲しい。 ○サンレイク粕屋にもっとコンサート、イベントなど多く呼んでほしいです。
図書館について (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館の机が時間帯によって勉強できない。休日など午前中だけで勉強できるスペースの確保をしてほしい。 ○図書館の本が古い。汚い。充実していない。

□防災・防犯 : 13件

【主なテーマ及び意見】

出現ワード／出現件数(上位順)	主な意見
防災について (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らしのご年配の方々の家に防災通知等は倒れて動けなくなったと知らせる通信のようなものが設置されたいと思います。倒れた時に必要な薬や病院名が書かれた「救急キット」があると助かる率も高くなります。 ○地震。プレートがどこを通っているか知りたいが勉強方法などあったら広報で教えていただけたらと思う。
防犯について (1件)	<ul style="list-style-type: none"> ○バイクの音がうるさくて子どもが起きるので取り締まりを強化して欲しい。

□地域活動 : 11件

【主なテーマ及び意見】

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ○地域活動(ソフトボール、町内運動会など)が住民の高齢化で困難になってきている。現状に合ったものにしていくべき。 ○子どもと高齢者が一緒に活動する場所やイベントを通して両者の交流が盛んになり皆が生きがいを感じられる町になって欲しい。

IV 指標一覽

指標一覧

【まちづくりのスマイル指標（実感指標）】

幸せ指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	粕屋町に暮らしていて幸せだと思う町民の割合	57.3%	52.8%	56.5%
	粕屋町に愛着を感じている町民の割合	65.1%	60.7%	62.7%
住みよさ指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	今後も粕屋町に住みたいと思う町民の割合	83.3%	84.1%	85.1%
	粕屋町は住みやすいと思う町民の割合	82.1%	82.5%	83.0%
つながり指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	地域で人と人とのつながりがあると思う町民の割合	69.6%	67.1%	67.5%
活力指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	粕屋町は活力ある元気なまちだと思う町民の割合	72.3%	67.9%	70.6%
健やか指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	粕屋町は健康に暮らせるまちだと思う町民の割合	89.6%	86.4%	86.8%

【基本施策の指標（実感指標）】

【基本目標1】つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち		平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 - (1)	地域行事に参加している町民の割合	34.8%	37.8%	34.7%
1 - (2)	まちづくりに参加したいと思う町民の割合	30.4%	37.0%	33.3%
2 - (1)	災害用備品を準備している町民の割合	21.7%	23.4%	24.9%
2 - (2)	事故や犯罪が少なく安全な町だと思ふ町民の割合	48.9%	44.5%	48.3%
3 - (1)	教育環境が整っていると思ふ町民の割合	38.6%	41.0%	40.0%
3 - (2)	青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思ふ町民の割合	21.2%	31.1%	27.1%
4 - (1)	身近に学びの機会があると思ふ町民の割合	28.3%	38.0%	36.7%
4 - (2)	郷土の歴史に興味を持っている町民の割合	32.2%	31.9%	31.7%
【基本目標2】都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち		平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 - (1)	自然と調和したまちづくりが行われていると思ふ町民の割合	47.7%	48.6%	50.8%
1 - (2)	憩いや交流のために公園が活用されていると思ふ町民の割合	51.8%	60.5%	61.1%
2 - (1)	道路が円滑に通行できると思ふ町民の割合	24.8%	27.9%	27.6%
2 - (2)	公共交通を利用しやすいと思ふ町民の割合	55.8%	57.9%	59.7%
2 - (3)	いつでも安心して水を利用できると思ふ町民の割合	57.8%	70.1%	73.6%
3 - (1)	自然を大切にすることを心がけている町民の割合	79.7%	77.7%	81.1%
3 - (2)	リサイクルを心がけている町民の割合	70.9%	78.8%	82.3%
4 - (1)	できるだけ地元で採れた食材を利用している町民の割合	46.7%	45.5%	50.0%
4 - (2)	地域の商工業が活性化していると思ふ町民の割合	18.7%	23.0%	22.9%

【基本目標 3】誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち		平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 - (1)	運動や食事など自分の健康に気をつけている町民の割合	79.8%	78.3%	78.1%
2 - (1)	子育て環境が整っていると思う町民の割合	39.5%	40.2%	46.2%
2 - (2)	妊娠・出産期における支援が充実していると思う町民の割合	23.2%	29.6%	26.7%
3 - (1)	元気な高齢者が活躍する場があると思う町民の割合	27.7%	35.7%	34.3%
3 - (2)	高齢者に対する支援が充実していると思う町民の割合	23.6%	28.3%	23.9%
4 - (1)	障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思う町民の割合	14.7%	17.4%	17.7%
4 - (2)	障がい者に対する支援が充実していると思う町民の割合	12.8%	16.7%	15.1%
5 - (1)	一人ひとりの人権が尊重されていると思う町民の割合	28.9%	27.6%	28.1%
5 - (2)	困ったときの福祉相談窓口を知っている町民の割合	24.2%	28.3%	26.9%
【基本目標 4】健全で持続可能な行政経営をめざすまち		平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 - (1)	広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると思う町民の割合	47.0%	57.0%	53.4%
1 - (2)	町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思う町民の割合	24.4%	26.4%	23.6%
2 - (1)	税金が有効に使われていると思う町民の割合	17.1%	18.3%	15.6%
3 - (1)	他自治体と連携や協力が行われていると思う町民の割合	15.3%	19.4%	17.5%

V 調査票

粕屋町 住マイル調査

「心かよいあう スマイルシティかすや」
をめざして

みなさんの声をお聞かせください

ここで
折る



町民の皆様には、日頃から町政の運営につきまして、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。この調査は、皆様の暮らしの状況や意識、ニーズなどを把握し、町政へ反映するための基礎資料として活用するものです。お忙しいところ恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。皆様の率直なご意見をお聞かせください。

平成31年1月 粕屋町長 箱田 彰

回答についてお願い

ここで
折る

【調査票の記入について】

この調査は、粕屋町にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。また、この調査は無記名の調査であり、統計的に処理しますので、回答により個人が特定されることはありません。ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には一切使用いたしません。

- 1 この調査票は、宛名のご本人がご記入ください。
- 2 平成31年1月28日現在の内容でご記入ください。
- 3 お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
なお、誤って○をつけた場合は、はっきり二重線で取り消してください。

【調査票の回収について】

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、2月18日(月)までに投函してくださいませよう願ひいたします。(切手不要)

【調査についてのお問い合わせ】

粕屋町役場 経営政策課総合政策係 TEL 092-938-0175 (ダイヤルイン)

< 住みよさ指標 >

問 2-1 今後も粕屋町に住みたいと思いますか。

1つだけに○

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 住み続けたい | 3. どちらかといえば町外に移りたい |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | 4. 町外に移りたい |

問 2-2 粕屋町は、住みやすいと思いますか。

1つだけに○

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても住みやすい | 3. やや住みにくい |
| 2. 住みやすい | 4. 住みにくい |

問 2-3 問 2-2 の回答について、どのような点から住みやすい（住みにくい）と思いますか。その理由をお書きください。

< つながり指標 >

問 3-1 粕屋町では、地域で人と人とのつながりがあると思いますか。

1つだけに○

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. あると思う | 3. どちらかといえばあると思わない |
| 2. どちらかといえばあると思う | 4. あると思わない |

問 3-2 あなたは、隣近所とはどの程度のお付き合いをされていますか。

1つだけに○

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 親密な付き合いがある | 3. どちらかといえば付き合いがない |
| 2. どちらかといえば付き合いがある | 4. ほとんど付き合いがない |

< 活力指標 >

問 4 粕屋町は、活力ある元気なまちだと思いますか。

1つだけに○

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

< 健やか指標 >

問 5 あなたは、粕屋町で健康に暮らせていると思いますか。

1つだけに○

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない |

つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち

【協働・地域活動】【防災・安全】【教育文化】のまちづくりについてお聞きします



問 6 【地域活動】あなたは、地域行事(夏祭りや餅つきなど)に日頃から参加していますか。

1つだけに○

- | | | |
|-------------|----------------|--------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加していない | 5. どちらともいえない |
| 2. 時々参加している | 4. まったく参加していない | |

問 7 【ボランティア】あなたは、ボランティアなどのまちづくりに参加したいと思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 8 【防災】あなたは、日頃から災害用備品を準備していますか。

1つだけに○

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 準備している | 3. あまり準備していない | 5. どちらともいえない |
| 2. まあまあ準備している | 4. 準備していない | |

問 9 【防犯】粕屋町は、事故や犯罪が少なく安全な町だと思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 10 【学校教育】粕屋町では、小中学校の教育環境が整っていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 11 【青少年の健全育成】 粕屋町では、青少年の育成について学校・家庭・地域の連携が十分だと思いますか。

1つだけに○

1. そう思う 3. あまりそう思わない 5. どちらともいえない
2. ややそう思う 4. そう思わない

問 12 【生涯学習】 粕屋町では、生涯を通して身近に学びの機会があると思いますか。

1つだけに○

1. そう思う 3. あまりそう思わない 5. どちらともいえない
2. ややそう思う 4. そう思わない

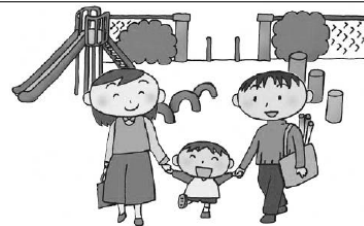
問 13 【歴史文化】 あなたは、町の歴史に興味を持っていますか。

1つだけに○

1. 持っている 3. あまり持っていない 5. どちらともいえない
2. やや持っている 4. 持っていない

問 14 問 6～問 13 の分野の中で、特に、重要な課題だと思う項目について問の番号を選び、その理由をお書きください。

問の番号	選んだ理由（課題と思うことなど）についてお書きください
例) 問 9 (防犯)	例) 子どもたちを犯罪から守るために、地域ぐるみの防犯活動をさらに拡大することが必要である。



都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち

【土地利用】【公園・緑地】【道路・交通】【水道】【環境】【産業】のまちづくりに
ついてお聞きします



問 15 【土地利用】粕屋町では、都市と自然の調和したまちづくりが行われていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 16 【公園・緑地】粕屋町では、憩いや交流の場として公園が活用されていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 17 【道路】粕屋町では、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 18 【交通】粕屋町では、公共交通を利用しやすいと思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 19 【水道】粕屋町では、いつでも安心して水を利用できると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 20 【自然保護】 あなたは、自然を大切にすることを心がけていますか。

1つだけに○

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 心がけている | 3. あまり心がけていない | 5. どちらともいえない |
| 2. 少し心がけている | 4. 心がけていない | |

問 21 【ごみ・美化活動】 あなたは、日頃からリサイクルを心がけていますか。

1つだけに○

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 心がけている | 3. あまり心がけていない | 5. どちらともいえない |
| 2. 少し心がけている | 4. 心がけていない | |

問 22 【農業】 あなたは、できるだけ地元で採れた食材を利用していますか。

1つだけに○

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 利用している | 3. あまり利用していない | 5. どちらともいえない |
| 2. まあまあ利用している | 4. 利用していない | |

問 23 【商工業】 粕屋町では、商工業が活性化していると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 24 問 15～問 23 の分野の中で、特に、重要な課題だと思う項目について問の番号を選び、その理由をお書きください。

問の番号	選んだ理由（課題と思うことなど）についてお書きください
例) 問17（道路）	例) 交通量が多い道路では子どもたちが安全に歩行できるよう、歩道の改善が必要である。

誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち

【健康づくり】【子育て】【福祉】【人権】のまちづくりについてお聞きます



問 25 【健康づくり】あなたは、運動や食事など、自分の健康に気をつけていますか。

1つだけに○

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 1. 気をつけている | 3. あまり気をつけていない | 5. どちらともいえない |
| 2. 少し気をつけている | 4. 気をつけていない | |

問 26-1 【子育て】粕屋町では、子育ての環境が整っていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 26-2 【子育て】粕屋町では、妊娠・出産期の支援が充実していると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 27-1 【高齢者】粕屋町では、元気な高齢者が活躍する場があると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 27-2 【高齢者】粕屋町では、高齢者に対する支援が充実していると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 28-1 【障がい者】粕屋町では、障がい者が地域や社会の中でともに暮らせていると思いますか。

1つだけに○

1. そう思う 3. あまりそう思わない 5. どちらともいえない
2. ややそう思う 4. そう思わない

問 28-2 【障がい者】粕屋町では、障がい者に対する支援が充実していると思いますか。

1つだけに○

1. そう思う 3. あまりそう思わない 5. どちらともいえない
2. ややそう思う 4. そう思わない

問 29 【人権】粕屋町では、一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。

1つだけに○

1. そう思う 3. あまりそう思わない 5. どちらともいえない
2. ややそう思う 4. そう思わない

問 30 【福祉相談】あなたは、困ったときの福祉相談窓口を知っていますか。

1つだけに○

1. よく知っている 3. あまり知らない 5. どちらともいえない
2. やや知っている 4. 知らない

問 31 問 25～問 30 の分野の中で、特に、重要な課題だと思う項目について問の番号を選び、その理由をお書きください。

問の番号	選んだ理由（課題と思うことなど）についてお書きください
例) 問 27 (高齢者)	例) 高齢者が生きがいづくりや健康づくりに参加しやすい、身近な場所での講座などの開催が必要である。

健全で持続可能な行政経営をめざすまち

【情報発信】【行政運営】【財政】【広域行政】のまちづくりについてお聞きします

問 32 【情報発信】 粕屋町では、広報やホームページ等、町からの情報発信が充実していると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 33 【行政運営】 粕屋町では、町民のニーズに応えた行政運営が行われていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 34 【財政】 粕屋町では、税金が有効に使われていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 35 【広域行政】 粕屋町では、他自治体と連携や協力が行われていると思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

問 36 問 32～問 35 の分野の中で、特に、重要な課題だと思う項目について問の番号を選び、その理由をお書きください。

問の番号	選んだ理由（課題と思うことなど）についてお書きください
例) 問33（行政運営）	例) 行政の手続きがわからない時に相談できる窓口が必要である。

防災について

災害に対する取り組みについてお聞きします



問 37 あなたの住んでいる地域は、災害に対して安全だと思いますか。

1つだけに○

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. どちらともいえない |
| 2. ややそう思う | 4. そう思わない | |

〔問 38 は、問 37 で「3 または 4」に○をつけた方におうかがいします。〕

問 38 どのような点から安全でないと思いますか。その理由をお書きください。

問 39 あなたが日ごろ心配している災害は何ですか。

あてはまる3つまでに○

- | | | |
|---------|----------|-------------|
| 1. 地震 | 7. 強風、竜巻 | 13. 原発事故 |
| 2. 火災 | 8. 猛暑 | 14. テロ、武力攻撃 |
| 3. 台風 | 9. 濁水 | 15. その他 |
| 4. 水害 | 10. 感染症 | () |
| 5. 土砂災害 | 11. 津波 | |
| 6. 落雷 | 12. 火山噴火 | |

問 40 あなたは、自宅付近の避難場所※1 や避難所※2 がどこにあるか知っていますか。

1つだけに○

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 避難場所も避難所も知っている | 4. 避難場所と避難所の区別がわからない |
| 2. 避難場所だけ知っている | 5. どちらも知らない |
| 3. 避難所だけ知っている | |

※1 避難場所…災害時に一時的に避難する場所

※2 避難所 …避難が長期化し、住宅等での生活が困難となった人が生活する場所

問 41 災害が発生し避難が必要になった場合、あなたは近所の高齢者や障がいのある方などを誘導・支援しながら避難することができますか。

1つだけに○

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 誘導・支援しながら避難することができる | 4. 自分と家族で精いっぱい |
| 2. 他人と一緒にならできる | 5. 誘導・支援をすることができない |
| 3. 呼びかけがあればできる | 6. わからない |

問 42 粕屋町では、災害時の避難支援などを目的に、一定の要件に該当する障がいをお持ちの方などを対象として「避難行動要支援者名簿」を作成しています。事前に同意された方はご自身の情報を地域へ提供することができますが、このことを知っていますか。

1つだけに○

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 43 粕屋町では災害に備え、行政区などを単位として「自主防災組織」が作られていますが、あなたはこのような組織があることを知っていますか。

1つだけに○

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 44 あなたは、行政区の防災訓練など、自分が住んでいる地域の自主防災組織の活動に実際に参加したことがありますか。また、今後防災訓練に参加したいと思いますか。

1つだけに○

1. 参加したことがあり、今後も参加したい
2. 参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない
3. 参加したことはないが、今後は参加したい
4. 参加したことがなく、今後も参加するつもりはない

問 45 今後、町の防災対策に力を入れて取り組んでほしいものなどがありましたら、自由にお書きください。

どのような手段でどのような災害関連情報を得たいと思いますか？

災害関連の情報発信についてお聞きます

問 46 もし、お住まいの地域で大規模災害が発生したら、あなたは災害関連情報をどのような手段で得たいと思いますか。特に利用すると思うものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

あてはまる3つまでに○

自治体からの発信

1. 町のホームページ
2. 町の防災無線
3. 町の広報車によるアナウンス
4. 自治体からのメール（防災メール等）

地域や身近な人からの発信

5. 自治会・自主防災組織から
6. 消防団から
7. 家族・友人から
8. 近所の人から

メディアからの発信

9. テレビ
10. ラジオ
11. 新聞（号外を含む）
12. 携帯電話会社からのメール
13. 携帯電話会社の災害掲示板・伝言ダイヤル
14. フェイスブック・ツイッター・ラインなどのSNS
15. 防災情報のウェブサイト・アプリ

16. その他

[]

問 47 住んでいる地域の災害の危険性や災害対策に役立つ情報について、充実してほしいと思うものは何ですか。特に当てはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

あてはまる3つまでに○

1. 災害時の避難場所・避難経路
2. 居住地域の災害危険箇所を示した地図（ハザードマップなど）
3. 避難勧告や避難指示など災害情報の意味や周知方法
4. 学校や福祉施設、医療機関などの公共施設の耐震性
5. 居住地域で過去に災害が発生した場所を示す地図
6. 災害時に提供される情報の内容、入手先、利用方法
7. 特にない
8. その他（)

問 53-1 あなたの職業は、次のどれにあたりますか。

1つだけに○

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 会社員・公務員 | 6. 学生 |
| 2. 自営業主（農業・商工サービス等） | 7. 専業主婦・主夫 |
| 3. 家族従業者* | 8. 無職 |
| 4. 自由業（開業医・弁護士・作家等） | 9. その他（ |
| 5. パート・アルバイト、派遣社員 | ） |

※ 家族従業者…個人事業主の家族で、その事業を手伝っている方

〔問 53-2 は、問 53-1 で「1～6」に○をつけた方におうかがいします。〕

問 53-2 あなたの通勤・通学先はどこですか。

1つだけに○

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 粕屋町内 | 4. 福岡県内（1～3以外） |
| 2. 糟屋郡内（粕屋町以外） | 5. 福岡県外（ |
| 3. 福岡市内 | 都・道・府・県） |

問 54 お住まいの家族構成は、次のうちどれにあたりますか。

1つだけに○

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 単身（同居者はいない） | 4. 3世代または4世代 |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他（ |
| 3. 親と子の2世代 | ） |

問 55 あなたのご家族について該当する方はいますか。

あてはまるすべてに○

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 小学校入学前の子がいる | 4. 介護を必要としない65 歳以上の家族がいる |
| 2. 小・中学生の子がいる | 5. いずれの該当者もない |
| 3. 介護を必要とする家族がいる | |

○ 最後に、町政に対するご意見・ご要望がございましたら自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

